

# 上智大学履修要覧

## 〔共通編〕

2017年度

## 本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛ける必要がある。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。



### 【校章と校名（ソフィア）の由来】

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本质と理想とを表わしている。

中央にしるされた文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”(SOPHIA)にほかならない。

# 目 次

本学の教育理念	(2)	掲示板の場所・内容	後見返し
1. ガイドページ	共通事項	2017年度 行事予定表	(10)
		よくあるQ&A	(15)
		各種問い合わせ先／窓口時間について	(17)
		Loyolaによる掲示について	(18)
		各種ガイダンスについて	(18)
		教員との連絡について	(19)
		公共交通機関運行停止時の取扱いについて	(19)
		個人情報の取扱いについて	(19)
	教務	1. 授業	(22)
		2. 単位と科目	(25)
		3. ナンバリング	(26)
		4. 履修登録	(27)
		5. 国際教養学部開講科目の履修について	(32)
		6. 履修中止	(33)
		7. 試験	(36)
		8. 学力の評価・成績	(41)
		9. 卒業要件と自己判定	(44)
		10. 単位換算・単位認定	(46)
		11. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について	(49)
	学籍	1. 学籍	(52)
		2. 留学	(53)
		3. 証明書	(58)
		4. 転部・転科／再入学／学士入学	(59)
		5. 9月卒業・早期卒業	(60)
2. 目白聖母キャンパスについて (看護学科2年次生)	2017年度行事予定表(看護学科2年次生秋学期)		(62)
	目白聖母キャンパスにおける各種事項について		(64)
開講科目担当表の見方			(65)
3. 全学共通科目	1 全学共通科目について		(70)
	2 全学共通科目の構成および履修上の規定		(76)
	3 「ウエルネスと身体(必修)」及び身体文化系科目(選択)履修上の注意		(84)
	※含む「ウエルネスの理論と実践(必修)」「保健体育系科目(選択必修)」		
	4 「情報リテラシー演習(必修)」履修上の注意		(86)
	5 「キリスト教人間学」科目群履修上の注意		(87)
	※含む「人間学(必修)」「人間学系科目(選択必修)」		
6 「高学年向け教養科目(選択)」履修上の注意		(89)	
7 開講科目一覧表		(90)	
4. グローバル教育センター	1 グローバル教育センターについて		(118)
	2 インターンシップ科目		(120)
	3 グローバル・コンピテンシー・プログラム		(122)
	4 データサイエンスプログラム		(157)
	5 海外短期研修		(158)
	6 実践型プログラム		(159)

5 死生学履修 プログラム	死生学履修プログラムについて…………… (164)	
	死生学履修プログラム科目一覧…………… (165)	
6. 語 学 科 目 (14年次生以降対象)	語学科目について…………… (170)	イタリア語…………… (202)
	学科別履修指定言語…………… (175)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語… (203)
	英語…………… (177)	ラテン語…………… (203)
	初習言語について…………… (188)	アジア・アフリカ諸語…………… (204)
	ドイツ語…………… (192)	履修科目対応表(15年次生以前対象) … (205)
	フランス語…………… (194)	日本語…………… (209)
	イスパニア語…………… (196)	翻訳科目…………… (212)
	中国語…………… (198)	海外短期語学講座…………… (213)
	韓国語…………… (200)	開講科目一覧表…………… (214)
7 外 国 語 科 目 (13年次生以前対象)	外国語科目について…………… (243)	イタリア語…………… (258)
	学科別履修指定言語…………… (247)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語… (259)
	英語…………… (249)	ラテン語…………… (260)
	初習言語について…………… (254)	アジア・アフリカ諸語…………… (260)
	ドイツ語…………… (256)	日本語…………… (261)
	フランス語…………… (256)	翻訳科目…………… (264)
	イスパニア語…………… (256)	海外短期語学講座…………… (265)
	中国語…………… (256)	開講科目一覧表…………… (266)
	韓国語…………… (256)	
8 資 料	本学の沿革と年譜…………… (288)	研究所・センター等および 事務関係一覧…………… (327)
	上智大学学則…………… (291)	クラス主任について…………… (329)
	上智大学国外留学に関する細則… (300)	教員研究室・オフィスアワー・ 学科事務室一覧…………… (331)
	編入学生の単位認定に関する細則… (302)	授業担当教員一覧…………… (346)
	入学前既修得単位認定に関する細則… (303)	
	留学期間中に修得した単位の換算 及び認定に関する取扱要領…………… (304)	
	技能審査による単位認定に関する細則… (306)	
	海外短期語学講座に関する細則… (307)	
	海外短期研修に関する細則…………… (308)	
	国内他大学との学生交流に関する細則… (309)	
	学部生の大学院入学前科目履修に 関する細則…………… (310)	
	学則第40条第1項運用細則…………… (311)	
	施設(四谷キャンパス教室) …… (312)	
	施設(目白聖母キャンパス教室) …… (321)	
	施設(市谷キャンパス教室) …… (324)	
	施設(キャンパスマップ) …… (325)	
	施設(市谷キャンパス・目白聖母キャンパス アクセスガイド)…………… (326)	

※国際教養学部，理工英語コースの全学共通科目については，本学ホームページの学部履修要覧ページを参照してください。

※教職課程科目及び学芸員課程科目については，『履修要覧（課程編）』を参照してください。

## 授業履修への心構え

大学では、学生が自らの学問的興味・関心に応じて履修計画を立て、授業科目の履修を通じて単位を取得し、卒業要件を満たしていくこととなります。そのようにして卒業要件を満たした者に学位が授与されるのです。上智大学が学生に付与する単位（credit）および学位（degree）は、原語の意味が示すように、本学が学生個々の学力、教養、識見等を社会に対して保証するものです。皆さんは、その自覚をもって授業に取り組み、卒業後には社会で活躍することが期待されています。

皆さんはさまざまに工夫された各学部・学科のカリキュラムをよく理解し、将来の進路を意識した上で綿密な履修計画を立て、着実に単位を取得して卒業を目指してください。今、手にしている履修要覧はそのための必携の資料となります。入学したばかりの新入生は、本学が開講する授業科目の全容をつかむことは難しいと思われます。履修科目の選定に際しては、学科の先生方の指導を受けることも必要でしょう。2年次以上の学生は、履修した科目の成績や将来の目標などを踏まえ、かつ学問の体系を意識して年度ごとに履修計画を見直すことが求められます。年度によっては、全学的に、または各学部・学科ごとにカリキュラムや履修制度の大幅な変更が行われる場合がありますので、新しい学年や学期を迎えるにあたっての履修要覧の読み返しは必須です。履修登録の誤りや卒業要件の読み違えで卒業を断念しなければならないこともあります。また、本学は履修登録期間をはじめとして、各種の願書、申請書類の提出期限をきわめて厳格に取り扱っていますので、期限が記されている事項はそれを守るよう特に留意してください。

翻って、キャンパスでの学究活動は単に授業を履修することだけにとどまるものではありません。教員や学友との人間的にかかわり、学内で開催されるセミナー・講演会等への参加、課外活動を通じての自己研鑽も学生の資質を磨き上げるために有益なものです。4年間の学生生活は人生にとって最も有意義な期間といっても過言ではありません。皆さんが充実した学生生活を送り、Sophianと呼ばれる価値のある人材として社会に巣立っていかれることを心より願います。

学事センター長

# 1 ガイドページ

---

共通事項

教務

学籍

共通事項

教務  
学

籍

# 共通事項

2017年度 行事予定表	…… p.10
よくあるQ&A	…… p.15
各種問い合わせ先／窓口時間について	…… p.17
Loyolaによる掲示について	…… p.18
各種ガイダンスについて	…… p.18
教員との連絡について	…… p.19
公共交通機関運行停止時の取扱いについて	…… p.19
個人情報の取扱いについて	…… p.19

# 共通事項

## ● 2017年度 行事予定表（春学期）

看護学科2年次生（秋学期）の行事予定についてはp.62～参照。

カレンダー ○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日	学部年間予定																																																		
2017年 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="7">4月</th> </tr> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td>②</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>⑧</td><td>⑨</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>⑮</td><td>⑯</td> </tr> <tr> <td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>⑳</td><td>㉑</td> </tr> <tr> <td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>㉘</td><td>㉙</td> </tr> </table> 春学期授業期間4月12日～7月22日	4月							月	火	水	木	金	土	日						①	②	3	4	5	6	7	⑧	⑨	10	11	12	13	14	⑮	⑯	17	18	19	20	21	⑳	㉑	24	25	26	27	28	㉘	㉙	3月30日 3月30日, 31日 3月31日 1日 1日 3日～11日 1日～4日 2日 3日～6日 4日～8日 7日 12日	<編入学・転部科・学士入学・再入学>ガイダンス <2～4年次生>学科別ガイダンス <在校生>2016年度通年・秋学期科目「成績評価確認願」提出期限 入学式 春学期開始 <2～4年次生>健康診断 <1年次生>履修登録・学生生活ガイダンス <1年次生>英語プレイスメントテスト <1年次生>オリエンテーション・キャンプ <1年次生>健康診断 英語プレイスメントテスト（追試：未受験者用） 春学期授業開始
4月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
					①	②																																													
3	4	5	6	7	⑧	⑨																																													
10	11	12	13	14	⑮	⑯																																													
17	18	19	20	21	⑳	㉑																																													
24	25	26	27	28	㉘	㉙																																													
	<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																																		
	2日～12日 3日～12日 2日～7日 3日～7日 8日 8日～9日 10日 10日～12日 13日 14日～16日 18日	<2～4年次生>履修登録期間 <1年次生>履修登録期間 <2～4年次生>抽選科目登録期間（1次） <1年次生>抽選科目登録期間（1次） <全学部生>抽選科目登録（1次）結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（2次） <全学部生>抽選科目登録（2次）結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（先着順） <全学部生>履修登録確認期間 <全学部生>履修登録修正期間 履修登録確認																																																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="7">5月</th> </tr> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>⑬</td><td>⑭</td> </tr> <tr> <td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>⑳</td><td>㉑</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>㉒</td><td>㉓</td> </tr> <tr> <td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	5月							月	火	水	木	金	土	日	1	2	③	④	⑤	⑥	⑦	8	9	10	11	12	⑬	⑭	15	16	17	18	19	⑳	㉑	22	23	24	25	26	㉒	㉓	29	30	31					8日～11日   28日 31日	春学期前半科目履修中止期間   オールソフィアンの集い 春学期休学願提出期限
5月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
1	2	③	④	⑤	⑥	⑦																																													
8	9	10	11	12	⑬	⑭																																													
15	16	17	18	19	⑳	㉑																																													
22	23	24	25	26	㉒	㉓																																													
29	30	31																																																	

カレンダー ○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日		学部年間予定	
<b>6月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 (3) (4) 5 6 7 8 9 (10) (11) 12 13 14 15 16 (17) (18) 19 20 21 22 23 (24) (25) 26 27 28 29 30		5日～9日 17日・25日 30日	春学期履修中止申請期間 春学期補講日 看護4年次生実習期間（6月下旬～8月上旬） 〈留学者（出国）・休学予定者（17年秋～18年春）継続履修願提出期限（看護英語のみ） 9月卒業願提出期限
<b>7月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 (8) (9) 10 11 12 13 14 (15) (16) (17) 18 19 20 21 (22) (23) 24 25 26 27 28 (29) (30) 31 ※7月17日 海の日は授業実施日 ※7月31日～9月26日 夏期休業		1日・15日 7日～9日 10日 22日 24日～29日 20日～ 31日～ 31日～	春学期補講日 上南戦（於：上智大学） 春学期試験日程公開 春学期授業終了 春学期試験期間（7月29日は予備日） 夏期集中プログラム（サマーセッション）（8月11日まで） 夏期休業（9月26日まで） 集中科目開講期間（9月20日まで） 看護2年次生実習期間（7月31日～8月4日）
<b>8月</b> 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 (5) (6) 7 8 9 10 (11) (12) (13) 14 15 16 17 18 (19) (20) 21 22 23 24 25 (26) (27) 28 29 30 31 ※7月31日～9月26日 夏期休業		28日～9月20日 28日・29日	<4年次生>成績公開・卒業自己判定 <9月卒業予定者>春学期科目「成績評価確認願」提出期限 春学期追試験（8月下旬） 看護3年次生実習期間（8月下旬～1月下旬）

<p>カレンダー</p> <p>○：休日・祝日・土曜日</p> <p>■：祝日以外の休業日</p> <p>□：みなし曜日</p>	学部年間予定																																																		
<p style="text-align: center;"><b>9月</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="7">9月</th> </tr> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td> </tr> <tr> <td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td> </tr> </table>	9月							月	火	水	木	金	土	日					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		<p>8日</p> <p>9日～20日</p> <p>10日～20日</p> <p>11日～20日</p> <p>15日</p> <p>20日</p> <p>21日</p> <p>21日</p> <p>24日～25日</p> <p>27日</p>	<p>9月卒業生発表</p> <p>&lt;3年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>&lt;2年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>&lt;1年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>学位授与式(9月期)</p> <p>春学期科目「成績評価確認願」提出期限</p> <p>春学期終了</p> <p>秋学期開始</p> <p>&lt;国際教養学部・理工学部英語コース&gt;入学式, 新入生ガイダンス</p> <p>&lt;国際教養学部・理工学部英語コース&gt;オリエンテーション・キャンブ</p> <p>秋学期授業開始</p>
9月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
				1	2	3																																													
4	5	6	7	8	9	10																																													
11	12	13	14	15	16	17																																													
18	19	20	21	22	23	24																																													
25	26	27	28	29	30																																														
<p>※7月31日～9月26日 夏期休業</p> <p>秋学期授業期間 9月27日～1月22日</p>	<p>&lt;履修登録関係日程&gt;</p> <p>※詳細は p.27～を参照すること。</p>																																																		
	<p>21日～30日</p> <p>22日～30日</p> <p>21日～25日</p> <p>22日～25日</p> <p>26日</p> <p>26日～27日</p> <p>28日</p> <p>28日～30日</p> <p>10月1日・2日</p> <p>10月3日～5日</p> <p>10月9日</p>	<p>&lt;2～4年次生&gt;履修登録期間</p> <p>&lt;1年次生&gt;履修登録期間</p> <p>&lt;2～4年次生&gt;抽選科目登録期間(1次)</p> <p>&lt;1年次生&gt;抽選科目登録期間(1次)</p> <p>&lt;全学部生&gt;抽選科目登録(1次)結果発表</p> <p>&lt;全学部生&gt;抽選科目登録期間(2次)</p> <p>&lt;全学部生&gt;抽選科目登録(2次)結果発表</p> <p>&lt;全学部生&gt;抽選科目登録期間(先着順)</p> <p>&lt;全学部生&gt;履修登録確認期間</p> <p>&lt;全学部生&gt;履修登録修正期間</p> <p>履修登録確認</p>																																																	

# ● 2017年度 行事予定表 (秋学期)

看護学科2年次生 (秋学期) の行事予定についてはp.62～参照。

カレンダー ○ : 休日・祝日・土曜日 ■ : 祝日以外の休業日 □ : みなし曜日	学部年間予定																																																									
<table border="1"> <tr><th colspan="7">10月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>⑭</td><td>⑮</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>㉒</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	10月							月	火	水	木	金	土	日							①	2	3	4	5	6	⑦	⑧	⑨	10	11	12	13	⑭	⑮	16	17	18	19	20	⑳	㉑	23	24	25	26	27	㉒	㉓	30	31						9日  23日～26日	授業実施日 (体育の日)  秋学期前半科目履修中止期間
10月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
						①																																																				
2	3	4	5	6	⑦	⑧																																																				
⑨	10	11	12	13	⑭	⑮																																																				
16	17	18	19	20	⑳	㉑																																																				
23	24	25	26	27	㉒	㉓																																																				
30	31																																																									
※9日 体育の日は授業実施日 秋学期授業期間9月27日～1月22日	※履修登録関係の日程は9月の欄とp.27を参照すること																																																									
<table border="1"> <tr><th colspan="7">11月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>⑪</td><td>⑫</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>⑱</td><td>⑲</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>㉓</td><td>24</td><td>㉕</td><td>㉖</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	11月							月	火	水	木	金	土	日			①	②	③	④	⑤	6	7	8	9	10	⑪	⑫	13	14	15	16	17	⑱	⑲	20	21	22	㉓	24	㉕	㉖	27	28	29	30				1日 2日～4日 2日   23日  30日	創立記念日・先哲祭・ソフィア祭前夜祭 (全学休講) ソフィア祭 全学休講 ※看護学科3年次生を除く  授業実施日 (勤労感謝の日)  秋学期休学願提出期限							
11月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
		①	②	③	④	⑤																																																				
6	7	8	9	10	⑪	⑫																																																				
13	14	15	16	17	⑱	⑲																																																				
20	21	22	㉓	24	㉕	㉖																																																				
27	28	29	30																																																							
※23日 勤労感謝の日は授業実施日																																																										
<table border="1"> <tr><th colspan="7">12月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>⑨</td><td>⑩</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>㉓</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>㉖</td><td>㉗</td></tr> </table>	12月							月	火	水	木	金	土	日					1	②	③	4	5	6	7	8	⑨	⑩	11	12	13	14	15	⑮	⑯	18	19	20	21	22	㉓	㉔	25	26	27	28	29	㉖	㉗	3日  4日～8日 9日・16日  21日 22日～	ザビエル祭  秋学期履修中止申請期間 秋学期補講日  授業終了 冬期休業 (1月4日まで)							
12月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
				1	②	③																																																				
4	5	6	7	8	⑨	⑩																																																				
11	12	13	14	15	⑮	⑯																																																				
18	19	20	21	22	㉓	㉔																																																				
25	26	27	28	29	㉖	㉗																																																				
※12月22日～1月4日 冬期休業																																																										

<p>カレンダー</p> <p>○：休日・祝日・土曜日            ■：祝日以外の休業日            □：みなし曜日</p>	学部年間予定																																																		
<p>2018年</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">1月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>⑥</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>⑬</td><td>⑭</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>㉗</td><td>㉘</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※12月22日～1月4日 冬期休業            ※1月31日～3月31日 春期休業</p>	1月							月	火	水	木	金	土	日	①	2	3	4	5	⑥	⑦	⑧	9	10	11	12	⑬	⑭	15	16	17	18	19	⑳	㉑	22	23	24	25	26	㉗	㉘	29	30	31					<p>5日</p> <p>6日・13日</p> <p>9日</p> <p>7日・14日・21日</p> <p>22日</p> <p>23日～30日</p> <p>31日～</p>	<p>授業再開</p> <p>秋学期補講日</p> <p>秋学期試験日程公開</p> <p>TEAP 実施日*</p> <p>秋学期授業終了</p> <p>秋学期試験期間（1月30日は予備日）</p> <p>春期休業（3月31日まで）</p> <p>* ACADEMIC COMMUNICATION-2 の受講者は必ず受験すること。詳細は p.179 を参照。</p>
1月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
①	2	3	4	5	⑥	⑦																																													
⑧	9	10	11	12	⑬	⑭																																													
15	16	17	18	19	⑳	㉑																																													
22	23	24	25	26	㉗	㉘																																													
29	30	31																																																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">2月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>⑩</td><td>⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>⑰</td><td>⑱</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※1月31日～3月31日 春期休業</p>	2月							月	火	水	木	金	土	日				1	2	③	④	5	6	7	8	9	⑩	⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑱	19	20	21	22	23	⑳	㉑	26	27	28					<p>23日～3月30日</p> <p>23日～27日</p>	<p>&lt;4年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>&lt;4年次生・早期卒業予定者&gt;秋学期科目「成績評価確認願」提出期限</p> <p>秋学期追試験（2月中旬～下旬）</p>
2月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
			1	2	③	④																																													
5	6	7	8	9	⑩	⑪																																													
12	13	14	15	16	⑰	⑱																																													
19	20	21	22	23	⑳	㉑																																													
26	27	28																																																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">3月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>③</td><td>④</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>⑩</td><td>⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>⑰</td><td>⑱</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>⑳</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>⑳</td><td></td></tr> </table> <p>※1月31日～3月31日 春期休業</p>	3月							月	火	水	木	金	土	日				1	2	③	④	5	6	7	8	9	⑩	⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑱	19	20	21	22	23	⑳	㉑	26	27	28	29	30	⑳		<p>15日</p> <p>16日～30日</p> <p>17日～30日</p> <p>18日～30日</p> <p>26日</p> <p>30日</p> <p>31日</p>	<p>卒業生発表</p> <p>在学継続通知書送付（保証人宛郵送）</p> <p>&lt;3年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>&lt;2年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>&lt;1年次生&gt;成績公開・卒業自己判定</p> <p>学位授与式</p> <p>2017年度通年科目・秋学期開講科目「成績評価確認願」提出期限</p> <p>秋学期終了</p>
3月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
			1	2	③	④																																													
5	6	7	8	9	⑩	⑪																																													
12	13	14	15	16	⑰	⑱																																													
19	20	21	22	23	⑳	㉑																																													
26	27	28	29	30	⑳																																														

● よくあるQ&A

**Q 各種問い合わせ先を教えてください**

A 以下の表を参照してください。場所についてはp.17およびp.312～p.320を参照してください。

履修相談、成績、授業、単位、Loyolaパスワードについて	学事センター（教務）各学部担当	2号館1階
証明書、学生証、住所変更、学費について	学事センター（学籍）窓口	2号館1階
課外活動、奨学金、ボランティア、住居（寮・アパート）、保険、学生相談、障がい学生支援、アルバイト、事故・被害届、学生金庫、団体学割、託児室	学生センター	2号館1階
交換留学、海外短期語学講座・研修、実践型プログラム、海外留学保険、留学カウンセリング	グローバル教育センター	2号館1階
グローバル教育センター開講科目（グローバル・コンピテンシー・プログラム、インターンシップ科目等）	グローバル教育センター	2号館地下1階
教職・学芸員課程について	課程センター	2号館1階
PCログインパスワード、ソフィアメール、Moodle、プリンタ、ネットワークなどの利用について	総合メディアセンター 利用相談室 総合メディアセンター ウェブページ 利用ガイドを参照 ( <a href="http://ccweb.cc.sophia.ac.jp/">http://ccweb.cc.sophia.ac.jp/</a> )	2号館3階
落とし物、忘れ物	管財グループ	2号館1階
就職活動、インターンシップ（科目外）など	キャリアセンター	2号館1階
応急処置、健康相談、健康診断証明書	保健センター	11号館入り口前、 ホフマン・ホール2階
大学生活で困ったこと、悩み相談	カウンセリングセンター	10号館3階

**Q 教員の連絡先が知りたいのですが…。**

A まず、教員一覧（p.346～）を参照してその教員が「専任教員」か「非常勤教員」なのか調べましょう。「職名」に「\*」が付いている教員は「非常勤教員」です。

「専任教員」の場合 ……p.331から始まる教員研究室・学科事務室一覧のオフィスアワーを参照してください。なお、専任教員の個人メールアドレスは公開していません。

「非常勤教員」の場合 ……本学に研究室はありません。原則として、受講している授業の前後でコンタクトをとってください。なお、教員によっては授業時以外での連絡方法を公開している場合があります。学生へ公開可能な連絡先があるかどうか、学生証を持参し、学事センター（教務）窓口で問い合わせてください。

詳細はp.19の「教員との連絡について」を参照のこと

**Q 履修の相談をしたいのですが、いつ、どこでできますか？**

- A 履修の相談は学事センター(教務)窓口でのみ行っています(電話での相談はできません)。窓口は平日の9:30~11:30, 12:30~17:00に開いていますので、その時間帯に来てください。なお、夏期・冬期の休業中や特別な場合の窓口時間については、その都度Loyola掲示板等でお知らせします。

**Q 時間割に記載されている教室に行ったら違う授業が行われていました。**

- A 教室が変更されている可能性があります。Loyolaの「授業掲示板」「時間割表」で最新の教室情報を確認できます。

**Q 授業開始時間が過ぎているのに、教員が来ない場合はどうしたらよいですか？**

- A まずは、Loyolaに休講情報が掲示されているか確認してください。休講情報が掲示されていないにもかかわらず、授業開始時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

**Q 忌引きのために授業を欠席しなければなりません。公欠届はありますか？**

- A 本学には公欠や欠席届の制度はありません。やむを得ず授業を欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取り次ぐことは出来ませんので、登校でき次第、受講している科目の担当教員とコンタクトをとってください。(感染症等に罹患した場合はp.24参照)  
定期試験を欠席した場合は、追試験が認められるケースがあります。(p.37~参照)

**Q 休暇や定期試験の日程など、大学のスケジュールを知りたいのですが…。**

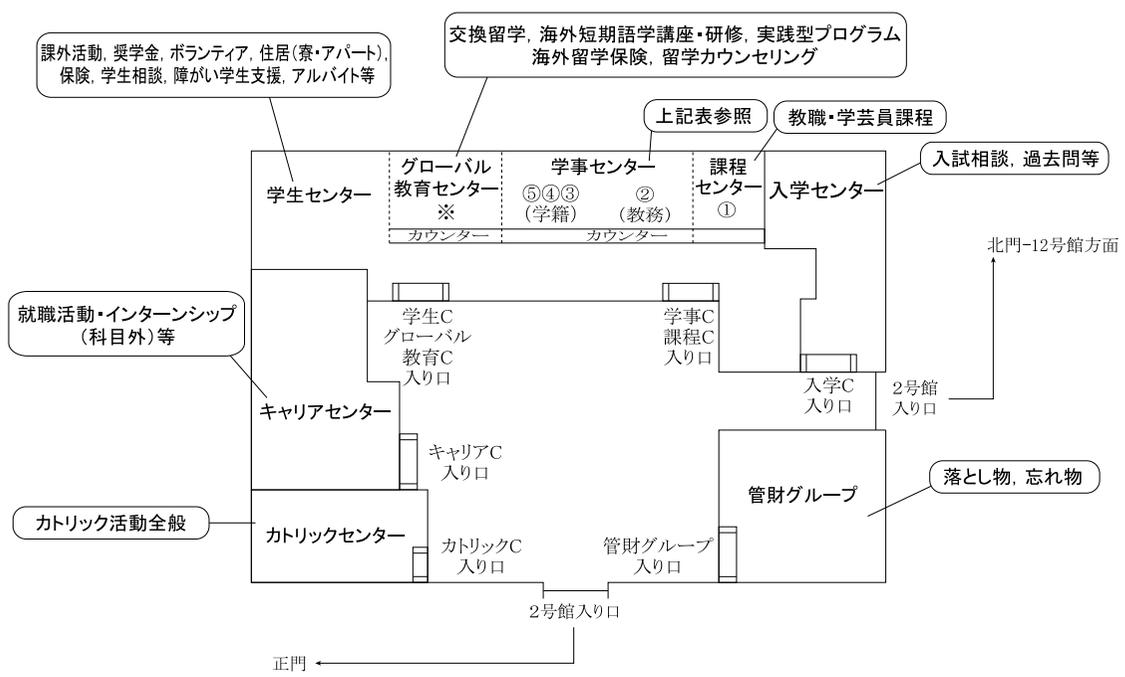
- A 2017年度行事予定表 (p.10~) /看護学科2年次生行事予定表 (秋学期) (p.62~) を参照してください。

## ● 各種問い合わせ先について

学事センターで取り扱っている問い合わせ内容および窓口番号は下記のとおりです。

問い合わせ内容	窓口番号
教職・学芸員課程について	課程センター窓口 ①番窓口
履修相談、成績、授業、単位について	学事センター（教務）②番窓口 各学部担当
証明書、学生証、休学・留学等について	学事センター（学籍）③番窓口
研究生、科目等履修生、聴講生について	学事センター（学籍）④番窓口
学費について	学事センター（学籍）⑤番窓口

(※) 各種相談は、原則として窓口のみにて受け付けています。  
特に履修相談、成績等については電話では受けられませんので注意してください。



※グローバル教育センター開講科目（グローバル・コンピテンシー・プログラム、インターンシップ等）は地下1階のグローバル教育センターで取り扱っています。

## ● 窓口時間について

月～金	午前	9:30～11:30	午後	12:30～17:00
	8月	午前	10:00～11:30	午後

- ※ 上記窓口時間外に各種相談、受付、必要書類の提出等を行うことはできません。
- ※ 土曜・日曜・祝日は休業です。
- ※ 夏期・冬期の休業中や特別な場合の窓口時間については、その都度Loyola掲示板等でお知らせします。

## ● Loyola による掲示について

大学から学生へのお知らせは、Webによる教学支援システム「Loyola（ロヨラ）」の掲示によって行います。この掲示を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

授業に関する情報（休講、補講、教室、臨時の教室変更、試験やレポートの告知など）や、学生への個人連絡、また緊急を要する重要な掲示等もLoyolaで行います。

大学が発信する最新の情報を得るためにも毎日必ずLoyolaの掲示板を見るように習慣付けてください。また、紙による掲示を併用する場合がありますので掲示板の位置については後見返しを参照してください。

＜Loyola掲示板＞ 重要な掲示がされますので、毎日確認するようにしましょう！

主な掲示板名	掲示内容
授業掲示板	教室変更・担当教員からのお知らせを掲示します。 ※休講・補講については「掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照」を見てください。 履修登録している授業の情報のみ参照できます。
呼び出し	各部署からの、個人連絡メッセージが表示されます。呼び出しの場合は、速やかに対応してください。
大学掲示板	上智大学に関係する行事、または大学からのお知らせ等を掲示します。
学科・専攻別掲示板	各学科・専攻からのお知らせを掲示します。
学事センター（教務）掲示板	履修登録、カリキュラム変更などの重要なお知らせを掲示します。必ず確認してください。
学事センター（学籍・学費）掲示板	学籍・学費・証明書等についてのお知らせを掲示します。

＜その他 Loyolaで確認できること＞

内容	参照メニュー
教室を確認したい	カリキュラム履修関係 → 時間割 → 時間割参照
休講・補講・臨時教室変更情報を見たい	掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照
シラバスを見たい	カリキュラム履修関係 → シラバス参照
履修登録をしたい。履修登録した内容を確認したい	カリキュラム履修関係 → 履修登録 → 履修登録・登録状況照会
成績を見たい	成績 → 履修成績照会
自己判定機能を使いたい	成績 → 自己判定
定期試験の日程やレポートの課題を確認したい	定期試験 → 定期試験時間割照会（学生用）
Loyolaの機能や詳しい使い方を知りたい	HOME → Loyola Handbook（学生用）

## ● 各種ガイダンスについて

大学生活は、自らの意志と計画によって勉学し生活していくものです。その一助として、学年のはじめに、科目の選択・登録・カリキュラムの内容、学習活動の手引きを目的とする各種のガイダンスが行われます。必ず出席してください。代表的なものとして、以下のようなガイダンスがあります。

対象者	出席すべきガイダンス
新入生	新入生ガイダンス
2年次生以上	在校生ガイダンス
教職課程履修希望者	教職課程説明会（4月） 教職課程新規履修者ガイダンス（9月）
学芸員課程履修希望者	学芸員課程新規履修者ガイダンス（4月）

この他にも必要に応じて各種ガイダンスが行われます。日時・場所などについては、随時Loyolaでお知らせします。

## ● 教員との連絡について

授業担当教員は、本学に籍を置いている教員（専任教員）と本学に籍がなく担当授業時に来校し講義を行う兼任講師（非常勤教員）がいます。教員と連絡を取りたい場合、専任教員か非常勤教員かによって連絡を取る方法が異なります。

### ■専任教員の場合

学内に研究室があり、学生との相談時間（オフィスアワー）が設けられていますので、その時間であれば相談や面会をすることが可能です。また、オフィスアワー以外の曜日や時間に面会を希望する場合は、教員が所属する学科の事務室へ相談し、教員と連絡を取ってください。

また、各学部学科のクラスまたはゼミ単位でクラス主任が置かれています。勉学や履修、進路に関することなど学生生活における問題について相談することができます。

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| ・教員の研究室およびオフィスアワー一覧 | ： p.331～参照                   |
| ・各学科の事務室            | ： p.331～参照（各学科の一番前に記載されています） |
| ・各学科のクラス主任一覧        | ： p.329参照                    |

### ■非常勤教員の場合

学内に個人の研究室はありませんので、担当する授業の前後で連絡を取ってください。また、教員によっては学生に対してメールアドレスなどの連絡先を公開している場合があります。

学生に対して連絡先を公開しているかどうか、またその連絡先については学事センター（教務）の窓口で問い合わせることができますので、希望する場合は学生証を持って窓口にきてください。

なお、個人情報保護の観点から電話での連絡先照会は受け付けできません。

また、学事センターが教員へ連絡を取り次ぐことは行っていません。

### ■連絡を取りたい教員が専任か非常勤が分からない場合

授業担当教員一覧（p.346～）から名前を探してください。

職名の欄に「\*」がついている教員は非常勤教員、ついていない教員は専任教員です。

## ● 公共交通機関運行停止時の取扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため、授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ、Loyola、公式フェイスブックもしくは公式ツイッターでお知らせしますので各自で確認してください。

## ● 個人情報の取扱いについて

上智学院個人情報保護への取組みについては下記URLを参照してください。

[http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/joho\\_toriatsukai](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/joho_toriatsukai)

# 教務（履修・成績・授業など）

## 1. 授業 … p.22

授業期間・学期期間・授業時間・みなし曜日  
祝日の授業日・教室について・教科書・休講・補講  
欠席した場合・感染症に罹患した場合  
裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱い

## 2. 単位と科目 … p.25

単位とは・科目の区分・履修度

## 3. ナンバリング … p.26

## 4. 履修登録 … p.27

履修登録日程・履修登録とは  
最高履修限度  
同一科目の重複履修  
抽選科目  
履修登録の注意点

## 5. 国際教養学部開講科目の履修について … p.32

受講資格・必要書類・履修申込方法  
サマーセッション

## 6. 履修中止 … p.33

履修中止とは・履修中止申請期間  
履修中止申請の注意点・「履修中止願」による申請

## 7. 試験 … p.36

試験の種類  
定期試験（筆記試験）・レポート試験日程等の掲示  
定期試験（筆記試験）の心得  
定期試験（筆記試験）での不正行為の禁止  
公共交通機関運行停止時の取扱い  
追試験  
レポート試験での不正行為の禁止  
試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

## 8. 学力の評価・成績 … p.41

評価基準・GPA・成績の公開スケジュール  
成績評価確認願  
成績不振学生との面談について  
単位修得不足者の扱い

## 9. 卒業要件と自己判定 … p.44

卒業要件  
卒業必要単位の確認方法  
Loyolaでの「区分変更」の廃止

## 10. 単位換算・単位認定 … p.46

単位換算・単位認定とは  
単位換算・単位認定された科目の成績  
単位換算・単位認定の取扱い期間  
入学前既修得単位認定・編入学単位認定  
教員免許取得のための単位認定  
大学院入学前科目履修制度  
技能審査（TOEFL・TOEFL ITP・TEAP）による英語の単位認定  
学生交流協定による単位認定  
留学による単位換算

## 11. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について … p.49

海外短期語学講座による単位付与  
海外短期研修による単位認定・単位付与  
実践型プログラムによる単位付与  
インターンシップ科目による単位付与  
国連ユースボランティア実習による単位付与

# 1. 授業

## ● 授業期間

1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則としています。授業の開始日・終了日、試験期間についてはp.10～の「2017年度行事予定表」で確認してください。

※看護学科2年次生（秋学期）についてはp.62～参照。

## ● 学期期間

学期の期間は下記のとおりです。

春学期： 4月 1日 ～ 9月20日

秋学期： 9月21日 ～ 3月31日

## ● 授業時間

時限	時 間
0	8 : 15～ 9 : 00
1	9 : 15～10 : 45
2	11 : 00～12 : 30
3	13 : 30～15 : 00
4	15 : 15～16 : 45
5	17 : 00～18 : 30
6	18 : 45～20 : 15

※この他に、通常の授業日時・時間帯とは異なる形式で、土日や補講期間などに集中的に授業を行う「集中講義科目」もあります。この場合の授業日時・教室については別途Loyolaの（教務）掲示板もしくは「授業掲示板」で掲示します。（時間割上では「集中講義」として記載されています。）

## ● みなし曜日

「みなし曜日」とは、祝祭日が集中し十分な授業日数を確保できない曜日が発生した場合、それを補うために通常のカレンダー上の曜日とは違う曜日にみなして取扱う日のことをいいます。

2017年度のみなし曜日については2017年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

※2017年度については、看護学科2年次生を除き、みなし曜日はありません。＜看護学科2年次生（秋学期）についてはp.62～参照＞

## ● 祝日の授業日

授業日数を確保するため、特定の祝日にも授業を行うことがあります。2017年度の祝日の授業日については2017年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

※看護学科2年次生（秋学期）についてはp.62～参照。

## ● 教室について

授業は、基本的にLoyolaに登録されている教室で行われます。しかし、授業開始後の受講者数や設備などの事情によって、一時的もしくは恒常的に教室が変更となる場合があります。特に授業開始後しばらくは教室の変更が多く発生しますので、授業の前に確認する習慣をつけてください。

### ■恒常的な教室変更の場合

Loyolaの「授業掲示板」に変更後の教室および変更日等について掲示が出ます。

またLoyolaの「カリキュラム履修関係→時間割」または「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」でも確認できます。

### ■臨時の教室変更の場合

Loyolaの「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」画面で確認できます。

## ● 教科書

授業に必要な教科書、参考図書はLoyolaの「カリキュラム履修関係→シラバス参照」で確認できます。特に事前の準備を求められていないものは、初回の授業で教員の指示に従って準備してください。教科書、参考図書は紀伊國屋書店が販売します。2016年度よりWebによる発注となっていますので、購入にあたっての詳細はLoyola掲示板で確認してください。

※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパスで購入できます。

## ● 休講

公務、出張、学会、病気などによって担当教員が授業ができなくなり、休講となる場合があります。休講情報は担当教員からの連絡によりLoyolaに掲示されますが、やむを得ず当日のお知らせとなる場合もありますので、授業前にLoyolaを確認する習慣をつけてください。

なお、Loyolaに休講掲示が出ていないにもかかわらず、授業開始時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

## ● 補講

補講は、春学期と秋学期にそれぞれ設けられている補講日に原則として行いますが、このほかにも別日程で行う場合があります。いずれの場合もLoyolaに掲示をしますので、教室や日時を確認のうえ受講してください。

2017年度の補講日については2017年度行事予定表（p.10～）で確認してください。なお、補講は休講した分の授業を補うものなので、通常の授業と同様に扱います。

※看護学科2年次生（秋学期）についてはp.62～参照。

## ● 欠席した場合

本学に公欠や欠席届の制度はありません。忌引、交通機関遅延、病気、課外活動、就職活動などによってやむを得ず欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取りつぐことはできません。ただし、定期試験の場合には、追試が認められるケースもあります（p.37～を参照）。

また、病気や怪我などの理由によって長期にわたり大学に来ることができない場合には、所属する学科の学科長もしくはクラス主任に相談してください（p.329～参照）。

## ● 感染症に罹患した場合

学校保健安全法に定められた感染症（インフルエンザ、はしか、百日咳、風疹、おたふくかぜ、水ぼうそう等）に学生が罹患した場合は、感染拡大を防ぐために所定の期間、登校禁止となります。万が一罹患した場合は、下記のとおり対応してください。

なお、新型インフルエンザなど新しい感染症の場合は、特別な措置がとられることがあります。Loyolaおよびホームページの掲示に注意してください。

1. 医師の指示に従い、感染の危険がなくなるまで自宅療養する。保健センターにFAX（報告用紙は大学ホームページからダウンロード）、Loyola、電話のいずれかで罹患を報告する。
2. 大学ホームページ上から「感染症治癒後登校許可証明書」をダウンロードし、登校が許可されたことを医師に記入してもらう。（登校禁止期間が記載されていれば医療機関発行の様式でも可）。  
※ダウンロードできない場合は、保健センターへ用紙を請求してください。
3. 登校時、上記証明書原本を保健センターに提出する。各担当教員には証明書の写しを提出する。

## ● 裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱いについて

「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づいて、今般導入された裁判員制度のもとでは、学生は裁判員の辞退等が認められていますが、裁判員になることを希望する学生の意思を尊重するため、学生が裁判員に選任された場合（その選任手続を含む）の授業等の出欠について、下記のとおり取り扱うものとします。

1. 対象となる学生  
本学に在籍する学部・大学院の正規生および科目等履修生（聴講生は含まない）
2. 対象となる事由
  - ①裁判員候補者として裁判員選任手続のために裁判所へ出向くとき
  - ②裁判員として裁判に参加するとき
  - ③補充裁判員として裁判に立会い等をおこなうとき
3. 手続き  
学生は、原則として事前に学事センター（教務）窓口申し出て、裁判員選任用所定の欠席届用紙を受取り、その欠席届とともに、裁判所から送達された文書（「選任手続日のお知らせ（呼出状）」）の写しを担当教員に提出し、当該授業を欠席することについて申し出る。また、事後には裁判所が発行する証明書類を提示して同教員に報告する。
4. 出欠の取り扱い  
上記所定の文書による申し出および報告があった場合、本人の不利益とならないよう、教員側で次のように配慮することといたします。
  - ①授業：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
  - ②授業内試験：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
  - ③定期試験：追試験の対象とする。通常の追試験願を期限までに提出する（p.37～参照）。

### \*参考

学生も裁判員候補者として選ばれるものの、法律により裁判員の辞退を申し出ることができる事由に該当するので、出廷に関して想定され得る対応例は次のようになります。

（学生の対応例）

- a) 裁判員の選任手続や裁判員として裁判に参加する
  - b) 学生という身分で、一般的に辞退する
  - c) 定期試験時など特定の月や日は辞退する
- （辞退を申し出ることができる主な事由）
- ・1年間を通じて辞退することができる一般的事由がある…「学生」という身分
  - ・裁判員になることが特に難しい特定の月がある…定期試験時など
  - ・他の期日に行うことができない社会生活上の重要な用務がある場合

## 2. 単位と科目

### ● 単位とは

すべての科目には一定の単位が定められており、これらの科目を履修して試験などに合格すれば単位が修得できます。単位数の計算方法は科目の種類によって異なります。自分が履修している科目が何単位であるかは、履修要覧の各学科や全学共通科目のページにある「開講科目担当表」に記載されています。

**卒業に必要な単位は、各学科または入学年次によって異なります。**自分が所属する学科のページにある、「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

なお、大学設置基準および学則第22条では、「授業科目の単位数は、1単位履修に45時間の学修を要することを標準とし」と定めています。このように、単位を修得するためには授業時間以外にも学習のための時間が要求されます。

### ● 科目の区分

授業科目は大きく三つの区分に分けられます。全学部共通で開講されている「**全学共通科目**」と「**語学科目**」、各学科で開講されている「**学科科目**」です。なお、13年次生以前の授業科目は「全学共通科目」と「学科科目」二つの区分に分けられています。

【14年次生以降】



【13年次生以前】



※ここで述べる語学科目とは、言語教育研究センター開講の科目を指します。

#### 【区分を確認することの重要性】

授業科目の区分については、科目によっては複数の区分にあてはめることができる科目もあります。これらの科目は**自分の卒業要件にあわせて履修登録の際に区分を決める必要があります**。複数の区分に属する科目の例は以下の通りです。（その他の複数区分にまたがる科目については、学科によって異なりますので、各学科のページを参照してください。）

	区分1	区分2
学全科目	学科科目（他学部他学科） [その他－他学部・他学科科目等]	全学共通科目（学全科目） [全学共通科目－選択科目－学全科目]
語学科目	語学科目 [語学科目－〇〇語]	学科科目 [学科科目－語学科目－〇〇語]

このような科目は履修登録時に区分を指定して履修する必要があるため、履修計画を立て、履修区分を予め理解した上で登録してください。**履修登録が終わった後での区分の変更はできません。**

### ● 履修度

全学共通科目、語学科目および学科科目は、それぞれ履修度によって、さらに以下の四つに分類されます。

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	数科目の中から学生が選択し、各学科所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	学生が自由に選択して履修する科目
自由科目	学問的興味・関心に応じて学生が任意に履修する科目（卒業に必要な単位としては認められない）

それぞれ必要な単位数は学科によって異なりますので、詳細については自分の所属する学科のページの「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」と「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

### 3. ナンバリング

---

2014年度より、全学部でナンバリングを導入しています。

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付けて分類することで、学修の段階や順序を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

ナンバリングによって科目の分野やレベル設定、履修順序などを読み取ることができます。履修計画を立てる際の指針として役立ててください。

1) ナンバリング対象科目  
全学部開講科目が対象です。

2) ナンバリング基本方針

↓科目の分野を表す（任意のアルファベット3文字）

AAA    111

↑100の位で科目のレベルを表す

【100の位のレベル分類】

100番台 導入レベル科目

200番台 基礎から専門的レベルへの橋渡しとなる科目

300番台 専門領域の科目、もしくは専門的な知識を踏まえ社会との接点を探る科目

400番台 専門領域の科目（上級レベル、専門領域の演習）

・各学科の詳細な付番方針・科目の分野については、各学科のページの履修上の注意に記載をしています。

3) ナンバリング掲載箇所

開講科目担当表の科目コードの隣の列に記載があります。

※例

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考
BGS50100	GBG200	グローバル化と政治学	2	春	上 智 太 郎	1・2	[190名]
BGS50200	GBG201	グローバル化と経済学1	2	春	*上 智 花 子	1・2	[190名]
BGS50201	GBG202	グローバル化と経済学2	2	秋	*上 智 花 子	1・2	[190名]

## 4. 履修登録

### ● 履修登録日程

履修登録は、春学期・秋学期ともに、所定の期間内に、Loyolaで履修登録手続きをする必要があります。

履修登録の際のLoyolaの操作手順や注意事項などの詳細は、「Loyola Handbook」の該当部分を参照し、間違いのないよう手続きをしてください。

#### ■ 春学期登録日程

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	2・3・4年次生	4月1日（土）10：00～	Loyolaで自己判定ができます。
②	履修登録期間（春学期）	2・3・4年次生	4月2日（日）10：00 ～4月12日（水）21：00まで	春学期および通年科目（抽選科目を除く）を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	4月3日（月）10：00 ～4月12日（水）21：00まで	
③	抽選科目登録期間（1次）	2・3・4年次生	4月2日（日）10：00 ～4月7日（金）15：00まで	春学期および通年科目の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーを行うこと。なお、1次の登録期間で定員を満たした科目には2次の登録期間にエントリーを行うことはできません。
		1年次生	4月3日（月）10：00 ～4月7日（金）15：00まで	
④	抽選科目登録（1次） 結果発表	全学生	4月8日（土）13：00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑤	抽選科目登録期間（2次）	全学生	4月8日（土）13：00 ～4月9日（日）15：00まで	1次の抽選科目登録で定員に満たなかった科目に対してエントリーを行うことができます。
⑥	抽選科目登録（2次） 結果発表	全学生	4月10日（月）13：00～	⑤の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑦	抽選科目登録期間（先着順）	全学生	4月10日（月）13：00 ～4月12日（水）21：00まで	1次・2次の抽選科目登録期間で定員に満たなかった科目および、削除により定員に達していない科目について、Loyolaで先着順に登録を受け付けます。
⑧	履修登録確認期間	全学生	4月13日（木）	履修登録した科目（②、③、⑤、⑦の期間に行った登録）の結果をLoyolaで確認することができます。
⑨	履修登録修正期間	全学生	4月14日（金）10：00 ～4月16日（日）21：00まで	通常科目および抽選科目（一部科目を除く）をLoyolaで修正（追加・削除）することができます。
⑩	履修登録確認期間（春学期最終結果）	全学生	4月18日（火）13：00～	修正登録した結果（②、③、⑤、⑦、⑨の期間に行った登録）をLoyolaで確認することができます。
⑪	卒業自己判定期間	1年次生	5月1日（月）10：00～	Loyolaで自己判定ができます。

#### ■ 秋学期登録日程

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	2017年9月 入学者を除く 全学生	9月11日（月）10：00～	Loyolaで自己判定ができます。
②	履修登録期間（秋学期）	2・3・4年次生	9月21日（木）10：00 ～9月30日（土）21：00まで	秋学期科目（抽選科目を除く）を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	9月22日（金）10：00 ～9月30日（土）21：00まで	
③	抽選科目登録期間（1次）	2・3・4年次生	9月21日（木）10：00 ～9月25日（月）15：00まで	秋学期の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーをおこなうこと。なお、1次の登録期間で定員を満たした科目には2次の登録期間にエントリーを行うことはできません。
		1年次生	9月22日（金）10：00 ～9月25日（月）15：00まで	
④	抽選科目登録（1次） 結果発表	全学生	9月26日（火）13：00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑤	抽選科目登録期間（2次）	全学生	9月26日（火）13：00 ～9月27日（水）15：00まで	1次の抽選科目登録で定員に満たなかった科目に対してエントリーを行うことができます。
⑥	抽選科目登録（2次） 結果発表	全学生	9月28日（木）13：00～	⑤の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。

	行事	年次	期間	備考
⑦	抽選科目登録期間 (先着順)	全学生	9月28日(木) 13:00 ～9月30日(土) 21:00まで	1次・2次の抽選科目登録期間で定員に満たなかった科目および、削除により定員に達していない科目について、Loyolaで先着順に登録を受け付けます。
⑧	履修登録確認期間	全学生	10月1日(日) ～10月2日(月)	履修登録した科目(②, ③, ⑤, ⑦)の期間に行った登録の結果をLoyolaで確認することができます。
⑨	卒業自己判定期間	2017年9月 入学者	10月1日(日) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。
⑩	履修登録修正期間	全学生	10月3日(火) 10:00 ～10月5日(木) 21:00まで	通常科目および抽選科目(一部科目を除く)をLoyolaで修正(追加・削除)することができます。
⑪	履修登録確認期間 (秋学期最終結果)	全学生	10月9日(月) 13:00～	修正登録した結果(②, ③, ⑤, ⑦, ⑩)の期間に行った登録をLoyolaで確認することができます。

## ● 履修登録とは

履修登録は、指定の期間内に各自が履修(授業を受ける)する科目を自ら決定し、自分自身の責任において登録する手続きのことです。履修登録は、抽選科目かどうかで、登録できる期間が異なります。

履修登録の手続きを誤ると、自分が履修しようと思っていた科目の履修が認められず、かつ、成績・単位の修得はできないため、登録は慎重に行ってください。また、登録の際にはLoyola上にある「Loyola Handbook」を熟読するようにしてください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。

ミスを防ぐために、履修登録完了後、必ず再度Loyolaにログインし、希望の科目が登録できているかを確認してください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

また、急なカリキュラム変更については、Loyolaの学事センター(教務)掲示板で都度お知らせしますので、必ず確認してください。

## ● 最高履修限度について

単位修得に必要な十分な学習時間を確保し、勉学の質を維持するため、各学期および年間に履修登録できる単位数は上限(最高履修限度)が定められています。

最高履修限度は学科および入学年次によって異なりますので、自分の所属する学科の「履修上の注意」のページを参照してください。

※最高履修限度は履修登録できる単位数の上限です。単位を修得しなかったもの(履修中止したもの(W)や評価がFとなった科目)も含まれます。

※春学期の上限単位数+秋学期の上限単位数>年間の上限単位数の場合、春学期・秋学期がそれぞれ上限単位数内であっても年間の上限単位数を上回ることはできません。

### ■ 最高履修限度の数の例

春	秋	年間
26	26	44

春学期科目20単位分を履修登録した場合

→秋学期には、年間(44単位)－春学期(20単位)＝24単位までしか登録できません。

上記の最高履修限度はあくまでも一例です。自分の学科の該当ページをよく確認して、年間の履修計画を立てるようにしましょう。

## ● 同一科目の重複履修について

同一科目を2回以上履修しても、卒業に必要な単位としては認められません。

同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目のことです。

そのため、一度単位を修得した科目を再び履修することは原則としてできません。また、科目コードが異なっても、同一科目とみなされる科目は、履修登録することができません。

ただし、一部の科目については重複履修することができるものもあります。

詳細については各学部学科のページを参照してください。

同一科目の履修が必要な場合は学事センター(教務)窓口にご相談に来てください。

## ● 抽選科目について

抽選科目とは、履修する定員数が定められている科目のことです。

開講科目担当表の備考欄に「〇〇名」という形で定員数が記載されています。

抽選科目の履修希望者は、各学期の抽選科目登録期間にLoyolaでエントリーを行う必要があります。

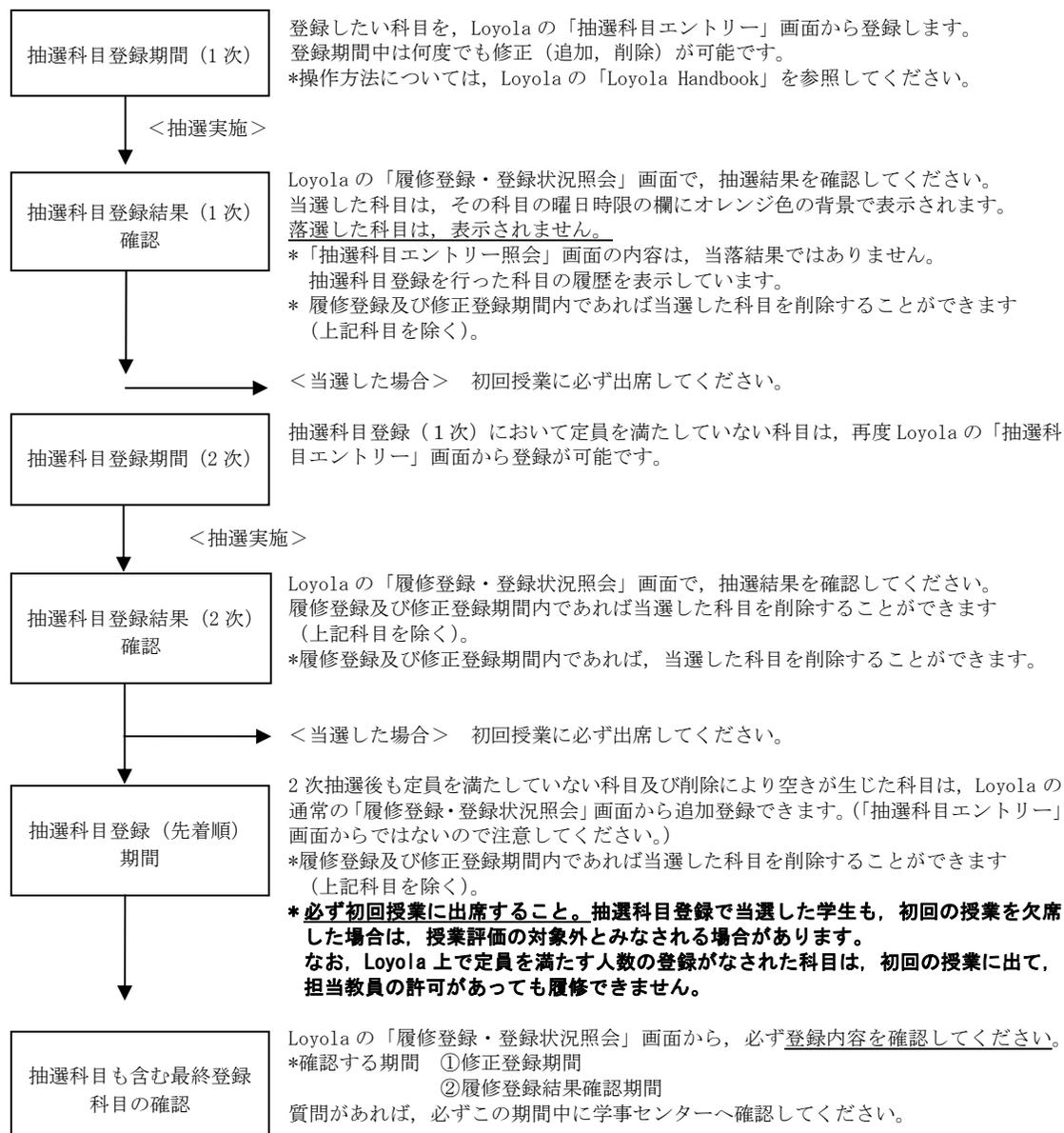
なお抽選はコンピュータにより行われ、当選者のみ自動的に履修登録されます。

**抽選科目に当選した場合、当選した科目を履修登録及び修正登録期間内であれば削除することができます（下記の削除はできません）。**

### ■ 削除できない科目

- ・語学科目（英語選択科目を除く）
- ・キリスト教人間学科目

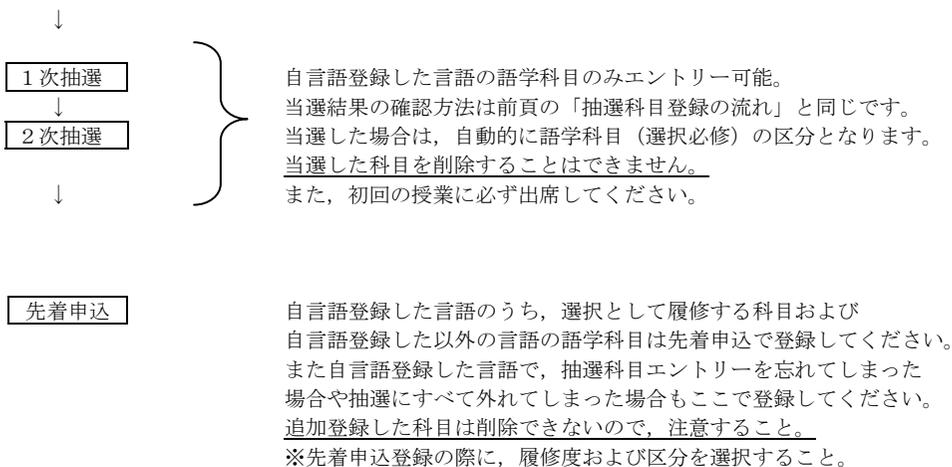
### ■ 抽選科目登録の流れ（14年次生以降の語学科目の抽選の流れは次頁を参照。）



## ■抽選科目登録の流れ（14年次生以降の語学科目履修）

### 必修（英語を除く）／選択必修として履修する言語を登録（自言語登録）

※この登録をしていないと、抽選科目のエントリーができません。自言語登録の方法はクイックナビを参照すること。



- ・履修登録期間中であれば、一度登録した「必修/選択必修として履修する言語」を変更することができます。ただし、選択している言語の科目の履修登録情報および抽選科目エントリー中の情報がある場合は、変更ができません。抽選エントリー取消および履修登録削除を行ったうえで、登録した言語の変更を行ってください。（ただし、抽選科目で当選した場合は科目の削除は認められないため、登録した言語の変更はできません）

## ■抽選科目登録の注意点

抽選時にエラーがあった場合（例：履修制限、履修年次など）は、抽選科目エントリー画面に表示されるエラー内容を確認してください。

2017年度春学期より全学共通科目（選択科目）は、抽選に当選する上限科目数が各学期、4科目（8単位）となります。

なお、先着順となった全学共通科目（選択科目）は、上限を超えても登録が可能です。

## ● 履修登録の注意点

### ■ 履修計画を綿密に立てる

卒業に必要な要件を確認しつつ、履修要覧およびシラバスを参照しながら、1年間の履修計画を立てましょう。2年次生以上の学生は、前年度までの単位修得状況も確認する必要があります。科目によっては、秋学期に春学期の続きの科目を履修しなければならない場合もあります。春学期の履修登録時には、秋学期の必修科目の時間割も考慮しましょう。このように、履修計画は年間単位で考えるようにしてください。また、学期および年間の最高履修限度の単位数も意識して履修計画を立てましょう。(最高履修限度についてはp.28「最高履修限度について」を参照)

### ■ 履修登録期間内に必ず登録する

#### 「履修しようとする授業科目は所定の期間に登録しなければならない(学則第50条)」

履修登録は、上記のように学則第50条で規定されているとおり、所定の期間以外に行うことはできません。登録期間は学年によって異なることがありますので十分気をつけてください。

### ■ 初回の授業へ必ず出席すること

初回の授業では、今後の授業スケジュールや評価方法など重要な説明がある場合がありますので、必ず出席してください。初回の授業の出席から授業評価の対象になっている科目もありますので(シラバスを参照してください)、欠席すると、以後の授業に出席することを認められない場合があります。またその場合でも、履修登録が自動的に削除になることはありません。自分で履修中止を行う必要があります。

### ■ 履修登録の確認を行う

履修登録したつもりが、きちんと登録されていない場合、いくら授業に出席していても評価の対象外となり単位の修得はできません。履修登録は自分自身で責任を持って行うものです。履修登録ミスを防ぐため、履修登録後、履修確認期間に必ず再度確認し、間違えていた場合には修正登録期間に修正してください。

### ■ 履修登録操作に関する注意点

- ・履修登録操作をする際は、「[Loyola Handbook](#)」(Loyolaメニューから閲覧可能)をよく読んで行ってください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。
- ・Loyolaによる履修登録では、登録最終日の最終時刻までに登録を完了する必要があります(「履修登録・登録状況照会」画面にて、「登録完了」ボタンをクリックすることで完了します)。登録期間内にログインしていても、最終時刻までに「登録完了」ボタンをクリックしていないと履修登録が完了したことにはならないので、注意してください。登録最終日にパソコン、通信環境のトラブルで登録できなかった場合も、特例の措置はとりません。余裕をもって登録をおこなってください。
- ・履修登録の最終日は、大変混雑が予想されるため、できれば前日を目途に早めに登録を完了するよう心がけてください。期間中であれば、「登録完了」ボタンを押した後でも、繰り返し修正(追加・削除)することが可能です。ただし、当選した抽選科目および先着申込で登録した科目は修正・削除できません。
- ・履修登録完了後は、登録されている科目に誤りがないかを期間中に必ず確認してください。最終時刻までの間に、「登録完了」ボタンを押した最後の状況が登録されます。
- ・最終段階の「履修登録・登録状況照会画面」をプリントアウトするか、もしくは画面のコピーのデータを保存しておくことを推奨します。その際は「登録完了」ボタンを押して、一旦ログアウトした後、再度ログインしたときのものでプリントアウトしてください。

### ■ 質問は窓口時間内に

履修登録についての質問がある場合は学事センター(教務)窓口で聞いてください。電話での履修相談や問合せは受け付けできません。

## 5. 国際教養学部開講科目の履修について

### ● 受講資格

以下のいずれかの条件を満たしている事。

	条件	証明書類
TOEFL	550 (Internet-basedは79) 点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEFLのITP	550点以上	
TOEIC (IPも可)	730点以上	
IELTS	6.0以上	
TEAP (4技能)	334点以上	
TEAP (CBT)	600点以上	
実用英語検定	1級・準1級	合格証書または証明書*
上智大学協定校交換留学	英語圏・英語で教育を行っている大学	履修願に大学名を記入

\*いずれもコピー可。また Loyola 外国語検定試験の画面で「承認」となっているスコアについては、該当ページを印刷したものでも受付可。

### ● 必要書類

- ① 履修願 (所定用紙)
- ② 受講資格を証明できるもの (上記証明書類の欄を参照)

### ● 履修申込方法

- ① 履修登録期間までに、Loyola (教務) 掲示板から履修願・Course Scheduleをダウンロードし、履修計画を立てます。履修希望科目選択にあたっては、Loyola上のシラバスを確認して下さい。

\*なお、以下の科目は国際教養学部正規生のための必修科目のため、他学部生は履修できません。

ENG001	BASIC SKILLS (WRITING)	ENG110	ACADEMIC ENGLISH SKILLS
ENG111	ENGLISH COMPOSITION 1	ENG112	ENGLISH COMPOSITION 2
ENG115	PUBLIC SPEAKING	THP101	THINKING PROCESS

\*また、一部の科目は前提履修を必要としている為、履修を希望する場合は「FLA Bulletin of Information」及びシラバスを参照すること。

- ② 履修願に必要な事項を記入し、学事センター (教務) 窓口へ提出してください。  
Loyola上では履修登録はできません。(登録日程の詳細についてはLoyolaの学事センター (教務) 掲示板で確認すること)。以下の点に特に注意してください。

\*一度提出した履修願は取り下げることができないので、十分注意すること。履修願を提出した科目を取りやめた場合は所定の期間に履修中止申請を行うこと。

- ③ 国際教養学部開講の抽選科目は国際教養学部生の優先科目です。他学部生の履修に関しては、定員に満たなかった科目のみ履修登録が可能です。

なお、履修登録にあたっては、Loyolaで登録した科目が優先的に登録されます。従って、Loyolaで履修登録した科目と、国際教養学部の科目で履修手続を行った科目が曜日時限の重複をしていたり、国際教養学部の科目を履修登録した場合に年間の最高履修限度を超えてしまう場合には、申請した科目は登録されないで十分注意すること。履修登録の結果は、履修登録確認期間内にLoyolaの「履修登録・登録状況照会」画面で各自確認すること。

### ● サマーセッション

国際教養学部開講のサマーセッション科目を履修することができます。登録期間は2017年6月12日 (月) ~16日 (金) です。サマーセッション科目は学期および年間の最高履修限度には含まれません。登録方法やプログラムの詳細については6月初旬に、Loyola学事センター (教務) 掲示板でお知らせします。

なお、サマーセッション科目の履修には、別途授業料がかかります。

## 6. 履修中止

### ● 履修中止とは

授業に出席してみたものの、①授業の内容が自分の勉強したいものと違って、②授業のスピードについていけないだけの知識が不足していることに気がついた、③自分の履修計画を見直した結果、履修科目を減らしたい、という場合、定められた期間内に履修中止の手続きをすることができます。

履修中止の手続きは2種類あり、①Loyolaで行うものと、②学事センター（教務）窓口で「履修中止願」（紙）を提出するものがあります。

### ● 履修中止申請期間について

2017年度の履修中止申請期間は下記のとおりです。

#### ■ 春学期申請期間

日	時	結果確認期間	対象科目
5月8日（月）	10：00～11日（木）18：00まで	5月15日（月）10：00～	春学期前半科目
6月5日（月）	10：00～9日（金）18：00まで	6月13日（火）10：00～	春学期科目・春学期後半科目・通年科目

#### ■ 秋学期申請期間

日	時	結果確認期間	対象科目
10月23日（月）	10：00～26日（木）18：00まで	10月30日（月）10：00～	秋学期前半科目
12月4日（月）	10：00～8日（金）18：00まで	12月12日（火）10：00～	秋学期科目・秋学期後半科目・通年科目

\*Loyola（Web）画面から、各自確認してください。「入力したつもり」であっても画面に反映されていない場合は無効です。

\*必ず操作終了後、再度ログインしなおしたうえで、履修中止一覧に表示されているか、確認してください。

\*コンピュータの不具合や通信環境のトラブルによって履修中止申請最終日に操作ができなかった場合、特例の措置はとりません。

\*余裕をもって、できる限り締切り前日までに申請を済ませ、履修中止期間中に再確認が行えるようにしてください。

### ● 履修中止申請の注意点

#### ■ 履修中止できない科目

- ① 必修科目（全学共通科目、学科科目を問わず）
- ② 外国語科目／「必修」および「選択必修」としての語学科目（例外についてはp.34「履修中止願」による申請を参照してください）
- ③ 教育実習 ・ 博物館実習

ただし、学科によっては必修科目以外でも履修中止できない科目や、履修中止ができる必修科目がある場合があります。各学科とも「履修上の注意」で確認してください。

#### ■ 4年次生は履修登録単位の合計が卒業に必要な単位数、要件を満たしているか、十分に確認してください。

#### ■ 履修中止期間外の履修中止および履修中止の取消はできません

履修中止期間内であれば、Loyola上で履修中止の取消は可能ですが、期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません。履修中止を行いたい科目がある場合は期間内に余裕をもって行ってください。ただし、履修中止した科目を翌年度以降再度登録することは可能です。

#### ■ 抽選科目でも履修中止することができます

抽選科目に当選したが、履修中止をしたい場合はLoyolaで履修中止をすることができます。（必修科目等の履修中止ができない科目もあります。）

#### ■ 最高履修限度に含まれます

履修中止した科目の単位数分も学期および年間の最高履修限度に含まれます。

秋学期の履修登録の際には、その分も含めて最高履修限度内で履修計画を立てるようにしてください。

## ■履修中止の確認を行う

履修中止期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません。申請ミスを防ぐために、履修中止手続完了後、必ず再度Loyolaにログインし、履修中止手続ができていることを確認するようにしてください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

## ●「履修中止願」による申請

2017年度の「履修中止願」の配布・受付期間は下記のとおりです。

行事	期間	結果確認期間	対象科目
春学期「履修中止願」の配布・受付期間	6月5日（月）9：30 ～6月9日（金）17：00まで	6月13日（火）10：00～	通年科目・春学期科目 (必修科目を除く)
秋学期「履修中止願」の配布・受付期間	12月4日（月）9：30 ～12月8日（金）17：00まで	12月12日（火）10：00～	通年科目・秋学期科目 (必修科目を除く)

「履修中止願」の申請結果が確認期間になっても反映されない場合は、至急学事センター（教務）窓口まで来てください。

※窓口受付は平日のみ、11：30～12：30を除く。

※看護学科2・3・4年次生は、目白聖母キャンパス事務センターに提出できます。

## ■履修中止願の提出をもってのみ中止が認められる科目

### 学科科目

神学部：「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
文学部：哲学科「卒業論文指導」・「卒業論文」  
史学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
国文学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」  
英文学科（15年次生以降）「RESEARCH PROJECT 1・2」 / （14年次生以前）「卒業論文1・2」  
ドイツ文学科「卒業論文1・2」  
フランス文学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」・「卒業論文演習A・B」  
新聞学科「卒業論文a, b」  
総合人間科学部：教育学科「卒業論文」  
心理学科「卒業研究A・B」  
社会福祉学科「論文指導」・「レポート指導」  
法学部：「演習（必修のみ）」  
外国語学部（14年次生以降）：「卒業論文・卒業研究Ⅰ、Ⅱ」  
理工学部：物質生命理工学科「ゼミナールⅠ・Ⅱおよび卒業研究Ⅰ・Ⅱ」  
機能創造理工学科「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」  
情報理工学科「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」

\* 上記の学科科目については学科長の承認が必要。学科長の押印がないものは、受付期間内であっても受理できません。

### 外国語科目（13年次生以前）

外国語科目は以下の場合に限り、履修中止を受け付けます。ただし履修中止が可能かどうかを確認する必要がありますので、希望する場合は必ず受付期間中に Loyola の履修成績照会画面のプリントアウトを持参のうえ、学事センター語学科目担当、もしくは目白聖母キャンパス事務センター（看護学科4年次生のみ）に相談してください。

- ① 学科選択科目の場合(ただし神学部の学生が「現代外国語」・「古典語」・「現代語」として履修している場合は Loyola からの中止可。履修中止期間前に、必ず区分変更を行ってください。)
  - ② 卒業に必要な科目の場合
  - ③ 必修／選択必修として履修する言語の変更を希望する場合(一度「履修中止願」によって履修中止した言語は、次学期以降履修することはできません)
  - ④ 海外短期語学講座の単位付与確認書を提出済で、その単位の修得をもって必要単位に余剰が見込まれる場合
  - ⑤ TOEFL の単位認定で成績が付与され、その単位の修得をもって必要単位に余剰が見込まれる場合
- \* 単位認定の手続きだけでは履修中止とはなりません。別途履修中止の手続きをする必要があります。

\* 担当教員、学科長の許可は不要です。

### 語学科目（14年次生以降）

語学科目は以下の場合に限り、「履修中止願」による履修中止を受け付けます。ただし履修中止が可能かどうかを確認する必要がありますので、希望する場合は必ず受付期間中に Loyola の履修成績照会画面のプリントアウトを持参のうえ、学事センター語学科目担当、もしくは目白聖母キャンパス事務センター（看護学科2・3・4年次生のみ）に相談してください。

看護学科2・3・4年次生は、p.244「外国語科目（13年次生以前）」を参照のこと。

- ① 必修もしくは選択必修として履修する言語を変更する場合
  - ② 海外短期語学講座の単位付与にかかる確認書を提出済みで、その単位の修得をもって卒業に必要な単位に余剰が見込まれる場合
  - ③ TOEFL、編入学及び留学等における単位が認定済みであり、それによって必要単位数に余剰が出ている場合
- ※①②について、履修中止が認められた場合、次学期以降にその言語を必修もしくは選択必修として履修することはできません。
- ※③について、すでに申請が認められ、単位が認定済みの場合に限りです。これから申請予定及び申請中の場合は受け付けません。

## 7. 試験

### ● 試験の種類

春学期・秋学期それぞれの学期中および学期末に行われる試験については、その実施時期により以下の種類に分けられます。

試験種類	実施／提出日	日程等の掲示	追試験	備考
授業内試験	授業期間中(主に最終授業日等)に随時実施	各担当教員より授業内に個別に指示	対象外	語学科目は原則授業内試験となる。
定期試験 (筆記試験)	定期試験期間中に実施	学事センターよりLoyolaにて掲示	対象	
レポート試験	学期末の指定された日迄に提出	(日程については下記参照)	—	Loyola掲示は一部の情報のみ。詳細は、各担当教員から授業内に個別に指示される場合あり。

### ● 定期試験（筆記試験）・レポート試験の日程等の掲示

上記のうち、「定期試験（筆記試験）」および「レポート試験」がある科目については、その詳細について下記の日程で学事センターよりLoyolaにて掲示します。

また、授業内試験等の科目については「その他」として掲示されます。

#### 四谷キャンパス

	日程掲示／公開日	定期試験（筆記試験）期間
春学期	2017年7月10日(月)	2017年7月24日(月)～7月29日(土)
秋学期	2018年1月9日(火)	2018年1月23日(火)～1月30日(火)

※目白聖母キャンパスの定期試験期間については、「2017年度看護学科2年次生行事予定表（秋学期）」(p.62～)にて確認してください。なお各科目の定期試験実施日・時限については、Loyolaにて掲示します。

### ● 定期試験（筆記試験）の心得

#### ■ 受験上の注意

- ・Loyolaで試験教室を確認し、指定された試験教室で受験してください（授業実施教室と試験教室は異なる場合があります）。
- ・携帯電話（スマートフォン）・PHS・ウェアラブル端末などの電源は切って、鞆の中にしめてください。また、時計の代わりに使用することも認められません。
- ・試験開始後、20分以上遅刻すると理由の如何にかかわらず受験できません。  
交通遅延を含むいかなる理由があっても、所定の試験時間を延長することはありません。試験当日は早めに試験教室へ到着するよう心がけましょう。
- ・途中退場は試験開始30分後から試験終了10分前までとし、それ以外の試験時間中は退場できません。
- ・答案用紙を提出しないと退場できません。
- ・試験監督の指示に従わない場合や私語・態度の不正を注意しても改めない場合、当該学生の試験は無効になります。

#### ■ 持参するもの

- ① 学生証：必ず机の上に置くこと。学生証を所持しない学生はいかなる理由があっても受験できません。  
※学生証を忘れた場合は、2号館4階の証明書自動発行機にて「臨時学生証」（有料：500円、当日のみ有効）を発行してください。ただし、試験開始後20分までに「臨時学生証」を持って試験教室に入場できない場合は、他の遅刻者と同様、定期試験の受験ができません。
- ② 筆記用具
- ③ 下敷き：使用希望者のみ。白かそれに近い色に限ります。ノート・書籍などを下敷き代わりにすることはできません。

## ■ 答案について

- ・ 答案は、原則として1枚のみ配布します。配布の答案以外の用紙での提出は、無効になります。
- ・ 書き損じのため新たな用紙を再配布された場合、書き損じの分は回収されます。
- ・ 学生番号・氏名は、必ずボールペンもしくはサインペンで記入してください。未記入の答案は無効になります。

## ● 定期試験での不正行為の禁止

絶対に不正行為を行ってはけません。本学では、不正行為に対して厳格な対応を行います。なお授業期間内に随時行われる授業内試験において不正行為を行った場合も、定期試験と同様に厳しく処分されます。試験においては常に誠実な受験態度で臨んでください。

### 【筆記試験における不正行為の例】

- ・ 持込みが許されていないものを持ち込んで使用すること（カンニング・ペーパーなど）
- ・ 答案を他の学生とすりかえたり、事前に書いた答案を持ち込む行為
- ・ 身代わりに受験をしたり、受験をさせる行為
- ・ 携帯通信端末の使用（時計としての使用も含む）
- ・ 試験の公正な実施を妨げる行為

定期試験期間中の筆記試験において不正行為があった場合、以下の処分が厳しく下されます。

- ① 不正行為の状況により、退学、停学あるいは訓告の処分がなされます。
- ② 不正行為をおこなった科目の成績は「不合格 (F)」となります。加えて、当該定期試験期間中に行われたその他すべての筆記試験科目の成績も「不合格 (F)」となります。
- ③ 該当学生が不正行為をしたことについて、学内に掲示します。

### 【停学になった場合】

- ・ 停学期間は修業年限に算入されません。したがって、4年間（標準修業年限内）で卒業することはできません。
- ・ 奨学金の採用が取り消しになります。また、交換留学、海外短期語学講座・研修等、大学で主催するプログラムの学内選考合格が取り消しになることがあります。

筆記試験において不正行為を行うことは、1科目の成績にとどまらず、あなた自身にとっての大きな不利益をもたらすことになります。安易な気持ちや一時の気の迷いから不正行為をすることの絶対のないよう注意してください。また、試験前に、持込みの可否、持込みが許されているものの内容についてLoyolaにて充分確認してください。

## ● 公共交通機関運行停止時の取扱い

共通事項の「公共交通機関運行停止時の取扱いについて」(p.19)を参照してください。

## ● 追試験について

下記の事由により、定期試験を受験できなかった学生は、『追試験願』（所定用紙）を提出することによって追試験受験を認められることがあります。追試験を受験するには、所定の期間内に申請し許可を得るとともに追試験料を納める必要があります。

なお、授業内（定期試験期間外）に試験を実施した科目は追試験を申請することができません。

### ① 追試験願を提出する事由

原則として、『病気』、『三親等以内の忌引き』、『災害』、『交通機関の遅延』、『裁判員制度での選任』とします。申請時には試験当日に当該試験を受験できなかったことが証明できる以下の書類を添付し、定められた期日内に手続きを完了させなければなりません。

### ② 各事由の証明書および手続きについて

追試験願の提出にあたり、事由毎に必要な証明書（次頁参照）とLoyolaの定期試験科目照会画面のプリントアウトを必ず持参してください。

1『病気』の場合	医師が発行した診断書または感染症治療後登校許可証明書（本学所定様式） ※領収書は不可
----------	--

診断書は、以下のすべての内容が記載されていることが必要である。

- 病名または病状と診察内容、試験当日に試験を受験できなかったことが記載されていること。
- 受験できなかった試験日が受診日または療養期間として明記されていること。

※ 数日にわたって試験を欠席した場合、該当期間が受診日または療養期間として明記されていることが必要。上記a)b)の内容が記載されていない場合、書類記載内容不備により、追試験申請ができないので注意すること。

※ **なお、感染症の罹患による追試験申請についても、追試験申請期間中の申請が必要となるので、申請期間中に登校できない場合は、期間終了前に学事センターまで問い合わせること。**

2『三親等以内の忌引き』の場合	会葬御礼のはがき等
-----------------	-----------

試験が受験できなかった日付が記載されていること。

※ **移動日は追試験対象とはならないので注意すること。**

3『交通機関の遅延』の場合	各交通機関が発行した遅延証明書（乗車日付が当日のもの、および遅延時間が記載されたもの）インターネット上の遅延証明書を印刷したものでも可。
---------------	--

交通機関が20分以上遅延し、試験会場への到着が試験開始定刻から20分を超えたことにより、定期試験を受験できなかった場合、追試験を申請することができる。ただし、交通機関の遅延当日のみ申請が可能。

※ **試験翌日以降に申し出ても、追試験の申請はできないので注意すること。**

**注意**

遠距離通学や交通機関のストップ等やむを得ない事情で遅延当日に学校に来ることができない場合のみ、**当日17：00まで（5・6限の試験は当該の試験時間が終わるまで）**に学事センター追試験担当まで電話連絡（TEL03-3238-3515）し「仮申請」を行うこと。上記の期間内に「仮申請」を行わなかった場合および「仮申請」の後、所定の期限までに追試験申請を行わなかった場合は、いかなる理由があっても当該遅延による追試験申請はできない。

- ※ **学生本人の自宅から大学へ通常使用している路線の遅延に限る（自宅外からは申請不可）。**申請の際に、学生証裏面の「通学証明書シール」記載の住所を学事センターにて確認の上、申請を受け付ける。
- ※ 遅れた時間以上の遅延証明（例えば、試験開始から30分遅れた場合は、30分以上の遅延証明）でなければ認められない。初めから遅刻入室を想定して登校した場合、追試験の申請は不可。
- ※ 交通遅延が事由の場合、代理申請は不可。

<<交通遅延により試験開始時刻に間に合わなかった場合、遅延の時間により以下の対応を行うこと>>

- ◎ **試験開始後20分以内に到着した場合**  
20分までの遅刻ならば受験可能なため、速やかに試験会場に向かうこと。そのまま受験をする。
- ◎ **試験開始後20分を超えて到着した場合**  
遅延証明書を持って、速やかに2号館1階の学事センター（教務）窓口に来ること。到着時間等を確認し、遅延証明書を提出の上、追試験申請をすることができる。  
★判断に迷う場合は、まず試験教室に行き、試験監督の指示に従うこと。  
※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパス事務センター窓口に来ること。

その他、『災害』、『裁判員制度での選任』の場合は、学事センター追試験担当宛に問い合わせをしてください。手続き等の詳細の指示を行います。

③ 追試験料

1科目あたり2,000円

④ 追試験関連スケジュール（四谷キャンパス・予定） ※詳細はLoyola-学事センター（教務）掲示板を確認すること。

	2017年度春学期	2017年度秋学期
追試験申請期間 (追試験願提出期間)	春学期定期試験期間中（7月下旬）	秋学期定期試験期間中（1月下旬）
追試験料納入期間	7月下旬～8月初旬	1月下旬～2月初旬
追試験日程掲示（Loyola）	8月下旬	2月中旬
追試験日	8月下旬～9月初旬 ※追試験日を選択することはできません。	2月中旬～2月下旬 ※追試験日を選択することはできません。

目白聖母キャンパスでの追試験関連スケジュールは、Loyolaの学事センター（教務）掲示板を確認してください。具体的な追試験申請期間および注意事項等は定期試験前にLoyolaの学事センター（教務）掲示板に掲示します。この掲示板を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

## ● レポート試験での不正行為の禁止

レポート試験においても、不正行為・不適切行為を絶対に行ってはけません。本学ではこれらの不正行為・不適切行為を以下のようにとらえ、厳格な対応を行います。

### [レポート試験における不正行為の例]

- ・書籍や各種資料、インターネットのWeb情報などを、引用先を明記しないまま、自分が考え書いたかのような文章として用いること
- ・当該科目あるいは過去の類似科目などで、先輩や友人・知人など他人が書いたレポートを、自分が書いたものとして提出すること

### [レポート試験における不適切行為の例]

- ・自分が書いたレポートではあるが、他の科目で書いたレポート内容と同じものを使いまわす形で違う科目に提出すること

レポート試験におけるこれらの行為が判明した場合、当該科目が「不合格 (F)」になるだけでなく、定期試験と同様に処分の対象とすることがあります。(定期試験における不正行為の処分についてはp.37参照)

レポート試験における不正行為・不適切行為は、あなた自身の事前の注意深い態度によって十分に防ぐことが可能です。下記の「試験やレポート・論文作成に臨むにあたって」を熟読し、「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の遵守を心がけて、そのようなことのないように注意してください。

## ● 試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

### ◆ 「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の涵養と遵守

上智大学は、その校名Sophiaが意味するように、叡智を究極のものとして尊重します。そのため、以下の (1) (2) にしめされるような「アカデミック・オネスティ (academic honesty/学問的誠実性)」の態度の涵養を、皆さんに求めていきたいと考えます。それは、Men and Women for Others, with Others の考え方にに基づき、他者の尊重・他者との協調を重視する本学の取り組みの方向とも関連するものであります。

- (1) 先人や同時代人の研究・情報源に敬意をはらって学習しつつ、自ら新たに深めていく。
- (2) 継続的な努力をつづけることで、自らの基本的な学力の向上に努める。

学問的にオリジナルであろうとするあまり、守るべき研究上のルールが守られないこと (データの偽装や捏造など)、また、他者の研究成果を自らのものであるかのように偽ったり、それに無自覚的であることなどは、共に「アカデミック・オネスティ」に反する態度であるといえます。

自らの学習の成果を確認する場面である定期試験 (筆記試験やレポート試験) においても、日ごろの学習と変わらぬ「アカデミック・オネスティ」の態度の遵守が求められます。したがって、カンニングやレポートの盗用など、不正行為は強く戒められるものとなります。上智大学の学生らしい知を愛する姿勢を、皆さんが様々な場面で尊重し、涵養していくことを望みます。

## ◆レポートや論文作成の上で守るべき引用の方法について

各授業科目での成績評価方法の一つとして、レポートや論文の提出を求められることがあります。その作成において、最終的には自身による分析や考えを述べる必要があります。内容がひとりよがりにならないためには、過去や現在において行われている様々な研究成果に学び、それを活用して、その上に研究を積み上げていくことが大事になってきます。レポートや論文の作成に際しては、以下の点を守る必要があります。

- ①レポートや論文で論ずる考え方や発想、図表などが、何らかの文献や資料、Webサイトに載っている場合には、どの文献や資料、Webサイトのどの箇所に載っているかを明らかにしなければなりません。
- ②文献や資料、Webサイトから直接引用する場合には、それが引用であることを「 」などで明示し、どの文献や資料のどの箇所から引用したかを明らかにしなければなりません。
- ③言うまでもなく、レポート・論文は自らが書いたものであり、友人・先輩・家族・知人などが書いたものを自分が書いたかのように提出することは許されません。

もし、あなた自身が書いた文章や論文が遠くの身知らぬ人に、あるいは身近で知っている人に、何の許しも相談もなく勝手に「自分が書いたものだ」として使われたら、あなたは どう思うのでしょうか。引用や参照は著作者の権利保護と共に、学習や研究をする者同士のマナーとして考える必要があります。

上記①②の処理を怠って、引用であることを示さないまま、あるいはアイデアを負っている文献や資料を示さないまま、内容を引き写したり記述を進めたりすることは盗用や剽窃（ひょうせつ）と見なされます。海外では、「プレジャリズム(plagiarism)」とも称され、文献やWebサイトからの安易な切り貼りとして強く非難されています。また、他人の書いたものの提出である③が、虚偽行為にあたることは言うまでもありません。盗用や他人が書いたものの提出が明らかになった場合は、筆記試験での不正行為（カンニング）と同様に厳しい処分と厳重注意の対象となります。したがって、引用や参照にあたっては次の2つの重要なルールについて十分に注意を払い、守ってください。

- ▼ (1) 書籍やWebサイトからの引用や参照にあたっては、レポートや論文において、注記をつけて、資料の出所を明らかにします。引用の記載方法などは、学問分野ごとに多少の相違があるので、詳細は各教員に確認してください。以下のような内容を含んでいることが一般的です。

- ◇書籍からの引用例：著者名『書名』出版社名、刊行年、引用頁
- ◇学術誌の論文等の引用例：著者名「論文名」『所収雑誌名』○巻△号、刊行年、引用頁
- ◇Webサイトからの引用例： 作成者名「サイト名や記事名」〈URL <http://www.○○○.△△△>〉  
閲覧日-20XX年11月1日（または最終更新日-20XX年6月30日）

- ▼ (2) 必要があり、他人の文章を自分のレポートや論文に直接取り込んで引用する場合は、その部分に「 」をつけ、直接引用した部分と自分が書いている地の文との違いを明瞭にする必要があります。

◇直接引用する箇所の例：

“著者の上智太郎はこの点について、「大学の存在というものは3つの観点から・・・ととらえる必要がある」と述べている（上智太郎，20XX，p.215）。”

高校段階までなら文献・資料やWebサイトを調べ並べるだけで評価されることもあったでしょうが、大学では誰のどこの研究成果なのかを明らかにし、その上で自分の議論・分析を組み立てていくことが大事になります。レポート・論文の執筆と提出に際しては、上記に記載したように、引用先や参照先の明記ならびに引用文と自分の地の文の明瞭な区別を行って、「アカデミック・オネスティ（学問的誠実性）」を遵守する態度で臨むことを強く求めます。

## 8. 学力の評価・成績

### ● 評価基準

学力の評価は、担当教員の授業方針・評価方針によって、試験（筆記・口頭・実技など）、レポート、授業参加の状況その他に基づいて行われます。

成績評価と判定基準は次のとおりです。

		評価	評点	QPI	内 容
判 定	合 格	A	100～90点	4.0	特に優れた成績を示したもの
		B	89～80点	3.0	優れた成績を示したもの
		C	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
		D	69～60点	1.0	合格と認められるための最低限度の成績を示したもの
		P	——	—	合格と認められる成績を示したもの
定	不 合 格	F	59点以下	0	合格を「A」「B」「C」「D」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
		X	——	—	合格を「P」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
無 判 定	履 修 中 止	W	——	—	所定の期日までに履修中止の手続きをしたもの
	認 定 科 目	N	——	—	修得単位として認定されたもの

なお、2015年度より、上智大学では「成績評価のガイドライン」が制定されました。各科目の成績評価は本ガイドラインに則って行われます。

#### 【成績評価のガイドライン】

A評価を付与する割合は2割以内を目安とし、最大で3割までとする。  
 ただし、演習科目、指導科目、30人以下の講義科目等は除く。

各科目の成績は、担当教員がシラバスで明示した成績評価基準に照らして計算された素点に基づき「A」～「F」に評価されますが、本ガイドラインに則り、素点が90点以上となった学生が全体の3割を超えた場合、全体的に調整を行い、上位3割以内のものを「A」評価とし、以下は順次「B」「C」「D」「F」の評価を付すことになります。

したがって、素点が90点以上となっても、「A」評価とならない場合があります。

### ● G. P. A. (Grade Point Average)

各評価のQuality Point Index (=QPI: 上表参照) と呼ばれる値に各科目の単位数をかけたものがQuality Pointとなり、Quality Pointの総合計を履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く) で割ったものがGPAとなります。W (履修中止), N (認定科目), P(合格), X(不合格) は計算式に含まれません。

#### 【GPAの計算式】

$$\frac{4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く)}}$$

## ● 成績の公開スケジュール

2017年度の成績公開スケジュールは以下のとおりです。

対象科目	学年	公開期間	公開方法
春学期科目を含めた累計の成績	4年次生	8月28日（月）～	Loyolaの「成績－履修成績照会」
	3年次生	9月 9日（土）～	
	2年次生	9月10日（日）～	
	1年次生	9月11日（月）～	
秋学期科目を含めた累計の成績	4年次生	2月23日（金）～	
	3年次生	3月16日（金）～	
	2年次生	3月17日（土）～	
	1年次生	3月18日（日）～	

## ● 成績評価確認願について

成績評価について疑問のある場合は、「成績評価確認願」を学事センター（教務）窓口で受取り、下記の提出締切日までに提出してください。期日を過ぎた場合の願い出は一切受け付けられません。

なお、4年次生については、各学期、別途受付期間を設けます。本人の申請のみ受け付けますので、日程についてはp.10～の行事日程表やLoyola（教務）掲示板で確認してください。

対象科目	提出締切
2017年度春学期科目	2017年 9月20日（水）17：00まで
2017年度通年科目・秋学期科目	2018年 3月30日（金）17：00まで

提出にあたっては、該当科目に自分が臨んだ状況を充分吟味し、A～Fの成績評価基準を理解したうえで、学事センターで配布される記入上の注意をよく読み提出して下さい。

なお、以下のような理由による成績評価確認願の提出は受け付けることができません。

- ①単に再評価・再検討を願い出るもの。
- ②担当教員に情状を求めること。（卒業や教職員免許等の取得に関わる、等）
- ③他の学生との対比上の不満を訴えるもの。（友人はB評価だが、なぜ自分はC評価になったのか等）
- ④評価に疑問がなく、その評価になった理由のみを問い合わせるもの。（先生からの講評、解説がほしい、試験等の点数の開示を求めるもの等）
- ⑤「出席はしました」「試験は受けました」等具体的な内容の記載がないもの。

## ● 成績不振学生との面談について

上智大学では、学則第40条において、連続する2か年で合計32単位以上を修得できない場合は退学とすることを定めています。(下記「●単位修得不足者の扱い」参照)

そのような事態を防ぐため、GPA0.5未満の学生に対しては、学年末に所属学科から個別に連絡をし、学生生活や勉学計画を振り返り、今後の履修や勉強の進め方などについて相談する機会を設けます。これらの指導や相談を経ても勉学継続の意欲がないケースでは、退学を勧告する場合があります。

なお、勉学や心身の悩みについては、年間を通して、学科教員だけでなくカウンセラーや職員も相談に乗る体制を整えていますので、希望があればいつでも相談を申し出てください。

\*申込み先は公式ホームページ「学生生活」→「学生生活サポート」→「学内の学生相談体制」を参照してください。

## ● 単位修得不足者の扱い

**連続する2か年**(注)において、学部学科が指定する科目を含む**合計32単位**以上修得できない者は退学となります。詳細は、p.311の学則第40条第1項運用細則を参照のこと。

(注) 連続する2か年について

神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、 経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、 理工学部（英語コース除く）	国際教養学部、理工学部英語コース																								
在学した連続2か年度をいう。ただし、休学した学生については、休学期間を含む年度は含めず、前後の年度とする。	休学した期間を除く連続した4学期とする。																								
(例) 前年度の春学期を休学した場合 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>春学期</th> <th>秋学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 前々年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="text-align: center;">休学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>● 今年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">在学</td> </tr> </tbody> </table>		春学期	秋学期	● 前々年度	在学	在学	前年度	休学	在学	● 今年度	在学	在学	(例) 前年度の春学期を休学した場合 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>春学期</th> <th>秋学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前々年度</td> <td style="text-align: center;">在学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="text-align: center;">休学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> <td style="text-align: center;">●在学</td> </tr> </tbody> </table>		春学期	秋学期	前々年度	在学	●在学	前年度	休学	●在学	今年度	●在学	●在学
	春学期	秋学期																							
● 前々年度	在学	在学																							
前年度	休学	在学																							
● 今年度	在学	在学																							
	春学期	秋学期																							
前々年度	在学	●在学																							
前年度	休学	●在学																							
今年度	●在学	●在学																							
※●印のついた年度が連続する2か年に該当する。	※●印のついた4学期が連続する2か年に該当する。																								

単位の計算にあたり、以下の点に注意すること。

- ・ 単位の計算は、連続する2か年の修得単位を合算することによって算出される。神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、理工学部（英語コース除く）の学生は、休学を含む年度に修得した単位は含まない。
- ・ 再入学、学士入学をした者については、再入学、学士入学後の在学年数及び修得単位数を計算する。
- ・ 編入学をした者については、編入学による認定年数を含めた在学年数及び編入学による認定単位を含めた修得単位数を計算する。
- ・ 留学期間が1年を超える場合、超える期間は休学と同様に扱う。
- ・ 連続する2か年に許可を受けた留学等による各種認定単位数は修得単位に含める。

## 9. 卒業要件と自己判定

### ● 卒業要件について

本学に入学した学生が卒業し、学位を取得するためには以下の2つの条件を満たす必要があります。いずれかの条件を満たせない場合は、卒業できず在学継続（留年）となります。

- 1：修業年限を満たすこと。  
(原則としては4年です。ただし、編入学・再入学・学士入学の場合は修業年限が異なることがあります。)
- 2：卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数を修得すること。  
(卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数は所属の学科および入学年次等によって異なります。)

### ● 卒業必要単位の確認は自分自身で

①上記の卒業要件を満たすための科目履修の計画を立てること ②卒業要件を満たしているかを確認すること  
以上の事柄は、学生個人の責任で行われるべきものです。

学事センターでは履修に関する相談は行っていますが、卒業の可否についての照会や、一人ひとりの単位の確認および計算は行っていません。卒業の可否についての最終確認は、必ず各自の責任において行ってください。

### ● 卒業必要単位の確認方法について

#### ①履修要覧による確認

卒業に必要な科目および単位数については、所属の学科および入学年次等によって異なります。

まずは、履修要覧の自分の学科および年次の「卒業に要する科目、単位数の最低基準」「標準配当表」「履修上の注意」を熟読したうえで、単位を修得した科目について、卒業必要単位数のどの区分の単位にあたるかを1つずつ確認してください。

#### ②Loyola『自己判定機能』による確認

上記の①履修要覧による確認とあわせて、Loyolaで公開している「自己判定機能」を使った確認もあわせて行いましょう。「自己判定機能」については下記を参照してください。

##### ■自己判定機能とは

Loyola上で、履修中単位数と修得済単位数を合計した累計単位数から不足単位数を算出し、卒業必要科目および単位数の修得状況について各区分ごとに参照することができます。

この機能は卒業に必要な単位数の確認を学生自身がスムーズに行えるよう公開しています。あくまでもシステム上で単位計算を行った結果を示しているもので、卒業を保証するものではありません。

##### ■自己判定機能でうまく反映されないケースがあります

学科によってはカリキュラムが複雑なため、正しく計算・表示されないケースがあります。詳細についてはLoyolaに「自己判定の注意点」として掲載されていますので、必ず確認するようにしてください。

##### ■自己判定機能の公開期間について

自己判定機能はいつでも使用できるわけではなく、公開期間が決まっています。2017年度の公開期間スケジュールについてはLoyolaで確認してください。

## ● 【13 年次生以前の学生へ】 Loyola での「区分変更」の廃止について（重要）

2014年度より、Loyolaでの「区分変更」は廃止しました。2014年度以降の開講科目については、履修登録時に履修区分を指定することになります。「区分変更」の廃止に伴い、以下の点に注意してください。

■2015年度春学期以降に履修した科目について

区分変更を行うことは一切できません。

■2014年度以前に履修済みの科目について

卒業まで区分変更は可能ですが、Loyola上で区分変更を行うことはできません。区分変更を希望する場合は、学事センターへ所定の申請書を提出する必要があります。

※区分変更対象科目は、年度により異なります。履修した年度の履修要覧を参照すること。

※区分変更とは、「全学共通科目」⇔「学科科目」を選択できる科目について、自分の卒業要件にあわせて区分を動かすことを言います。ここでいう区分とは、「全学共通科目」「学科科目」という2つの授業科目のグループのことを指します。なお、区分変更による在学継続（留年）は認められません。本人の区分変更の有無にかかわらず、最終的に片方の区分の余剰単位をもう一方の区分に変更することによって卒業要件を満たす場合は、卒業となります。（2015年度以降開講科目を除く）

※区分変更ができる科目はあらかじめ決まっています。主なものは下記の通りです。（その他の区分変更が可能な科目については、学科によって異なりますので、各学科のページを参照してください。）

	履修登録時の区分	変更可能な区分
学全科目	学科科目（他学部他学科） [その他－他学部・他学科科目等]	全学共通科目（学全科目） [全学共通科目－選択科目－学全科目]
外国語科目	全学共通科目 [全学共通科目－外国語科目－〇〇語]	学科科目 [学科科目－外国語科目－〇〇語]

※国際教養学部については上記の限りではありません。詳細についてはLoyola（教務）掲示板を確認してください。

昨今、卒業に必要な単位（または自分が履修している単位）を十分に把握しないまま卒業の時期を迎え、結果として自分の卒業の可否について重大な誤解をしているケースがあります。上記のとおり、自己判定機能や履修要覧を活用して計画的な履修を行うとともに、不明な点があれば、早急に学事センター（教務）窓口で相談してください。

## 10. 単位換算・単位認定

### ● 単位換算・単位認定とは

本学入学前に他の大学・短期大学等で修得した単位、もしくは入学後に海外の大学等へ留学し修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

なお、単位認定の種類によって条件や認定の上限単位数などが異なります。単位認定を希望する場合は、詳細についてよく確認してから申請してください。

単位認定は、複数の部署や学科等を回覧し決裁されるため、受付後認定の結果が出るまで約1ヶ月かかります。科目の認定状況によって、その後の履修計画も変わってきますので余裕をもって申請しましょう。

なお、留学の単位換算に関しては、「留学期間中に修得した単位の換算および認定に関する取扱要領」(p.304～)も参照してください。

### ● 単位換算・単位認定された科目の成績について

単位換算および単位認定により認められた単位については、「N(認定)」という成績で表記されます。

また、必修科目を除き、基本的にはそれぞれの科目名ではなく科目の区分(選択必修、選択、〇〇群等)単位でまとめて表記されます。

「N(認定)」で表記されている成績については、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。また、GPAの計算にも含まれません。

### ● 単位換算・単位認定の取扱い期間について

単位換算・認定の申請書類の提出時期によって、「春学期」および「秋学期」のいずれの学期での「N」(認定)扱いとなるかが異なります。

2017年2月2日(木)～2017年7月21日(金)学事センター受付分→「2017年度春学期」の単位として認定

2017年7月24日(月)～2018年1月30日(火)学事センター受付分→「2017年度秋学期」の単位として認定

### ● 入学前既修得単位認定について

本学に1年次生として入学した学生(または再入学、学士入学した学生)が、入学以前に他の大学・短期大学・高等専門学校もしくは上智社会福祉専門学校において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます(入学後3ヶ月以内)。ただし、過去に本学で認定した既修得単位は対象外となります。詳細については、学事センター(教務)窓口にお問い合わせください。また、「入学前既修得単位認定に関する細則」(p.303)も参照してください。

### ● 編入学生の単位認定について

編入学生は、卒業までに修得することが定められている科目のうち、他大学等で既に修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

#### ■ 認定できる単位の上限

①全学共通科目および語学科目、学科科目のそれぞれにつき、各学科で定める卒業に必要な単位数を超えないものとする。

②認定できる総単位数の上限は、各学科で定める卒業に必要な単位数の2分の1までの範囲内で学科が定める。あわせて、「編入学生の単位認定に関する細則」(p.302)も参照してください。

## ● 教員免許取得のための単位認定について

本学の修得単位として認定された単位のうち、教員免許取得のための単位として認定できる場合がありますので、単位認定を希望する場合は、課程センターにお問い合わせください。

## ● 大学院入学前科目履修制度について

成績優秀な学部生は、審査を経て、大学4年次に大学院各研究科があらかじめ指定した科目を履修することができ、本学の大学院進学後、定められた上限単位数の範囲内で入学前単位として認定されます。

※大学院入学前科目履修制度で履修した科目は、学部卒業に必要な単位としては認められません。

大学院入学前科目履修制度を実施している研究科・専攻は次のとおりです。

入学前科目履修の詳細については、各研究科あるいは各専攻事務室にお問い合わせください。

- ・神学研究科
- ・文学研究科フランス文学専攻
- ・総合人間科学研究科社会福祉学専攻
- ・法学研究科（法科大学院のみ）
- ・経済学研究科
- ・地球環境学研究科
- ・理工学研究科

詳細については「学部生の大学院入学前科目履修に関する細則」（p.310）も参照してください。

## ● 技能審査（TOEFL・TOEFL ITP・TEAP）による英語の単位認定について

TOEFL、TOEFL ITPもしくはTEAPの試験において、ある一定基準以上のスコアを取得した場合、申請をすることで語学科目「英語」必修科目4単位分として認定を受けることができます。

スコアの基準値および申請方法等の詳細については、「語学科目」（p.184）および「技能審査による単位認定に関する細則」（p.306）を参照してください。

## ● 学生交流協定による単位認定について

在学中に本学と交流協定を締結している国内の他大学において修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定することができます。

学生交流の形態は、「国内留学型」と「単位互換型」の2種類あります。

本学学生が交流先大学で修得した科目の単位は、「国内留学型」は30単位、「単位互換型」は10単位を上限として本学の修得単位として認定することができます。

学生交流協定の詳細については、学事センター（教務）窓口にお問い合わせください。あわせて「国内他大学との学生交流に関する細則」（p.309）も参照してください。

種類	交流先大学名	認定単位数の上限	交流の形態
国内留学型	清泉女学院大学 エリザベト音楽大学 長崎純心大学 藤女子大学	30単位	所属大学に学籍を置き（本学の学籍上の身分は「留学」）、交流期間中は受入大学で科目履修及び研究を行う。
単位互換型	東京純心大学 東京音楽大学 聖心女子大学	10単位	本学に籍を置き、当該大学における科目履修と並行して受入大学で科目履修及び研究を行う。

## ● 留学による単位換算について

在学中に交換留学（本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学への留学）または一般留学（学位授与権があり、事前に学科長が許可した大学）において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして換算することができます（帰国後3ヶ月以内）。

### ■ 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

$$1\text{回の授業時間(分換算)} \times \text{週の授業回数} \times \text{科目の開講期間(週数)} \div \text{上智大学の基準時間}$$

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

$$1\text{年間の総授業時間数} \times 60\text{(分換算)} \div \text{上智大学の基準時間}$$

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

\* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

**※認定された単位「N」は、年間の最高履修限度には含まれません。またGPAの計算にも含まれません。**

その他の詳細については、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を参照してください。

## 11. グローバル教育センター取扱プログラムの単位付与について

### ● 海外短期語学講座による単位付与

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施される語学講座プログラムに参加し、合格した科目については、外国語科目の単位（2単位分）が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

語学講座の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

語学講座のプログラム内容や詳細については、「語学科目」（p.213）、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期語学講座に関する細則」（p.307）を参照してください。

### ● 海外短期研修による単位認定・単位付与

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施されるプログラムに参加し、外国語による授業で専門科目を学ぶもので、ある程度の語学力がある学生を対象としています。ただし、プログラムが実施される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

海外短期研修には2種類あり、それぞれ成績の表記が異なります。

① 研修校で修得した単位を単位換算手続きによって認定するもの

→表記は「N（認定）」となります。

② 本学の開講科目として科目登録を行うもの（単位換算手続きは不要）

→表記は「P（合格）」もしくは「X（不合格）」となります。

「P」「X」「N」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

海外短期研修の種類や詳細については、p.158の一覧表、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期研修に関する細則」（p.308）を参照してください。

### ● 実践型プログラムによる単位付与

本学では、学期中・休業中に海外での現地研修を含むさまざまなプログラムを用意しています。

#### 【夏期・春期休業中実践型プログラム】

本学授業休業中に海外での現地研修を含むプログラムに参加し、合格した科目については、全学共通科目の選択科目の単位が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

各プログラムの成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算にも含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

実践型プログラムの詳細については、「グローバル教育センター」（p.159）、全学共通科目選択科目のページを参照してください。

## ● インターンシップ科目による単位付与

本学と協定を結んだ国内外の企業、国際機関の日本代表部などでのインターンシップ（2～4年生対象）と事前事後の講義受講や課題提出を行うことで、全学共通科目選択科目の単位が付与されます。インターンシップ実施期間、派遣先企業・機関等詳細は「グローバル教育センター」（p. 120）を参照するか、グローバル教育センター（2号館B1F）にお問い合わせください。

インターンシップ科目の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、インターンシップ科目に関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

## ● 国連ユースボランティア実習による単位付与

学内および学外選抜と事前研修を経て、秋学期中に国連関係機関にて実践型実習を行うものです。派遣学期中は他の科目の履修はできません。事前事後の研修を受けた上で、実習終了後に「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかの成績が付与されます。

海外短期語学講座、海外短期研修、実践型プログラム、インターンシップ科目、国連ユースボランティア実習全てにおいて、海外での現地研修を伴う場合、実費負担がかかること、プログラム参加者が最少催行人数に満たない場合や、やむを得ない事情で現地プログラムが中止となり、プログラムそのものの開講中止や内容変更もありうるので、慎重に履修計画を立てる必要があります。

# 学籍（各種届出・証明書など）

## 1. 学籍

…… p.52

学生番号・学生証・在学期間・在学継続・留学  
・休学・復学・停学・退学・その他

## 2. 証明書

…… p.58

証明書自動発行機による発行のもの  
窓口申込による発行のもの

## 3. 転部・転科／再入学／学士入学

…… p.59

転部・転科  
再入学・学士入学

## 4. 9月卒業・早期卒業

…… p.60

9月卒業・早期卒業

# 1. 学籍

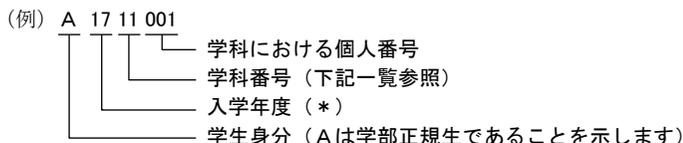
## ● 学籍とは

本学に学生として登録されている者の籍です。大学では、学籍情報として本人氏名、生年月日、国籍、在留資格(外国籍の者)、連絡先、保証人情報等の個人情報や、学生番号、所属、身分(学部生、大学院生等)、学籍異動履歴(入学、休学、留学、卒業)等を管理しています。

ここでは、学生番号や学生証、学籍に関わるルールや手続きについて説明します。

## ● 学生番号

入学すると各人に固有の学生番号が与えられます。学生生活を送る上で大切な番号ですから、正確に記憶して使用しましょう。



\* 編入学者、学士入学者、再入学者は指定された学年にしがっていませんので、実際に入学した年度と異なる場合があります。

### ■ 学科番号一覧

学部	学科	学科番号
神学部	神学科	91
文学部	哲学科	11
	史学科	14
	国文学科	15
	英文学科	16
	ドイツ文学科	17
	フランス文学科	18
	新聞学科	19
総合人間科学部	教育学科	81
	心理学科	82
	社会学科	83
	社会福祉学科	84
	看護学科	85
法学部	法律学科	31
	国際関係法学科	32
	地球環境法学科	33

学部	学科	学科番号
経済学部	経済学科	41
	経営学科	42
外国語学部	英語学科	51
	ドイツ語学科	52
	フランス語学科	53
	イスパニア語学科	54
	ロシア語学科	55
	ポルトガル語学科	56
総合グローバル学部	総合グローバル学科	21
国際教養学部	国際教養学科(春入学)	67
	国際教養学科(秋入学)	68
理工学部	物質生命理工学科	76
	機能創造理工学科	77
	情報理工学科	78

## ● 学生証

学生証は上智大学の学生であることを証明するものです。学生生活を送る上で、学内・学外を問わず提示が必要な場合がありますので、常に携帯してください。特に下記にあげたケースで学生証を持参していない場合、サービスを受けられないことがあります。

学生証は、いかなる理由があっても他人に貸与、譲渡することはできません。また、退学等により学籍を失った場合は、速やかに本学に返却してください。

### ■ 学生証が必要な場合

- ① 試験を受けるとき
- ② 証明書や学割証を取得するため証明書自動発行機を利用するとき
- ③ 本学図書館に入館するとき、図書貸し出しを受けるとき

- ④ 通学定期券を購入するとき
- ⑤ 通学定期券や学割で乗車船し、係員の要請があったとき
- ⑥ 学内窓口で各種申請、提出、問い合わせをするとき
- ⑦ 本学教職員から提示を求められたとき

### ■在籍確認シールの貼り替え

学生証は、裏面に在籍確認シールを貼った状態で、はじめて学生証として機能します。在籍確認シールの有効期限は1年間ですので、**年度はじめに必ず貼り替えてください**。住所を変更して通学区間が変更になった場合や、定期券の発行控欄が足りなくなった場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

### ■記載事項に変更がある場合

学生証の記載事項（氏名や生年月日等）に誤りや変更がある場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

### ■紛失・汚損・破損してしまった場合

再発行となりますので、「**学生証再発行願**」（所定用紙）に手数料分の証紙（1,000円）を購入・貼付の上、学事センター（学籍・証明書）窓口申し込んでください。

## ● 在学期間

本学に在学可能な期間は8年間です。なお、休学期間はこの在学期間に含まれません（学則第38条）。  
 本学の教育課程を修了するために必要な期間（修業年限）は、早期卒業の場合を除き、4年です。なお、休学・停学期間および1年を越える留学期間は修業年限に含まれません。（学則第13条、第57条の2）

## ● 在学継続

入学後4年間で卒業の要件を満たさなかった場合は、在学継続となります。  
 在学を継続することになった場合、有効期限を延長した学生証を、3月下旬に学生本人住所宛、郵送します。  
 休学期間を除く在学期間が3.5年以上の者で、卒業に要する残余単位数が12単位以下の者については、自動的に学費が減額となります。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

## ● 留学

本学における「留学」には、「交換留学」と「一般留学」があります。所定の「留学願」を期日までに提出しなくてはなりません。学籍上「留学」の扱いにはありませんが、休学して海外勉学したり、長期休暇中に短期のプログラムに参加する方法もあります。  
 留学の種類や期間によって、学費、願出書類、修業年限への算入や単位換算の可否などが異なります。留学を希望する学生は、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を熟読の上、計画を立てて手続きを行ってください。

### ■留学の資格

交換留学または一般留学の場合、留学を開始する学期までに本学に少なくとも1年以上在学し、32単位以上を修得しておく必要があります。

### ■期間

「留学」できる期間は1学期または2学期（1年）で、最大2年間まで可能ですが、修業年限に含まれるのは、そのうち1年間までです。

## ■提出期限

交換留学の場合は、グローバル教育センターの指定した期日までに「留学願」を提出してください。

一般留学の場合は、留学開始の1ヶ月前かつ留学を希望する学期の前日までに「留学願」を学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。

## ■保険の加入

大学が関知するすべての海外渡航プログラムに参加する学生は、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務付けられています。これは、一般留学や休学による海外勉強も含まれます。詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

## ■帰国届

帰国後は1ヶ月以内に「帰国届」を学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。交換留学の場合は、交換留学レポートをグローバル教育センターに提出して確認印を受けてから提出してください。

## ■単位換算

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます（ただし休学による海外勉強の場合を除く）。詳しくはp.46「10.単位換算・単位認定」、および『留学ハンドブック』を参照してください。

# ● 休学

病気、その他のやむを得ない理由で休学しようとする場合は、所属学科長またはクラス主任と相談のうえ、所定の「休学願」に必要事項を記入して学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。なお、病気の場合は医師の診断書を添付する必要があります。

また、休学して海外留学をする学生は、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務付けられています。保険に関する詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

なお、休学期間は修業年限に含まれないので、休学期間分は卒業が延期されます。また、卒業要件を満たしていても、休学している学期は卒業することができません。

## ■期間

休学できる期間は1学期（春学期・秋学期）単位です。休学期間は、連続2年、通算4年を超えることはできません。（学則第32条）

## ■提出期限

	休学期間	提出期限
春 学 期 休 学	4月 1日～9月20日	5月31日（水）
秋 学 期 休 学	9月21日～3月31日	11月30日（木）

前もって休学の計画がある場合は、休学をする年度または学期がはじまる1ヶ月前に「休学願」を提出してください。**提出期限を過ぎた場合は、どのような理由であっても受理できません**ので注意してください。郵送による提出の場合、提出期限当日の消印有効になります。連続2年分まで一括して受け付けることができます。

## ■学費

休学期間中の授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

## ● 復学

休学期間が満了した場合は、自動的に復学となるので復学の届出は必要ありません。ただし下記の場合は、復学を希望する学期が始まる前日までに、所定の「**復学届**」を提出してください。

- ① 病気により休学した場合（「**医師の診断書**」を添付してください）。
- ② 2学期以上の休学について許可が下りている場合で一部の学期で休学の事由が終了したため、休学期間を短縮して復学する場合（1学期以下に短縮することはできません）。

## ● 停学

試験の際の不正行為等に対しては、学則第60条により停学、退学等厳しい処分が行なわれます。なお停学期間は修業年限に算入されませんので、標準修業年限（4年）内に卒業することはできません。無期停学の場合は、解除日の翌日から、有期停学の場合は期間満了の翌日から復学扱いとなります。

## ● 退学

退学には自主退学と退学を命ぜられるものと2種類あります。

### ■ 期日

退学の期日は学期末日（9月20日または3月31日）に限ります。

### ■ 自主退学

事情により退学しようとする場合は、所属学科長またはクラス主任と相談のうえ、所定の「**退学願**」に必要事項を記入し、原則として希望する退学の期日までに学事センター（学籍・証明書）窓口で**学生証を添付して**提出してください。

退学を願い出る者はその時期までの授業料等学費を納入済みでなければなりません。

なお、春学期末日を退学日とする「**退学願**」を春学期末までに提出し、許可された場合、学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

### ■ 退学を命ぜられるもの

下記の者は退学を命じられます。

- ① 在学期間満了  
在学期間（休学期間は含まない）が8年を満了した者。
- ② 学則40条該当者  
連続する2年間において、学部学科が指定する科目を含む合計32単位以上を修得できなかった者。
- ③ 授業料等学費未納  
定められた授業料等学費を期限までに納付しない者。
- ④ その他  
学則第60条、61条に該当する者など。

## ● 個人情報の変更

### ■住所・電話番号の変更

本人または保証人の住所や電話番号に変更があった場合は、Loyola の「学生住所変更」メニューから変更してください。国外に居住する保証人の住所変更は Loyola からできないため、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「住所変更届」を提出してください。

本人の住所変更の場合は、Loyola で変更した後に、学事センター（学籍・証明書）窓口で学生証裏面の「在籍確認シール」を受け取り、貼り替えてください。

### ■本人氏名の変更

本人氏名の変更があった場合は、「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日が記載されたもの。本籍・続柄・マイナンバーは不要。）を添付して、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「氏名変更届」を提出してください。

### ■保証人の変更

保証人を変更する場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口備付けの「保証人変更届」を提出してください。

※保証人とは

日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者で、原則として父母です。ただし、外国籍の者については、国外に居住する者も可とします。保証人には、学費請求書類、学事上の重要事項通知、大学の広報紙等の郵送、緊急事態について電話連絡をする場合があります。また、休学・留学・退学等の申請には保証人自筆の署名と捺印が必要です。

### ■国籍の変更

学生本人の国籍の変更があった場合は、「住民票の写し」（本人氏名・性別・生年月日・国籍・在留資格・在留期間・在留カード番号が記載されたもの）を学事センター（学籍・証明書）に提出してください。

## ● 在留資格（外国籍の学生のみ）

### ■在留資格・期間の報告

外国籍の者は全員、在留資格と在留期間について、大学に報告する必要があります。入学時に提出した住民票の写しに書かれた在留期間を更新したり、在留資格を変更したときは、速やかに在留カードのコピーを学事センター（学籍・証明書）窓口に提出してください。提出がない場合、Loyola の ID 使用停止、奨学金受給資格の喪失、その他在学する上で不利となる扱いを受けることがあります。

「留学」の在留資格の在籍者については、入学、卒業、退学時および所在不明となった場合に入国管理局に報告します。

### ■在留資格「留学」

在留資格とは、外国籍の者が入国・在留して従事することができる活動について明らかにしたものです。在留カードは在留資格を証明するもので、常に携帯しなくてはなりません。

大学で学修するための在留資格が「留学」です。在留資格に該当する活動を行うことなく、日本に 3 ヶ月以上滞在すると在留資格が取消の対象となります。「留学」の場合、休学や退学がこれに該当しますので、休学、退学する場合は速やかに出国するか、在留資格を変更する必要があります。

### ■「留学」の在留期間更新

外国籍の者で「留学」の在留期間の更新を希望する場合は、在留期間更新許可申請書の「申請人等作成用 1~3」を記入し、「所属機関 1~2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は 200 円、所要日数は 3 日程度です。

在留資格の有効期限については、学生自身で意識しなくてはなりません。有効期限の 3 ヶ月前から前日まで、入国管理局で在留資格の延長申請ができますので、延長の必要がある場合は早めに申請の準備を進めてください。在留期間を過ぎて更新の手続きをしていない場合は不法滞在となり、処罰の対象となる可能性がありますので、注意してください。

## ■在留資格変更

外国籍の者で、他の在留資格から「留学」に変更を希望する場合は、在留資格変更許可申請書の「申請人等作成用 1～3」を記入し、「所属機関 1～2」の作成を学事センター（学籍・証明書）で申し込んでください。手数料は 200 円、所要日数は 3 日程度です。在留資格を変更した場合は、14 日以内に区役所等に届け出てください。

## 2. 証明書

各種証明書は、証明書自動発行機によるものと、窓口申込によるものがあります。証明書の種類を確認のうえ、申込を行ってください。それぞれの発行手順等は下記のとおりです。

### ● 証明書自動発行機による発行のもの (注1)

証明書種類	発行手数料	所要日数	備考
在学証明書 (和文・英文)	200円	即日	証明書自動発行機の設置場所 2号館4F 目白聖母キャンパス (事務センター内)  取扱い時間 月～金 9:00～17:00 *行事等で変更する場合は掲示します。
成績証明書 (和文・英文)	200円		
卒業見込証明書 (和文・英文) (注2)	200円		
学割証 (年間10枚)	無料		
健康診断証明書 (本学所定用紙・和文)	300円		
臨時学生証 (定期試験期間中のみ発行)	500円		

証明書自動発行機のアナウンスに従って操作してください。

- (注1) 学生証がないと発行できません。証明書自動発行機は在学生のみ利用可能です。  
 (注2) 卒業見込証明書は、あくまでも学生本人がその必要要件を満たすことにより卒業が可能であることを証明するものであり、大学が卒業の保証をするものではありません。4年次生 (最終学年の授業開始日となる日) 以降に発行します。休学期間中は卒業見込み証明書を発行できません。  
 (注3) 暗証番号については学事センター (学籍・証明書) で問い合わせてください。  
 (注4) 年間10枚を超えて学割証を発行する場合は、学生センターにお問い合わせください。

### ● 窓口申込による発行のもの

証明書種類	発行手数料	所要日数
教員免許状取得見込証明書	400円	3業務日後発行
在留資格変更及び在留期間更新許可申請に係る証明書	200円	月・火申込→同週の金曜日発行 水・木申込→次週の月曜日発行 金 申込→次週の水曜日発行
授業料等納付金証明書	300円	
調査書	500円	事前にご確認ください
学生証再発行	1,000円	即日発行

取扱い窓口：2号館1F学事センター (学籍・証明書)  
 取扱い時間：月～金 9:30～11:30, 12:30～17:00  
 \*行事等で変更する場合は掲示します。

- ① 窓口に着付けの申込票に必要な事項を記入してください。
- ② 発行手数料分の証紙を証紙販売機で購入し、所定欄に貼付してください。
- ③ 申込票に学生証を添えて窓口へ提出してください。領収票をお渡します。
- ④ 所要日数経過後、窓口へ領収票を提示してください。証明書をお渡します。

## 3. 転部・転科／再入学／学士入学

### ● 転部・転科

所属する学部他学科、もしくは他学部他学科へ移籍を志望する場合、次の条件を満たす者は、転部科を願い出ることができます。出願後、各学科において試験を行います。

#### ■出願資格

- ① 出願時に休学期間を除き、4学期以上在学の者（4学期目在学中の者を含む）
- ② 出願時まで既に修得済みの語学科目（必修のみ）および全学共通科目のGPA（2013年度以前の入学者は全学共通科目のGPA）が、2.6（小数第2位切り捨て）以上である者。
- ③ 志望先の定める条件を満たしていること。
- ④ 相当の理由があること。

#### ■転部科の制限

- ① 一度転部科をした者は、以後転部科を願い出ることはいけません。
- ② 編入学者及び再入学者は、転部科を願い出ることはいけません。
- ③ 総合グローバル学部への転部科を願い出ることはいけません。

### ● 再入学

本学を退学した者が、以前在籍していた学部・学科に再び入学することを再入学といいます。

#### ■出願資格

下記のいずれかに該当すること。

- ① 学則39条適用退学者（自主退学：2017年9月20日以前の退学）
- ② 学則64条適用退学者（学費未納退学：2017年9月20日以前の退学）
- ③ 学則40条適用退学者（32単位制退学：2017年3月31日以前の退学）
- ④ 学則60条適用退学者（本分違反行為処分：2017年3月31日以前の退学）
- ⑤ 学則61条適用退学者（在学不適4項目処分：2017年3月31日以前の退学）

ただし、以下の者は出願できません。

- ① 学則38条在学期間満了（8年間在籍）で退学した者。
- ② 再入学後再び退学した者。

#### ■出願期間

2017年12月上旬予定

### ● 学士入学

本学卒業生（卒業見込者を含む）で、卒業学部他学科、あるいは他学部他学科に入学を希望する者を対象に、学士入学の制度があります。出願後、各学科において試験を行います。

出願できる学科は受入先学科に定員の余裕がある場合となり、年度によって異なりますので注意してください。

詳細は、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

※2018年4月からの転部・転科、再入学、学士入学の各要項は2017年11月より配布予定です。

詳細は学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

## 4. 9月卒業・早期卒業

---

### ● 9月卒業

卒業要件を満たした者は、期日までに申し出ることによって9月卒業が可能です。たとえ卒業要件を満たしていたとしても9月卒業は自動的に適用されるわけではありません。2017年9月に卒業を希望する学生は、**2017年6月30日（金）**までに学事センター（教務）窓口へ所定用紙で申し出てください。詳細についてはLoyola（教務）掲示板で確認してください。

なお、授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

### ● 早期卒業

本学の標準修業年限は4年となっていますが、①本学に3年以上在学し、②卒業に必要な所定の授業科目の単位を優秀な成績をもって修得し、③早期卒業を希望する場合には、当該学部の教授会の議を経て学長が早期卒業を認定することができます。現在、早期卒業を認めている学部は、以下の学部です。

- ① **法学部**  
詳細については各学科のページを参照してください。
- ② **経済学部**  
詳細については各学科のページを参照してください。
- ③ **総合グローバル学部**  
詳細については総合グローバル学部のページを参照してください。
- ④ **国際教養学部**  
詳細は国際教養学部の「Bulletin of Information」を参照してください。
- ⑤ **理工学部**  
詳細については理工学部のページを参照してください。

#### ■学費

- ① 在籍しない学年の学費は徴収しません。
- ② 3.5年卒業の場合、授業料等学費は減額されます。（国際教養学部を除く）  
詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

# 2 目白聖母キャンパスについて

## (総合人間科学部看護学科)

---

2017年度看護学科2年次生行事予定表（秋学期）

※他の年次生はp. 10の行事予定表を参照すること

目白聖母キャンパスにおける各種事項について

## ● 2017年度 看護学科2年次生行事予定表（秋学期）

※春学期についてはp.10「2017年度 行事予定表（春学期）」を参照すること

<p>カレンダー</p> <p>●：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日</p>	学事日程																																																		
<p>9月</p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td></tr> </table>	月	火	水	木	金	土	日					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		<p>21日 30日</p>	<p>秋学期授業開始 みなし水曜日</p> <p>※履修登録関係の日程は p.12「2017年度行事予定表（秋学期）」を参照すること</p>							
月	火	水	木	金	土	日																																													
				1	2	3																																													
4	5	6	7	8	9	10																																													
11	12	13	14	15	16	17																																													
18	19	20	21	22	23	24																																													
25	26	27	28	29	30																																														
<p>10月</p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr> <tr><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※9日 体育の日は授業実施日</p>	月	火	水	木	金	土	日						1		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						<p>9日 14日 23日～26日 28日</p>	<p>授業実施日（体育の日） みなし月曜日</p> <p>秋学期前半科目履修中止期間 みなし火曜日</p>
月	火	水	木	金	土	日																																													
					1																																														
2	3	4	5	6	7	8																																													
9	10	11	12	13	14	15																																													
16	17	18	19	20	21	22																																													
23	24	25	26	27	28	29																																													
30	31																																																		
<p>11月</p> <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※23日 勤労感謝の日は授業実施日</p>	月	火	水	木	金	土	日			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				<p>1日 2日～4日 2日 11日 18日 23日 30日 30日</p>	<p>創立記念日・先哲祭・ソフィア祭前夜祭（全学休講） ソフィア祭 全学休講 みなし木曜日 みなし水曜日 授業実施日（勤労感謝の日） &lt;留学者（出国）・休学予定者（16年秋～17年春）&gt;継続履修願提出期限 秋学期休学願提出期限</p>							
月	火	水	木	金	土	日																																													
		1	2	3	4	5																																													
6	7	8	9	10	11	12																																													
13	14	15	16	17	18	19																																													
20	21	22	23	24	25	26																																													
27	28	29	30																																																

カレンダー	学事日程																																											
<p>○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日</p>																																												
<p style="text-align: center;"><b>12月</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr> </table> <p>※12月23日～1月4日 冬期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日				1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	<p>3日 9日・16日 4日～8日</p> <p>22日 23日～</p>	<p>ザビエル祭 秋学期補講日 秋学期履修中止申請期間</p> <p>授業終了 冬期休業（～1月4日）</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
			1	2	3																																							
4	5	6	7	8	9	10																																						
11	12	13	14	15	16	17																																						
18	19	20	21	22	23	24																																						
25	26	27	28	29	30	31																																						
<p style="text-align: center;"><b>2018年</b></p> <p style="text-align: center;"><b>1月</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※12月23日～1月4日 冬期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					<p>5日 9日～</p>	<p>秋学期授業終了 秋学期実習期間（～2月9日）</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
1	2	3	4	5	6	7																																						
8	9	10	11	12	13	14																																						
15	16	17	18	19	20	21																																						
22	23	24	25	26	27	28																																						
29	30	31																																										
<p style="text-align: center;"><b>2月</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※2月18日～3月31日 春期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					<p>9日 14日～17日 18日～</p>	<p>秋学期実習終了 秋学期試験期間（2月17日は予備日） ※実際の試験日は試験掲示で確認すること 春期休業（～3月31日）</p> <p>秋学期追試験（2月下旬）</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
			1	2	3	4																																						
5	6	7	8	9	10	11																																						
12	13	14	15	16	17	18																																						
19	20	21	22	23	24	25																																						
26	27	28																																										
<p style="text-align: center;"><b>3月</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td></tr> <tr><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td></tr> </table> <p>※2月18日～3月31日 春期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		<p>17日～30日 30日 31日</p>	<p>成績公開・卒業自己判定 2017年度秋学期・通年科目開講科目「成績評価確認願」提出期限 秋学期終了</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
			1	2	3	4																																						
5	6	7	8	9	10	11																																						
12	13	14	15	16	17	18																																						
19	20	21	22	23	24	25																																						
26	27	28	29	30	31																																							

# 目白聖母キャンパスにおける各種事項について

※下記の事項以外については、ガイドページ (p.6～) を確認してください。

## ● 行事予定表について

看護学科2年次生は、祝日の授業実施日や補講日、試験期間など授業に関する日程が異なります。そのため全学共通科目や教職課程科目など四谷キャンパス開講の授業を受講する場合は、行事予定表 (p.10～) を必ず確認してください。

## ● 各種問い合わせ先／窓口時間について

目白聖母キャンパス事務センター  
03-3950-6151 (9:00～11:30, 12:30～17:00) 土日祝休

## ● 掲示・連絡について

大学からの連絡事項については、四谷キャンパス同様、Loyola掲示板でお知らせします。Loyola (教務) 掲示板、大学掲示板など必要に応じて確認するようにしてください。(p.18参照)

## ● 公共交通機関運行停止時の取り扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため、授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ、Loyola、公式フェイスブックもしくは公式ツイッターでお知らせしますので各自で確認してください。

## ● 証明書について

目白聖母キャンパスにも四谷キャンパス同様、証明書自動発行機が設置されています。詳細については、p.58を参照してください。

## ● 各種書類の配布および提出について

学籍 (「休学願」「留学願」「退学願」、証明書申請等) および教務 (履修登録、履修中止、成績等) 関係の各種書類については、一部を除き四谷キャンパス学事センター (教務) 窓口だけでなく、目白聖母キャンパス事務センターでも配布および提出受付を行っています。

その他個別書類の詳細については、目白聖母キャンパス事務センターへ問い合わせてください。

以上

# 開講科目担当表の見方

## 2017年度からの重要な変更点

開講科目担当表において、備考欄に（他）と記載している他学部他学科科目については、開講期と担当者、履修年次の記載を行わないこととしました。（一部学部には記載あり）  
必要情報は開講元のページを参照するか、Loyolaの時間割参照、シラバス検索から確認するようにしてください。  
また、授業を全て外国語で実施する科目を示す印として、備考欄に★を使用することになりました。

科目コードが同一の科目は、  
原則として重複履修できない。  
(重複して履修しても卒業単位にはならない)

[ ] は抽選科目を示す。[ ] 内は定員

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考	
選 択 科 目 C 群	158006	AAA101	社会心理学入門Ⅰ	2	春	上智 花子	1～4	[200名]	
	280403	BBB102	イギリス文学研究Ⅰ	2	春	* 紀尾井 太郎	2～4		
	700517	CCC201	地球環境とその生物	1	秋	四ツ谷 次郎 市谷 良子 千代田 三郎	1～3	「地球環境概論」と合併	
	776160	CCC202	化学実験	2		* 目白 肇	3・4	夏期集中	
	761016	DDD301	ドイツ文化と発展	2	休講		2・3	隔年開講 ★	
	700219	EEE302	次世代テクノロジー	1	春	石神井 香	2	同時担当	
	550929	FFF401	貧困と格差1	2	春	コーディネータ 秦野 唯	1	輪講 旧「貧困と格差」	
	950300	GGG402	キリスト教と哲学Ⅰ	2				(他) 神学部	
	他学部他学科科目				他学部他学科開講科目担当表を参照			09年次以降・・・20単位 まで選択科目に算入可 08年次以前・・・12単位 まで選択科目に算入可	
	course : IBEで開講されているすべての科目							2～4	(他) 国際教養学部

今年度休講の科目

履修対象とする年次。この年次以外の学生で履修を希望する学生は、担当教員の許可を得てから登録すること。

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと。

他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として扱うことのできるもの。  
開講元が記載されているので開講期、担当者、履修年次などの情報は開講学科のページを参照すること。

◎ 担当表欄外にも履修に関する注意事項が記載されているので、必ず確認すること。

# 3 全学共通科目

全学共通科目について

全学共通科目（構成および履修上の規定）

「ウエルネスと身体（必修）」及び身体文化系科目（選択）履修上の注意  
 ※含む「ウエルネスの理論と実践（必修）」「人間学系科目（選択必修）」

「情報リテラシー演習（必修）」履修上の注意

「キリスト教人間学」科目群履修上の注意  
 ※含む「人間学（必修）」「人間学系科目（選択必修）」

「高学年向け教養科目（選択）」履修上の注意

開講科目一覧表

全学共通科目について

全学共通科目構成および履修上の規定

ウエルネスと身体（必修）及び身体文化系科目履修上の注意

情報リテラシー演習（必修）履修上の注意

キリスト教人間学科目群履修上の注意

高学年向け教養科目（選択）履修上の注意

開講科目一覧表

1	全学共通科目について
---	------------

本学は、すべての学生が共通に学ぶ全学共通教育科目を編成し提供する。  
 全学共通科目においては、本学の教育の根幹となる「キリスト教ヒューマニズム」に基づき、「他者のために、他者とともに生きる人間」(Men and Women for Others, with Others)として、民族・文化・宗教の多様性を認め、「対話」を行いうる教養と「国際性」を兼ね備えた人材の養成を目指し、以下の科目群を配置する。

(CP1) 1 年次の必修科目として「ウエルネスと身体」を置き、その履修を通じて、「他者のために、他者とともに生きる人間」の実践に必要な、他者・外界とのコミュニケーションや自己表現に欠くことができない「身体」について、ウエルネスや身体知の理解および体験学習を通して学び、多角的に考える機会を提供する。

(CP2) 選択必修科目として「キリスト教人間学」科目群を置き、哲学・倫理学・宗教学を基盤とした考えに触れつつ、「キリスト教ヒューマニズム」の精神を理解し、現実生きる人間とその生き方を総合的に考える機会を提供する。

(CP3) 選択科目では、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」の 4 分野にわたり、様々な学問分野に関する学習機会の提供を行い、学際的・国際的な「対話」を通して、世界に主体的に問いかけ、問題を発見し、それを自分の言葉で語る力を養う機会を提供する。

(CP4) 社会に出る前に再び自己を見つめ直す機会として、一定の専門性を身につけた 3・4 年次生が受講する「高学年向け教養科目」を選択科目の中に置き、個別の専門領域を越えた学問横断的発想や、大学における知と現代社会との関係づけなど、多様な視点や事例を提供する授業を通して、急激に変化するグローバル社会に対応しうるより深い教養を身につける機会を提供する。

# 全学共通科目の履修について

## 1. 上智大学の全学共通教育

### 上智大学の全学共通教育はキリスト教ヒューマニズムを基礎とする教育である

上智大学は、「キリスト教精神を基盤におき、真理と普遍的価値観を求める教育研究により、人間形成につとめることを目的とする共同社会」です。上智大学で行われているさまざまな教育研究のなかでも、全学共通教育は、それらすべての教育の根本である「キリスト教ヒューマニズム」に基づいています。キリスト教ヒューマニズムとは、絶対的な価値に思いを至しつつ、人間と社会や自然の諸問題をその根本から考え、真の解決を目指そうとする考え方であり、生き方でもあります。

そうした考え方と生き方によって豊かな人間形成と平和な世界を実現するために、本学の学生諸君は、「他者のために、他者とともに生きる人間 Men and Women for Others, with Others」として、心身のバランスと深い教養を兼ね備えた人格を自覚的、主体的に育てていくことが求められます。上智大学の全学共通教育は、学生諸君がみずから問題を意識し、問いかけ、解決するためのさまざまな機会を提供します。全学共通教育によって身につけるさまざまな価値観を、みずからの人格形成のために役立ててください。

### 「キリスト教人間学」科目群がキリスト教ヒューマニズム教育の基礎をなす

上智大学の全学共通科目は、「必修科目」、「選択必修科目」と「選択科目」に大別されます。そのなかで、上に述べた教育の根本を示し、「キリスト教ヒューマニズム」教育の基礎を担うのが、本学のユニバーシティ・アイデンティティ科目である「キリスト教人間学」科目群です。

キリスト教人間学とは、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学などの成果をも援用して、現実に生きる人間とその生き方を総合的に考える学問です。そこでは、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」という4つの基本区分に沿って、他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間、人間性のあらゆる次元を探求し、広く深みのある連帯を追求する人間となることが目標とされます（p.87の「キリスト教人間学科目群の共通講義概要」および「評価基準」を参照）。

本学で学ぶ諸君は、本学の教育のコア科目である「キリスト教人間学」科目群へ参加することを通じて、みずからの成長に真摯に取り組み、他者とのかかわりを大切にし、倫理的思考と判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立ってより人間的な世界を築き上げる人間となるよう努力してください。

### 全学共通の必修科目は現代の人間形成に欠かせない分野である

「ウエルネスと身体」が、全学共通教育の必修科目として課されています。「ウエルネスと身体」は、スポーツや運動に関する科目というだけでなく、人間として生きていく上で不可欠な、身体知と健康の問題を自覚し総合的に実践する科目です。他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間となるために欠かすことのできない重要な科目です。

### 高学年向け教養科目を履修して、社会に出る前に自分自身を見つめなおす（14年次生以降）

14年次生からの大きな特徴としては、3・4年次に履修しなくてはならない「高学年向け教養科目」を履修することです。これは、社会の急激な変化に対応し、今後のグローバル社会で活躍するために、学科科目によりある程度専門性を身につけた上で高いレベルの教養科目を学修することを目的としています。

グローバル化の進む社会への対処のしかたを学んだり、社会との実践的なかかわり方を学べる科目、社会と専門分野の関係性、現代社会における学問のあり方、専門分野どうしとの関係性を学べる科目、実践・体験を重んじる科目が用意されています。これらの科目を履修することにより、専門教育だけでは身につけることのできない、深く豊かな教養を持つ人間になってください。

### ナンバリングを活用し、履修計画を立ててみる

全ての科目にナンバリングを導入しています。（ガイドページp.26参照）付されている数字が難易度の目安となります。科目ごとのシラバスやナンバリングを参考にして、必要な教養を身につけることができるよう、履修計画を立ててください。

なお、開講科目担当表に記載されたナンバリングには意味があります。p.73の表を参考にしてください。

学際的な科目、「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」を受講して広範かつ専門的な視野をもつことができる

上智大学の全学共通科目の顕著な特色は、それらの科目が原則として、本学のいずれかの学部学科に所属している専任教員によって開講されていることです。そのため、各開講科目のテーマと内容には、本学の各研究分野の専門的な特色が反映されています。したがって、漫然と授業を受ければ一般的な教養が習得されるという類のものとは異なり、どの授業でも、学生諸君の積極的な受講態度が求められています。

上智大学の全学共通科目の中には、本学のルーツとアイデンティティ、地球環境問題、人権問題や平和問題など、専門分野の枠を超えた広い視野に触れることができる学際的な科目が多数開講されています。さらに、より深い専門的な知識と理解を求める学生諸君のためには、学際的な科目とは対照的な科目として、各学部学科が開講している専門科目を他の学部学科の学生諸君にも開放する「学全科目」が数多く提供されています。

学際的な総合分野から個別の専門分野までにわたるこれら広範な科目群は、9学部を擁する総合大学としての上智大学が豊富な人材と研究機構をもち、そこに所属する人々が専門性を保持しながら、「キリスト教ヒューマニズム」を基盤として全学的な協力関係をつくることで実現されるものです。本学の全学共通科目にそうした科目群が開講され、すべての学生諸君が利用できるということは、他では得ることのできない貴重な機会です。ぜひともこの教育資源を十分に活用して、自分の中に豊かな人間性を育て、「他者のために、他者とともに生きる人間 Men and Women for Others, with Others」となってください。

全学共通科目  
について

全学共通科目構成  
および履修上の規定

の元文庫は他  
履修上の注意

情報リテラシー  
履修上の注意

キリスト教  
履修上の注意

高学  
履修上の注意

一開講  
表目

# 全学共通科目の全体構成

## 》》》思索の基盤を深める

哲学・倫理学・宗教学を基盤として、人間を知り学問を深めるための基本を学びます。

## 》》》キリスト教の精神に学ぶ

聖書・神学への理解などを通じて、キリスト教ヒューマニズムの神髄に触れます。

## ● キリスト教人間学 ● (選択必修)

キリスト教的な観点に基づき、現実  
に生きる人間とその生き方について  
4つの側面から総合的に学びます。

## 》》》人間として生きる

人間の尊厳を知り、自己を高  
めながら他者のために生きる  
姿勢を身につけます。

## 》》》よりよい世界をつくる

環境保全や人権尊重、平和維  
持など全地球的に取り組むた  
めの態度・考え方を養います。



## ● 必修科目 ●

現代社会で働き生きる人間にとって不可欠  
な心と体、情報、コミュニケーションに関す  
る知識とスキルを学びます。

## 》》》ウエルネスと身体

よりよく生きるための重要なメディアである身体  
(身体知)について学び、トータルな健康を求める  
ウエルネスへの理解を深めます。

## 》》》外国語科目 (13年次生以前)

あらゆる学問に欠かせないグローバルなコミュニ  
ケーション能力と、異なる文化・社会・価値観への  
理解力を高めます。

## ● 選択科目 ●

現代社会を取り巻く複雑な課題に対処でき  
るよう、専門分野の枠を超えた4つの視点  
から学際的にアプローチします。

## 》》》建学の理念

ルーツと伝統／キリスト教精神\*

本学のアイデンティティを知り、キリスト教ヒュー  
マニズムを体得します。

## 》》》思索の基盤

哲学\*／倫理\*／宗教\*

物事の本質を捉え、より深く考えるための基盤と  
なる叡智を身につけます。

## 》》》人間と文化

言語文学系\*／歴史文化系\*／身体文化系／基礎科学系

人類社会の未来を築く人間に欠かせない幅広い  
教養と知見を養います。

## 》》》共生と世界

地球環境系\*／生命社会系\*／人権平和系\*／情報社会系\*

ひとつの学問領域では解決できない全地球的な  
課題への理解を深めます。

\*印の科目群には学全科目(各学部・学科が全学共通科目として  
提供する科目)が含まれます。

## 2. 全学共通科目の選択必修、選択科目履修方法について

1項の全学共通教育における使命に基づき、本学では多領域にわたって科目群や科目数を整え、充実したかたちで開講している。したがって学生はその一つの領域に偏ることなく、できるだけ幅広く履修し、また、専攻分野との有機的な関連づけを考慮し、学際的な理解を深める機会とするなど、各自が個性的で調和のとれた履修形態を主体的に選択することが強く望まれる。

全学共通科目（選択必修・選択）は、基本的には専攻の学科科目と並行して履修することによってその成果が期待されるものである。したがって学生は、うわべだけの履修に終わりがちな短期間での過密・集中的な履修を避け、また無計画で便宜的かつ安易な履修に陥ることなく、「コース・メニュー」を組み立てるなど、各自の関心に応じてある程度系統だった実のある履修形態を主体的に工夫することが強く期待される。

なお、学生は自分のニーズに合った適正な履修方法を考えるに当たって、所属学科の教員はもとより、全学共通科目担当教員の助言を求めることができる。

## 3. 全学共通科目（学全科目を除く）のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについてはp. 26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (日本語)	履修度
HPE	ウェルネスと身体	必修
SCH	キリスト教人間学	選択必修
GFI	◎建学の理念<ルーツと伝統>	選択
GFC	◎建学の理念<キリスト教精神>	
GTP	◎思索の基盤<哲学>	
GTE	◎思索の基盤<倫理>	
GTR	◎思索の基盤<宗教>	
GHL	◎人間と文化<言語文学系>	
GHH	◎人間と文化<歴史文化系>	
GHB	◎人間と文化<身体文化系>	
GHS	◎人間と文化<基礎科学系>	
GCE	◎共生と世界<地球環境系>	
GCL	◎共生と世界<生命社会系>	
GCR	◎共生と世界<人権平和系>	
GCI	◎共生と世界<情報社会系>	

## 4. 履修登録について

所定の期間に各自で行うこと。クラス指定や必修科目であっても自動的に登録されないため、十分注意すること。履修登録については、p.27~および各ページの履修上の注意、「Loyolaハンドブック (Loyolaに掲載)」, 「履修登録クイックナビ (新入生のみ配布)」を必ず参照すること。

## 5. 重複履修について

同一科目を2回以上履修しても、卒業に必要な単位として認められない。  
同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目である。

## 6. 抽選科目について

開講科目担当表の備考欄に [〇名] というようにカッコで囲まれた定員数が記載されていて、Loyolaの時間割表上に赤字で表記されている科目が抽選科目である。

抽選科目の履修登録方法についてはp.29~および「Loyola ハンドブック (Loyolaに掲載)」, 「履修登録クイックナビ (新入生のみ配布)」を参照すること。

2	<h1>全学共通科目</h1> <h2>(構成および履修上の規定)</h2>
---	--

※国際教養学部、理工英語コースについては全学共通科目の構成が異なる。詳細はそれぞれの「BULLETIN OF INFORMATION2017-2018」を参照すること。

※各自の該当する学部・年次を確認した上で該当するページを参照すること。

# 全学共通科目の構成および履修上の規定

## 14年次生以降

※文学部英文学科、外国語学部英語学科、総合グローバル学部、総合人間科学部看護学科（16年次以前）の学生は全学共通科目の構成や履修上の規定が異なるため、各自の所属学科の構成表・履修上の規定を参照すること。国際教養学部・理工学部英語コースについては、各「Bulletin of Information 2017-2018」を参照すること。

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体（2単位）	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 （20単位）	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目 高学年向け教養科目（3・4年次に履修）	18 2
		26

#### （文学部英文学科、外国語学部英語学科）

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体（2単位）	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 （16単位）	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目 高学年向け教養科目（3・4年次に履修）	14 2
		22

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」（2単位）を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。（原則として1年次生で履修すること。）4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87～を参照すること。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、高学年向け教養科目（2単位）も含め、合計**20単位**（文学部英文学科、外国語学部英語学科は**16単位**）履修すること。

①科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」の中から履修すること。

・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位までは**p.111～116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科／備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。

・語学科目（p.169～）については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。

②「高学年向け教養科目」（p.89）（2単位）は**3・4年次に履修しなくてはならない**。2単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。

- ・各科目の履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること（特に記載のない場合には認められていない）。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合があります。

## (総合グローバル学部)

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体 (2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	20
		26

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)を修得しなければならない。**必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。**

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87~を参照すること。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**20単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

- ・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位までは**p.111~116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- ・語学科目(p.169~)については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。

- ・各科目の履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合がある。

※総合グローバル学部の学生は、選択必修科目と選択科目においては、履修できる科目が限られている。原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

## (総合人間科学部看護学科 (16年次生以前))

### 1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位)	10
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	16
		30

### 2. 全学共通科目履修上の規定

#### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「外国語科目」(8単位)(p.243参照)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

#### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87～を参照すること。

#### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**16単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.111～116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。

・各科目の履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。

・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合があります。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位)	10
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	16
		30

## 2. 全学共通科目履修上の規定

## 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「外国語科目」(8単位)(p.243参照)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

## 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。

詳細については、p.87～を参照すること。

## 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**16単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

- ・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.111～116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- ・履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合がある。
- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から**12単位まで**を学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること(特に記載のない場合には認められていない)。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位), 情報リテラシー演習 (2単位)	12
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	14
		30

## 2. 全学共通科目履修上の規定

### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「情報リテラシー演習」(2単位)、「外国語科目」(8単位) (p.243参照) を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。) 4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87を参照すること。

### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**14単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目)」の中から履修すること。

- ・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.111～116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- ・履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は、抽選科目でなくとも登録を制限する場合がある。
- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から**12単位まで**を学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること (特に記載のない場合には認められていない)。

## 1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	人間学（2単位）、外国語科目（8単位） ウエルネスの理論と実践（2単位）、情報リテラシー演習（2単位）	14
選択必修科目	人間学系科目、保健体育系科目	6
選択科目	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目	10
		30

## 2. 全学共通科目履修上の規定

### 1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「人間学」（2単位）、「ウエルネスの理論と実践」（2単位）、「情報リテラシー演習」（2単位）、「外国語科目」（8単位）（p.243参照）を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

※「人間学」の未履修者は、「キリスト教人間学科目」のうち、人間学未履修者指定科目を履修すること。

（p.88参照）

※「ウエルネスの理論と実践」の未履修者は「ウエルネスと身体」を履修すること。

※「情報リテラシー演習」の未履修者はp.86を参照すること。

### 2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、人間学系科目と保健体育系科目の中から6単位履修すること。

ただし、人間学系科目については4単位から6単位、保健体育系科目については2単位までが、卒業に必要な単位として認められる。選択必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択科目に充当することはできない。

### 3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、10単位履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」の中から履修すること。

- ・全学共通科目の選択科目のうち、4単位まではp.111～116に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科／備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- ・履修上の条件等については、開講科目一覧表の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること（特に記載のない場合には認められていない）。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合には、抽選科目でなくとも登録を制限する場合がある。

3	全学共通科目 (履修上の注意)
---	--------------------

※以下の4つに分かれている。以下の対照表を参考にして、各自の該当するページを参照すること。

履修度	科目（群）	14年次生以降	09～13年次生 ※除く理工学部 09～12年次生	理工学部 12年次生	理工学部 09～11年次生
必修	人間学 (p.88～)	×	×	×	○
	ウエルネスと身体 (p.84～)	○	○	○	×
	ウエルネスの理論と実践 (p.84～)	×	×	×	○
	情報リテラシー演習 (p.86～)	×	○ ※欄外注1参照	○	○
選択必修	キリスト教人間学 科目 (p.87～)	○	○	○	×
	人間学系科目 (p.88～)	×	×	×	○
	保健体育系科目 (p.85～)	×	×	×	○
選択	高学年向け教養科目 (p.89～)	○ ※欄外注2参照	×	×	×
	身体文化系科目 (p.85～)	○	○	○	×

注1：ただし、神学部09～12年次生、それ以外の学部の09・10年次生のみ該当  
 注2：ただし、総合グローバル学部生および看護学科（16年次生以前）は除く

# 「ウエルネスと身体」(必修) 及び身体文化系科目(選択) 履修上の注意 ※含む「ウエルネスの理論と実践」(必修) / 「保健体育系科目」(選択必修)

## 1. 必修科目について

### 17年次生

授業科目	単位	履修時間
ウエルネスと身体	2	週1コマ, 春学期または秋学期

#### 受講クラスについて

- 「ウエルネスと身体」は学科ごとに指定された曜日・時限で複数のクラスに分けて授業を行う。  
下記日時に、各自が受講するクラスと登録コードをWEBにて掲示するので、掲示を確認してから履修登録期間中に各自で登録を行うこと。  
【掲示日時】4月7日(金)正午 Loyola「学事センター(教務)掲示板」にて発表  
(春学期に履修する学生を対象としたクラスのみ掲示。秋学期に履修する学生のクラスは9月下旬に同掲示板にて掲示を行うので、各自確認のうえ登録すること。)  
<注意>指定されたクラスで受講すること。また、クラスの変更は認められないので十分注意すること。
- 特別の事情がない限り、定められた年次(原則として1年次)に履修すること。ただし、ドイツ文・フランス文・ドイツ語・フランス語学科のドイツ語・フランス語既習者及び哲学科等で、必修の学科科目と時間割が重複した場合に限り、受講クラスの変更を認める場合があるので、時間割が重複した場合は、必ず授業開始前に保健体育研究室事務室(7号館2階225号室)まで相談に来ること。
- 「特別クラス」での受講を希望するものは、<17年次生・16年次生以前共通>の2)を参照すること。

### 16年次生以前

#### 受講クラスについて

16年次生以前で単位を修得していない学生(含む「ウエルネスの理論と実践」(08年次生以前/理工学部08~11年次生対象))は、17年次生対象の「ウエルネスと身体」を履修すること。

春学期開講科目の受講希望者は、4月5日(水)10:00-12:00、秋学期開講科目の受講希望者は、9月20日(水)10:00-12:00 7号館2F保健体育会議室(7-220)において受講クラスの決定を行うので必ず来室すること(先着順受付、人数制限あり)。受講クラスが決定した学生は、その場で追加登録の許可用紙を交付するので、下記期限までに学事センターに提出すること。

#### <許可用紙提出期間>

春学期開講クラス 4月12日(水)~18日(火)まで(窓口時間内)

秋学期開講クラス 9月27日(水)~10月3日(火)まで(窓口時間内)

※再履修者は、Loyolaで履修登録することができないので、許可用紙提出期間内に必ず許可用紙を提出すること。

※提出期間内に許可用紙の提出がない場合は、許可を得ている履修登録できず無効となるので注意すること。

また、提出された場合でも既にLoyolaで登録されている科目と曜日・時限が重複する場合や、最高履修限度を超過してしまう場合は登録できないので、履修登録エラーのないように注意すること。

※割り当てられた受講クラスの変更は原則として認められない。

※「特別クラス」での受講を希望するものは、3)を参照すること。

### 17年次生・16年次生以前共通

#### 1) 初回授業について

- 指定された時間帯および教室に平服で集合し、ガイダンスに出席すること。
- ガイダンスには、テキスト、筆記用具、3×3cmの顔写真を持参すること。
- テキスト『身体のリベラルアーツ』は、春・秋とも、各学期のはじめに購入し初回の授業に必ず持参すること(秋学期分は秋学期に販売する)。

#### 2) 「特別クラス」について

- 心身の健康障害その他の理由で、指定された「ウエルネスと身体」クラスを履修することが困難である学生のために、春学期金曜日2時限に開講する。
- 受講希望者は、指定されたクラスの授業開始以前に、保健体育研究室事務室(7号館2階225室)まで来室すること。担当教員と相談のうえ、受講可否の決定後、初回授業の翌日から履修登録修正期間内に各自Loyolaで履修登録を行うこと。(登録コードはGSF19000)
- 特別クラス初回授業は、4月14日(金)2時限に7号館2階220室でガイダンスを行う。



---

## 「情報リテラシー演習」(必修) 履修上の注意

---

### 09・10年次生(ただし神学部・理工学部は09～12年次生も含む)

※上記の学生で必修科目「情報リテラシー演習」の単位を修得していない場合  
学科によって以下のとおり履修クラスが異なっているので注意すること。

1) 情報理工学科

＝選択科目「情報リテラシー(情報学)」を履修し、「情報リテラシー演習」(必修)の単位に充当すること。  
(p.104参照)

2) 上記以外の学科

＝選択科目「情報リテラシー(一般)」(もしくは「情報リテラシー(一般・英語)」)を履修し、「情報リテラシー演習」(必修)の単位に充当すること。(p.104参照)

なお、「情報リテラシー(一般)」「情報リテラシー(一般・英語)」「情報リテラシー(情報学)」はすべて抽選科目となるので、各自、抽選科目登録期間に登録すること。

# 「キリスト教人間学」(選択必修)履修上の注意

## ※含む「人間学」(必修) / 「人間学系科目」(選択必修)

09～17年次生 (除く理工学部09～11年次生)

### 1. 「キリスト教人間学」科目群の共通講義概要

上智大学は、創立以来、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育を基本理念としており、Men and Women for Others, with Others, すなわち、他者と共に生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間を育成することに努めている。それは、自己の成長に真摯に取り組む、他者とのかかわりを大切に、倫理的思考・判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立って、より人間的な世界を築き上げることのできる人間を育成することである。このような教育目標の具現に必要とされる、固有な学びの視点を培うために、本学ではユニバーシティ・アイデンティティ科目として「キリスト教人間学」科目群を設け、選択必修科目として全学部の学生に履修を課している。

「キリスト教人間学」科目群は、より詳しくは以下のような共通理念に基づいて開設、運営される。

1. 「キリスト教人間学」は、「人間性の諸次元をあますところなく見つけ、全人類の連帯を倦むことなく追求する現代のキリスト教ヒューマニズム」を支柱とする、本学の建学精神の発露であり、本学の教育のコア科目である。
2. 「キリスト教人間学」は、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学の成果なども援用しつつ、人間存在の総合的な理解をめざし、「人間とその生き方」を探求することを旨とする。
3. 「キリスト教人間学」は、各自の思想や人間性の発展の基礎であることから、受講者が自ら問い、考え、選び、行動するという自覚的で主体的な営みがとくに重視される。
4. 「キリスト教人間学」は、受講者一人ひとりがそれぞれに見合った仕方では「人間とは何か」、「生きる意味とは何か」など、人間性の根本問題に主体的に取り組むため、以下の手段によって履修を支援する。
  - a) 履修上の目安として、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」の4基本区分を設ける。
  - b) より高い選択性担保の一環として、「春学期開講」と「秋学期開講」の区別を活かし、原則として、「春」「秋」それぞれ1科目ずつ、計4単位を履修する。
  - c) さらに学ぶの道を開くため、選択必修4単位分を超えて履修した科目は、全学共通科目の選択科目として、「卒業のために必要な単位数」への算定を可能とする。

### 2. 「キリスト教人間学」科目群の共通評価基準

何らかの試験を実施し、出席を毎回確認する。欠席が4回を超えた場合には、原則として成績評価の対象としない。

### 3. 履修ブロック

**17年次生は下記の指定されたブロックから履修すること。指定ブロック以外の科目を履修することはできない。**原則として1年次生のうちに2科目4単位(春学期1科目2単位, 秋学期1科目2単位)を履修すること。16年次生以前は全てのブロックの科目を履修することができる。

ブロック	学部学科	曜日時限
A	文学部(哲, 史, 国文, 新聞), 理工学部(英語コースを除く)	火曜1時限
B	法学部, 経済学部	火曜4時限
C	総合人間科学部, 外国語学部(イスパニア語, ポルトガル語), 総合グローバル学部	金曜1時限
D	神学部, 文学部(英文, ドイツ文, フランス文), 外国語学部(英語, ドイツ語, フランス語, ロシア語)	金曜4時限
E	国際教養学部, 理工学部英語コース	火曜5時限

## 4. 履修方法について

キリスト教人間学科目は全て抽選科目である。抽選科目登録期間に各自、登録を行なうこと。第1希望科目の抽選に外れた場合は、第2、第3希望…と順次抽選が行われる。抽選科目登録の際には、指定ブロック内の全ての科目に優先順位をつけないと登録できないので、あらかじめ履修希望する順位を決めておくこと。なお、総合グローバル学部の学生は、マークの付いている科目を上位に、付いていない科目を下位に、指定ブロック内の全ての科目に順位を付けて抽選科目登録を行うこと。

### 理工学部09～11年次生

## 5. 「人間学」(必修)について

「人間学」(必修)の単位を修得していない学生は、「キリスト教人間学科目」の<人間として生きる>のカテゴリー内の科目のうち、人間学未履修者用科目欄に◎印がある指定科目を履修し、「人間学」(必修)の単位に充当すること(p.93参照)。

※キリスト教人間学科目(選択必修科目)は、全て抽選科目となるので、抽選科目登録期間に各自、登録を行うこと。

## 6. 「人間学系科目」(選択必修)について

「キリスト教人間学科目」を履修することで人間学系科目(選択必修)として読み替えを行う。過去に副題と同じ科目名の人間学系科目を履修している場合は、重複して履修することはできない。

例)「キリスト教人間学(かかわりの人間学)」→昨年まで開講されていた「かかわりの人間学」と同一科目として扱うため、履修できない。

※共通評価基準、履修ブロック(キリスト教人間学科目の開講ブロックであれば全てのブロックを履修可能)、履修方法については、2～4項までを参照すること。なお、抽選の登録方法に関して、「人間学」を未履修の学生は、「人間学未履修者科目」欄に◎印のある科目を上位に、付いていない科目を下位に、指定ブロック内の全ての科目に順位を付けて事前登録を行うこと。

# 「高学年向け教養科目」(選択) 履修上の注意

**14年次生以降** ※看護学科生(16年次生以前), 総合グローバル学部生を除く

## 1. 履修ブロック

15年次生は原則として下記の指定されたブロックから履修すること。指定ブロック以外の科目を履修することはできない。原則として3年次生のうちに履修すること。14年次生は全てのブロックの科目を履修することができる。なお、Gブロックの科目に関してはどの学科の学生でも履修することができる。

ブロック	学部学科	曜日時限
A	国文学科, 社会学科, ドイツ語学科, ロシア語学科, 機能創造理工学科	春学期 月曜日3時限
B	ドイツ文学科, 教育学科, 社会福祉学科, ポルトガル語学科, 物質生命理工学科	秋学期 月曜日3時限
C	フランス文学科, 法律学科, 経済学科	春学期 水曜日4時限
D	神学科, 哲学科, 国際関係法学科, フランス語学科, 情報理工学科	秋学期 水曜日4時限
E	英文学科, 心理学科, 地球環境法学科, 経営学科	春学期 金曜日3時限
F	史学科, 新聞学科, 英語学科, イスパニア語学科	秋学期 金曜日3時限
G	学科無指定	※科目により異なる (主に夏期集中講義だが, 必ず時間割を確認すること)

※この他にも、インターンシップ科目がある。(p.110) インターンシップ科目の詳細についてはグローバル教育センター(2号館地下1階)に問い合わせること。

## 2. 履修上の注意

- ・卒業に必要な2単位を超えて履修した場合は、選択科目に充当することができる。
- ・全て抽選科目であるため抽選科目登録期間に各自、登録を行うこと。第1希望科目の抽選に外れた場合は、第2、第3希望…と順次抽選が行われる。抽選科目エントリーの際には、指定ブロック内の全ての科目に優先順位をつけないと登録できないので、あらかじめ履修希望する順位を決めておくこと。
- ・Gブロックの夏期集中講義は、他の科目と同様、登録は春学期科目の履修登録期間の際に行うこと。詳しい日程・教室はLoyola「学事センター(教務)掲示板」を参照すること。
- ・再履修する場合は、翌年度に履修するか、Gブロックの学科無指定科目を履修すること。
- ・Gブロックに関しては、どの学科でも履修することができる。(秋学期に履修ブロックが指定されていてもGブロックの科目は履修可。)
- ・看護学科(16年次生以前)、総合グローバル学部の学生は原則として履修できない。履修できる科目に関しては備考に注として示しているが、卒業要件にはならない。
- ・国際教養学部、理工学部英語コースの学生は履修方法が異なる。詳細はそれぞれの「BULLETIN OF INFORMATION 2017-2018」を参照すること。

に  
全  
学  
共  
通  
科  
目  
に  
つ  
い  
て

全  
学  
共  
通  
科  
目  
構  
成  
お  
よ  
び  
履  
修  
上  
の  
規  
定

履  
修  
上  
の  
注  
意  
ワ  
シ  
ン  
ト  
ン  
大  
学  
の  
履  
修  
上  
の  
注  
意

「  
報  
知  
レ  
ジ  
ス  
ト  
」  
履  
修  
上  
の  
注  
意

「  
ワ  
シ  
ン  
ト  
ン  
大  
学  
」  
履  
修  
上  
の  
注  
意

「  
高  
学  
年  
向  
け  
教  
養  
科  
目  
」  
履  
修  
上  
の  
注  
意

一  
開  
講  
覧  
科  
目  
表  
目

全学共通科目〔必修科目〕ウエルネスと身体

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	曜日	時限	担当者	学科・クラス	
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月	1	師島大笹島 岡崎串川 文崇哲 男史朗慶健	ポルトガル語, 機能創造理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月	3	島笹大鈴師島 崎川串木岡 崇哲文 史慶朗守男健	ドイツ語, フランス語, イスパニア語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	火	1	師大笹吉竹 岡串川田村 文哲美和子 男朗慶りょうこ	神, ドイツ文, 地球環境法
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水	1	師鈴竹笹島 岡木村川崎 文りょうこ 男守慶史	教育, フランス文, 社会福祉
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水	3	大島吉廣竹笹 串崎田瀬村川 哲崇美和子 朗史朗りょうこ 男慶	物質生命理工, 国際教養(春入学) ※英語で行うクラスあり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	木	1	鈴吉大竹 木田串村 守美和子 守朗りょうこ	情報理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	金	1	吉笹竹師島 川村岡崎 美和子りょうこ 男慶史	史, 国文, ロシア語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月	1	大笹鈴師島 串川木岡本 哲文 りょうこ 男慶守男健	総合グローバル
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月	3	金島鈴笹 本島崎木川 めぐみ 健崇史 守慶	英語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	火	1	大吉師竹金 串田岡村本 哲美和子 朗りょうこ 男	看護, 国際関係法

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	曜 日	時 限	担 当 者	学科・クラス	
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	2	大 串 哲 朗 金 本 めぐみ 島 崎 崇 鈴 木 史 吉 田 守 竹 田 美和子 廣 村 りょうこ * 瀬 立 朗	心理，経営， 理工英語コース ※英語で行うクラス あり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	3	* 廣 村 りょうこ 金 瀬 立 朗 師 本 めぐみ 大 岡 文 男 島 串 哲 朗 崎 崇 史	哲，社会， 国際教養（秋入学） ※英語で行うクラス あり
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	1	吉 田 美和子 竹 村 りょうこ 島 崎 崇 史 笹 川 慶 健	法律
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	3	大 串 哲 朗 笹 川 慶 健 竹 村 りょうこ 吉 田 美和子 島 崎 崇 史	経済
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	金	1	吉 田 美和子 師 岡 文 男 竹 村 りょうこ 笹 川 慶 健 鈴 木 守 史 島 崎 崇 史	英文，新聞
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	金	2	吉 田 美和子	特別クラス

全学共通科目  
について

全学共通科目構成  
および履修上の規定

ウエルネスと身体  
履修上の注意

「情報リテラシー講習」  
必修履修上の注意

「ウエルネスと身体」  
科目群履修上の注意

「高学年向け教養科目」  
履修上の注意

一開講科目  
一覧表

全学共通科目〔選択必修科目〕キリスト教人間学科目：09年次生以降（除く理工学部09～11年次生）  
 全学共通科目〔選択必修科目〕人間学系科目：理工学部09～11年次生

●SCH (Studies in Christian Humanism)/●GS Electives : FLA&FST

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	備考		
全学共通科目〔選択必修科目〕	キリスト教人間学科目／人間学系科目	＜思索の基盤を深める＞								
		GSG18730	SCH118	キリスト教人間学（科学の哲学）	2	春	杉尾 一	A	[75名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	春	角田 佑一	A	[75名]	
		GSG10900	SCH103	キリスト教人間学（古代中世の哲学）	2	春	荻野 弘之	B	[75名]	
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	春	*石井 雅之	B	[75名]	
		GSG11000	SCH104	キリスト教人間学（近世現代の哲学）	2	春	大橋 容一郎	B	[75名]	
		GSG15500	SCH106	キリスト教人間学（哲学的人間論）	2	春	佐藤 直子	C	[75名], [G]	
		GSG10500	SCH101	キリスト教人間学（哲学）	2	春	*中畑 邦夫	C	[75名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	春	角田 佑一	D	[75名]	
		GSG10500	SCH101	キリスト教人間学（哲学）	2	春	*中畑 邦夫	D	[75名]	
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	秋	*石井 雅之	A	[75名]	
		GSG18710	SCH114	キリスト教人間学（哲学と宗教）	2	秋	長町 裕司	A	[75名]	
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学（宗教学）	2	秋	高山 貞美	B	[75名]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	秋	角田 佑一	B	[75名]	
		GSG10300	SCH100	キリスト教人間学（哲学入門）	2	秋	*芝元 航平	B	[75名]	
		GSG13400	SCH113	キリスト教人間学（キリスト教の人間理解）	2	秋	HAIDAR Juan	C	[75名], [G]	
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学（日本の哲学）	2	秋	角田 佑一	C	[75名]	
		GSG10400	SCH102	キリスト教人間学（哲学の根本問題）	2	秋	*中畑 邦夫	C	[75名]	
		GSG10400	SCH102	キリスト教人間学（哲学の根本問題）	2	秋	*中畑 邦夫	D	[75名]	
		GSG18900	SCH108	キリスト教人間学（美の哲学）	2	秋	桑原 俊介	D	[75名]	
		GSG11400	SCH112	キリスト教人間学（東洋の自然観）	2	休講				
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	休講				
		GSG13400	SCH113	キリスト教人間学（キリスト教の人間理解）	2	休講				
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学（倫理学入門）	2	休講				
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学（宗教学）	2	休講				
		＜キリスト教の精神に学ぶ＞								
		GSG18651	SCH135	キリスト教人間学（聖書にみる人間観）	2	春	月本 昭男	A	[75名]	
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	春	森 裕子	A	[75名]	
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	春	森 裕子	B	[75名]	
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	春	久保 文彦	B	[75名]	
		GSG13100	SCH133	キリスト教人間学（仏教とキリスト教）	2	春	高山 貞美	C	[75名], [G]	
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	春	FIRMANSYAH Antonius	C	[75名]	
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	春	久保 文彦	C	[75名]	
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	春	FIRMANSYAH Antonius	D	[75名]	
		GSG18670	SCH136	キリスト教人間学（歴史の中のキリスト教と人間）	2	春	伊藤 高章	D	[75名]	
		GSG14000	SCH120	キリスト教人間学（旧約聖書入門）	2	春	久保 文彦	D	[75名]	
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	秋	久保 文彦	A	[75名]	
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	A	[75名]	
		GSG18720	SCH138	キリスト教人間学（旧約聖書にみられる人間）	2	秋	具 正謨	B	[75名]	
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学（福音としてのキリスト教）	2	秋	瀬本 正之	B	[75名]	
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学（キリスト教と音楽）	2	秋	森 裕子	C	[75名]	
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学（福音としてのキリスト教）	2	秋	瀬本 正之	C	[75名], [G]	
		GSG18670	SCH136	キリスト教人間学（歴史の中のキリスト教と人間）	2	秋	伊藤 高章	D	[75名]	
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学（新約聖書入門）	2	秋	久保 文彦	D	[75名]	
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学（キリスト教の礼拝とシンボル）	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	D	[75名]	
GSG13500	SCH123	キリスト教人間学（イエス・キリスト）	2	休講						
GSG14500	SCH130	キリスト教人間学（イエスとその神）	2	休講						
GSG13700	SCH122	キリスト教人間学（新約聖書概説）	2	休講						

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	人間学未履修者用科目		
全学共通科目〔選択必修科目〕	キリスト教人間学科目／人間学系科目	＜人間として生きる＞									
		GSG18750	SCH161	キリスト教人間学(生と死の人間学)	2	春	武田 なほみ	A	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	*石井 雅之	A	[75名]	◎	
		GSG12000	SCH184	キリスト教人間学(生活の中のジェンダー)	2	春	平尾 桂子	A	隔年開講[75名]		
		GSG18760	SCH160	キリスト教人間学(愛の人間学)	2	春	小山 英之	B	[75名]		
		GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	春	片山 はるひ	B	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	原 敬子	B	[75名]	◎	
		GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	春	原 敬子	C	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	瀬本 正之	C	[75名], [G]	◎	
		GSG11500	SCH158	キリスト教人間学(いのちの倫理:原点)	2	春	竹内 修一	C	[75名]		
		GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	春	片山 はるひ	D	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	*田村 和子	D	[75名]	◎	
		GSG18760	SCH160	キリスト教人間学(愛の人間学)	2	春	小山 英之	D	[75名]		
		GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	秋	片山 はるひ	A	[75名]		
		GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	秋	原 敬子	A	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	森 裕子	A	[75名]	◎	
		GSG12100	SCH183	キリスト教人間学(映像の中のジェンダー)	2	秋	平尾 桂子	A	[75名]		
		GSG18750	SCH161	キリスト教人間学(生と死の人間学)	2	秋	武田 なほみ	B	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	*田村 和子	B	[75名]	◎	
		GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	秋	片山 はるひ	C	[75名], [G]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	吉川 まみ	C	[75名]	◎	
		GSG11600	SCH159	キリスト教人間学(いのちの倫理:展望)	2	秋	竹内 修一	C	[75名]		
		GSG18750	SCH161	キリスト教人間学(生と死の人間学)	2	秋	武田 なほみ	D	[75名]		
		GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	秋	原 敬子	D	[75名]		
		GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	*芝元 航平	D	[75名]	◎	
		GSG11800	SCH153	キリスト教人間学(生と死の哲学)	2	休講					
		＜よりよい世界をつくる＞									
		GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	春	久保文彦	A	[75名]		
		GSG18110	SCH185	キリスト教人間学(環境教育)	2	春	吉川 まみ	A	[75名]		
		GSG12800	SCH185	キリスト教人間学(暴力と人間)	2	春	AUGUSTINE Sali	A	[75名]		
		GSG18110	SCH185	キリスト教人間学(環境教育)	2	春	吉川 まみ	B	[75名]		
		GSG14600	SCH175	キリスト教人間学(キリスト教的人間観と現代社会の諸問題)	2	春	光延 一郎	B	[75名]		
		GSG10100	SCH179	キリスト教人間学(倫理学)	2	春	アテンカラム ジョンジョセフ	C	[75名], [G]		
		GSG18110	SCH185	キリスト教人間学(環境教育)	2	春	吉川 まみ	C	[75名]		
		GSG18110	SCH185	キリスト教人間学(環境教育)	2	春	吉川 まみ	D	[75名]		
		GSG14600	SCH175	キリスト教人間学(キリスト教的人間観と現代社会の諸問題)	2	春	光延 一郎	D	[75名]		
		GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2	秋	小山 英之	A	[75名]		
		GSG11210	SCH172	キリスト教人間学(環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉川 まみ	A	[75名]		
		GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	秋	久保文彦	B	[75名]		
		GSG11210	SCH172	キリスト教人間学(環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉川 まみ	B	[75名]		
		GSG10700	SCH115	キリスト教人間学(現代倫理の諸問題)	2	秋	*石井 雅之	B	[75名]		
		GSG12400	SCH180	キリスト教人間学(グローバルイゼーションの現状と思想)	2	秋	アテンカラム ジョンジョセフ	C	[75名], [G]		
		GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	秋	久保文彦	C	[75名]		
		GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2	秋	小山 英之	D	[75名]		
		GSG11210	SCH172	キリスト教人間学(環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉川 まみ	D	[75名]		
		GSG18630	SCH181	キリスト教人間学(途上国の持続可能な開発)	2	休講					
		GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	休講					
		GSG12300	SCH182	キリスト教人間学(発展途上国の人間開発)	2	休講					
		GSG18600	SCH173	キリスト教人間学(キリスト教と現代社会)	2	休講					
GSG18600	SCH173	キリスト教人間学(キリスト教と現代社会)	2	休講							

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

全学共通科目  
に  
つ  
い  
て

全学共通科目構成  
お  
よ  
び  
履  
修  
上  
の  
規  
定

コア文庫  
履  
修  
上  
の  
注  
意

情報リテラシー  
必  
修  
履  
修  
上  
の  
注  
意

キリスト教人間学  
科  
目  
履  
修  
上  
の  
注  
意

両学舎  
履  
修  
上  
の  
注  
意

一開講科目  
表

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	ブロック	備考
全学共通科目〔選択必修科目〕 キリスト教人間学科目／人間学系科目	<b>&lt;キリスト教人間学 (★) &gt; ※注1参照</b>							
	GSG16800	SCH190	PHILOSOPHY OF HUMAN RIGHTS AND HUMAN DIGNITY	2	春	寺 田 俊 郎	E	[5名]
	GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	春	Haidar Juan	E	[5名]
	GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	春	FIRMANSYAH Antonius	E	[5名]
	GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	春	POLITO Michael	E	[5名]
	GSG17500	SCH192	PHILOSOPHY OF HUMAN NATURE	2	秋	鈴木 伸 国	E	[5名]
	GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	E	[5名]
	GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	秋	Haidar Juan	E	[5名]
	GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	秋	POLITO Michael	E	[5名]
	GSG17200	SCH195	PHILOSOPHY OF LOVE	2	休講			
	GSG18611	SCH191	MODERN/CONTEMPORARY PHILOSOPHY	2	休講			
	GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講			
	GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講			
	GSG18640	SCH197	FOUNDATIONS: TERRITORY & SACRED SPACE	2	休講			
	GSG18641	SCH198	FOUNDATIONS: TIME AND SACRED RHYTHMS	2	休講			
	<b>&lt;SCH (Studies in Christian Humanism)&gt;</b>							
	<b>(For FLA/FST Students 国際教養学部・理工英語コース生用)</b>							
	GSG16800	SCH190	PHILOSOPHY OF HUMAN RIGHTS AND HUMAN DIGNITY	2	春	寺 田 俊 郎	E	[55名]
	GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	春	Haidar Juan	E	[55名]
	GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	春	FIRMANSYAH Antonius	E	[55名]
	GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	春	POLITO Michael	E	[55名]
	GSG17500	SCH192	PHILOSOPHY OF HUMAN NATURE	2	秋	鈴木 伸 国	E	[55名]
	GSG18770	SCH199	PHILOSOPHY OF RELIGIOUS LANGUAGE	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	E	[55名]
	GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	秋	Haidar Juan	E	[55名]
	GSG19000	SCH196	FREEDOM AND LEADERSHIP: IGNATIAN SPIRITUALITY FOR LIFE	2	秋	POLITO Michael	E	[55名]
GSG17200	SCH195	PHILOSOPHY OF LOVE	2	休講				
GSG18611	SCH191	MODERN/CONTEMPORARY PHILOSOPHY	2	休講				
GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講				
GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講				
GSG18640	SCH197	FOUNDATIONS: TERRITORY & SACRED SPACE	2	休講				
GSG18641	SCH198	FOUNDATIONS: TIME AND SACRED RHYTHMS	2	休講				

※総合グローバル学部の学生は原則として☑マークの付いている科目の中から履修すること。

(注1) 履修するためには TOEFL550 点以上 (iBT79 点以上) を目安とする。

(注2) 下記の科目は同一科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	ナンバリング	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	過年度開講の同一科目
GSG11000	SCH104	キリスト教人間学(近世現代の哲学)	2008	098008	現代の哲学
GSG10300	SCH100	キリスト教人間学(哲学入門)		099013	哲学入門
GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2011	GSG12600	キリスト教人間学(平和と人間)
GSG18630	SCH181	キリスト教人間学(途上国の持続可能な開発)	2012	GSG12200	キリスト教人間学(持続可能な開発の思想)
GSG18651	SCH135	キリスト教人間学(聖書にみる人間観)	2015	GSG18650	キリスト教人間学(聖書における人間観)
GSG18750	SCH154	キリスト教人間学(生と死の人間学)	2016	GSG11900	キリスト教人間学(死生学)
GSG18720	SCH122	キリスト教人間学(旧約聖書にみられる人間)		GSG15200	キリスト教人間学(宗教体験としての回心)
GSG18100	SCH171	キリスト教人間学(環境教育)	2017	GSG18110	キリスト教人間学(持続可能な社会づくりと環境教育)

「全学共通科目について」

「全学共通科目構成および履修上の規定」

「2019年度履修上の注意」

「情報リテラシー講習必修履修上の注意」

「キリスト教人間学」科目群履修上の注意

「高学年向け教養科目選択履修上の注意」

「開講科目表」

全学共通科目〔選択科目〕

◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	＜ルーツと伝統＞						
	099330	GFI101	上智大学（ソフィア）のルーツとアイデンティティ	2	秋	コーディネータ 片山 はるひ 原 敬子	輪講, [100名]

◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	＜哲学＞						
	099354	GTP101	論理の世界	2	秋	浅見 昇 吾	[200名], [G]
	099511	GTP102	結婚の哲学	2	秋	長町 裕 司	
	＜倫理＞						
	099392	GTE101	生命倫理の世界	2	春	浅見 昇 吾	[200名], [G]
	＜宗教＞						
	099349	GTR101	諸宗教における自然と人間	2	休講		輪講, 隔年開講, [100名], 注1参照
	099490	GTR201	日本の宗教と文学 1	2	春	鎌田 東 二	[200名]
099491	GTR202	日本の宗教と文学 2	2	秋	鎌田 東 二	[200名]	

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 〔選択科目〕	＜言語文学系＞						
	099401	GHL103	ドイツ文学案内	2	秋	高橋 明 彦	[200名]
	099210	GHL101	フランス文学入門 I	2	休講		
	099211	GHL102	フランス文学入門 II	2	休講		
	099104	GHL115	日本古典文学入門 I	2	秋	本 廣 陽 子	[200名], 注3参照, [G]
	099105	GHL116	日本古典文学入門 II	2	秋	西 澤 美 仁	注3参照
	099106	GHL117	日本古典文学入門 III	2	春	瀬 間 正 之	隔年開講, 注3参照
	099165	GHL113	日本近代文学序説 I (小説)	2	休講		注3参照
	099103	GHL114	日本近代文学序説 II (詩歌)	2	休講		注3参照
	099099	GHL208	[漢文 I] 中国古典入門	2	春	長 尾 直 茂	[100名], [G], 注3参照
	099100	GHL209	[漢文 II] 中国の文学と文章	2	春	福 井 辰 彦	注3参照
	099101	GHL210	[漢文 III] 中国の詩文を読む	2	休講		注3参照
	099240	GHL211	[漢文 IV] 中国文学と日本文学	2	秋	福 井 辰 彦	注3参照
	099162	GHL111	国語の歴史 I	2	休講		[200名], 注3参照
	099163	GHL112	国語の歴史 II	2	春	服 部 隆	[200名], 注3参照
	099153	GHL106	文章構成法 I	2	秋	瀬 間 正 之	[80名], 注2参照, [G]
	099154	GHL107	文章構成法 II	2	休講		[80名], 注2参照
	099155	GHL108	文章構成法 III	2	春	*遠 藤 佳 那 子	[80名], 注2参照
	099156	GHL109	文章構成法 IV	2	秋	服 部 隆	[80名], 注2参照, [G]
	099157	GHL110	文章構成法 V	2	休講		隔年開講, [80名], 注2参照
	099158	GHL201	国語表現 I	2	春	*丸 井 貴 史	[100名], 注2参照
	099159	GHL202	国語表現 II	2	春	本 廣 陽 子	[100名], 注2参照, [G]
	099160	GHL203	国語表現 III	2	春	西 澤 美 仁	[100名], 注2参照

※総合グローバル学部の学生は原則として [G] マークの付いている科目の中から履修すること。



履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 〔選択科目〕	実技科目	GSH12100	GHB107	卓球	1	休講	[40名], 注5・6参照	
		GSH12100	GHB107	卓球	1	秋	金本 めぐみ [40名], 注5・6参照, [G]	
		GSH12200	GHB108	ソフトボール	1	春	笹川 慶 [40名], 注5・6参照	
		GSH12200	GHB108	ソフトボール	1	春	島崎 崇史 [40名], 注5・6参照	
		GSH12300	GHB109	バレーボール初級	1	春	*廣 紀江 [42名], 注5・6参照	
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	春	*廣 紀江 [42名], 注5・6参照	
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣 紀江 [42名], 注5・6参照	
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣 紀江 [42名], 注5・6参照	
		GSH12500	GHB111	ゴルフ	1	秋	大串 哲朗 [24名], 注5・6参照, [G]	
		GSH12600	GHB112	フライングディスク入門	1	秋	師岡 文男 [40名], 注5・6参照, [G]	
		GSH12700	GHB113	フライングディスク	1	春	笹川 慶 [40名], 注5・6参照	
		GSH12700	GHB113	フライングディスク	1	秋	島 健 [40名], 注5・6参照, [G]	
		GSH12800	GHB114	バドミントン入門	1	秋	金本 めぐみ [36名], 注5・6参照, [G]	
		GSH12900	GHB115	バドミントン	1	春	竹村 りょうこ [36名], 注5・6参照	
		GSH12900	GHB115	バドミントン	1	秋	笹川 慶 [36名], 注5・6参照	
		GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	春	*池田 美知子 [30名], 注5・6参照	
		GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	秋	*池田 美知子 [30名], 注5・6参照	
		GSH13600	GHB118	エアロビクス&トータルフィットネス	1	春	*池田 美知子 [25名], 注5・6参照	
		GSH10100	GHB119	レクリエーション・ニュースポーツ	1	春	師岡 文男 [40名], 注5・6参照	
		GSH14000	GHB121	ダンスパフォーマンス	1	春	*國寶 真美 [25名], 注5・6参照	
		GSH11800	GHB103	バスケットボール	1	秋	*山崎 紀春 [35名], 注5・6参照	
		演習科目	GSH10200	GHB201	太極拳運動の理論と実践	2	春	*美馬 美千代 [25名]
			GSH10600	GHB202	救急法の理論と実践	2	秋	島 健 [24名], [G]
			GSH10700	GHB203	気功の理論と実践	2	春	*遠藤 卓郎 [25名]
			GSH10800	GHB204	スキースポーツの理論と実践	2	秋	鈴木 守 吉田 美和子 笹川 慶 輪講, ☆ (25名), 注4参照, 学外実習あり, 初回授業は剣道場
			GSH10900	GHB205	ゴルフの理論と実践	2	春	大串 哲朗 ☆ (18名), 注4・5参照, 学外実習あり
GSH11000	GHB206		スクーバ・ダイビングの理論と実践	2	春	島 健 ☆ (24名), 注4参照, 学外実習あり, 初回授業は剣道場		
GSH13500	GHB207		演習24式太極拳	2	秋	*美馬 美千代 [24名]		
GSH13960	GHB220		身体知演習 ボディーワーク	2	春	吉田 美和子 [24名]		
GSH13960	GHB220		身体知演習 ボディーワーク	2	秋	吉田 美和子 [24名]		
GSH13970	GHB221		身体知演習 ヨガ	2	春	吉田 美和子 [24名]		
GSH13980	GHB222		身体知演習 身体技法	2	秋	*遠藤 卓郎 [25名]		
講義科目	GSH14120		GHB120	健康と身体運動の科学入門	2	秋	笹川 慶 [65名]	
	002165	GHB215	現代文化としてのスポーツ I	2	春	コーディネータ 鈴木 守 輪講, [70名]		
	002166	GHB216	現代文化としてのスポーツ II	2	秋	コーディネータ 師岡 文男 輪講, [100名]		
	099366	GHB213	知としての身体を考える	2	秋	コーディネータ 吉田 美和子 輪講, [70名]		
	GSH11100	GHB210	人間と運動・スポーツ	2	春	鈴木 守 [70名]		
	GSH11200	GHB211	健康・フィットネス論	2	休講	輪講, ☆ (50名, 男性25名, 女性25名), 注4参照		
	GSH11300	GHB212	レジャー・スポーツ・レクリエーション論	2	春	師岡 文男 [100名]		
	099411	GHB217	演劇から見える世界と人間	2	秋	コーディネータ 東郷 公德 輪講, [200名]		

※総合グローバル学部の学生は原則として [G] マークの付いている科目の中から履修すること。



◎共生と世界

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考
全学共通科目 〔選択科目〕	<b>&lt;地球環境系&gt;</b>						
	GSH10300	GCE102	野外活動と環境	2	春	師 岡 文 男	[35名], 学外実習あり
	099459	GCE213	環境社会経営論	2	休講		輪講, 隔年開講, [110名]
	099417	GCE211	環境問題と法・政策	2	休講		輪講, 隔年開講, [100名]
	099414	GCE204	環境問題と科学技術	2	春	*長 谷 代 子	夏期集中講義, [50名], 注7・21 参照
	099186	GCE202	地球環境学 I	2	春	コーディネータ 筑 紫 圭 一	輪講, [180名], 三菱商事(株) 連携講座
	099187	GCE203	地球環境学 II	2	秋	コーディネータ 鈴 木 政 史	輪講, [180名], 三菱商事(株) 連携講座
	099114	GCE205	地球環境と科学技術 I	2	春	コーディネータ 黄 光 偉	輪講, [180名], 三菱商事(株) 連携講座
	099115	GCE206	地球環境と科学技術 II	2	秋	コーディネータ 黄 光 偉	輪講, [180名], 三菱商事(株) 連携講座
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	春	コーディネータ 杉 浦 未希子	輪講, ★, 注12参照, SAIMSプロ グラム科目
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	秋	コーディネータ 杉 浦 未希子	輪講, ★, 注12参照, SAIMSプロ グラム科目
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	春	杉 浦 未希子	★, SAIMSプログラム科目
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	秋	杉 浦 未希子	★, SAIMSプログラム科目
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	春	杉 浦 未希子	★, SAIMSプログラム科目
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	秋	杉 浦 未希子	★, SAIMSプログラム科目
	<b>&lt;生命社会系&gt;</b>						
	099213	GCL101	入門毒物学	2	春	笹 川 展 幸	[120名], [G]
	099139	GCL110	我々をとりまく微生物の世界	2	休講		[100名]
	099289	GCL108	脳とホルモンの行動学	2	春	千 葉 篤 彦	[100名]
	099290	GCL109	生命のしくみ-栄養・酵素・健康-	2	秋	小 林 健 一 郎	[100名], [G]
	099292	GCL111	発生生物学入門	2	春	安 増 茂 樹	[150名]
	099322	GCL112	環境分子生物学入門	2	春	齊 藤 玉 緒	[150名]
	099313	GCL202	ヒトの生物科学	2	休講		輪講, [100名]
	065025	GCL104	心理学 I A	2	春	*平 尾 元 尚	[200名], 注14参照
	065026	GCL107	心理学 I B	2	秋	*平 尾 元 尚	[200名], 注14参照
	099418	GCL113	心理学概論	2	春	*石 井 辰 典	[200名], 注14参照
099418	GCL113	心理学概論	2	春	*大 谷 保 和	[200名], 注14参照	
099418	GCL113	心理学概論	2	秋	*石 井 辰 典	[200名], 注14参照	
099418	GCL113	心理学概論	2	秋	*大 谷 保 和	[200名], 注14参照	

※総合グローバル学部の学生は原則として [G] マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 〔選択科目〕	099419	GCL201	INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY	2	秋	*駒井章治	[200名], ★, 注14参照	
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	春	伊藤高章	[60名]	
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	秋	伊藤高章	[60名]	
	099493	GCL208	赤十字と国際活動	2	秋	コーディネータ 山口淑恵	輪講, [100名], 日本赤十字 連携講座	
	099460	GCL207	問題解決の認知科学入門 -主体性をもって学ぶとは	2	春	*安西祐一郎	[100名]	
	099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	春	杉浦未希子	★, SAIMSプログラム科目	
	099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	秋	杉浦未希子	★, SAIMSプログラム科目	
	099501	GCL209	SOCIAL PSYCHOLOGY	2	春	YABUT Homer	★, [100名], 海外招聘客員 教員担当科目	
	099501	GCL209	SOCIAL PSYCHOLOGY	2	秋	YABUT Homer	★, [100名], 海外招聘客員 教員担当科目	
	<b>●実践型プログラム (注11参照)</b>							
	N99308	GCL206	アフリカに学ぶ	2	春	山崎瑛莉	夏期集中講義	
	N99308	GCL206	アフリカに学ぶ	2	秋	山崎瑛莉	春期集中講義	
	<b>&lt;人権平和系&gt;</b>							
	040001	GCR107	憲法	2	春	*吉川和宏	[300名], 神・文・総合人間・外国 語学部対象, 法学部生履修不可	
	040001	GCR107	憲法	2	秋	*玉巻弘光	経済・理工・国際教養学部対 象, 法学部生履修不可	
	040001	GCR107	憲法	2	秋	矢島基美	[300名], 法学部生履修不可 [G]	
	030531	GCR108	法律学	2	秋	松本尚子	[200名], 法学部生履修不可, [G]	
	030403	GCR109	政治学	2	秋	加藤浩三	[100名], 法学部生履修不可, [G]	
	099467	GCR113	国際政治史入門	2	春	宮城大蔵	[200名]	
031554	GCR105	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	春	廣里恭史	★		
031553	GCR106	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	秋	植木安弘	★		
099500	GCR114	オリンピック・パラリンピック概論	2	秋	コーディネータ 師岡文男	輪講, [100名]		
099502	GCR115	共生する社会と身体・スポーツ	2	春	コーディネータ 島健	輪講, [80名]		
099516	GCR117	共生社会創生論 -障がい者スポーツ・芸術を通じた共生社会の実現に向けて-	2	秋	コーディネータ 大塚晃	輪講, [65名]		
099342	GCR203	グローバル・コンサーンと平和の促進	2	秋	コーディネータ HAIDAR Juan 田中雅子	輪講, 隔年開講, [100名]		
099461	GCR112	グローバル社会への招待	2	春	水谷裕佳	[120名], 注1参照		
099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	春	東大作	★, [100名]		
099473	GCR111	INTRODUCTION TO CONFLICTS AND HUMAN SECURITY	2	秋	東大作	★, [100名]		
099475	GCR235	国際問題のとらえ方	2	春	藤崎一郎	注15参照		
099476	GCR236	HOW TO GRASP INTERNATIONAL ISSUES	2	秋	藤崎一郎	★, 注15参照		
099484	GCR242	現代国際情勢と日本外交	2	休講		[120名]		

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

全学共通科目  
に  
あ  
つ  
き  
つ  
い  
て  
全学共通科目構成  
お  
よ  
び  
履  
修  
上  
の  
規  
定  
コ  
レ  
ス  
ト  
大  
学  
の  
規  
定  
に  
あ  
ら  
わ  
せ  
て  
必  
修  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
コ  
レ  
ス  
ト  
大  
学  
の  
規  
定  
に  
あ  
ら  
わ  
せ  
て  
必  
修  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
コ  
レ  
ス  
ト  
大  
学  
の  
規  
定  
に  
あ  
ら  
わ  
せ  
て  
必  
修  
履  
修  
上  
の  
注  
意  
一  
開  
講  
科  
目  
表

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考	
全学共通科目 〔選択科目〕	099437	GCR215	アフリカにおける開発援助 とビジネス展開	2	秋	コーディネータ 山 崎 瑛 莉	輪講, [60名], 上級生優先, 豊田通 商・アフリカ開発銀行連携講座	
	099499	GCR218	アフリカと開発: 2030アジェンダと持続可能な社会づくり	2	秋	山 崎 瑛 莉	[100名]	
	099440	GCR216	APPROACHES TO INTERCULTURAL COMPETENCE	2	秋	CONSTANTINESCU Cezar	★	
	099443	GCR219	国際緊急人道支援と強靱な社会づくり	2	秋	コーディネータ 東 大 作	輪講, [100名], 国際協力機 構連携講座	
	099350	GCR208	グローバル化と国際貢献	2	秋	コーディネータ 山 崎 瑛 莉	輪講, [150名]	
	099368	GCR209	国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	春	コーディネータ 丸 山 英 樹	輪講, [200名], 国際協力機構 連携講座	
	099447	GCR225	GLOBALIZATION AND ORGANIZATIONS	2	春	POLITO Michael	★, [50名]	
	099447	GCR225	GLOBALIZATION AND ORGANIZATIONS	2	秋	POLITO Michael	★, [50名]	
	099471	GCR238	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 1	2	春	東 大 作	★, [100名]	
	099472	GCR239	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	秋	東 大 作	★, [100名]	
	099462	GCR230	先住民研究1	2	春	水 谷 裕 佳	[40名]	
	099463	GCR231	先住民研究2	2	秋	水 谷 裕 佳	[40名]	
	099469	GCR227	国境と境界	2	秋	水 谷 裕 佳	[120名]	
	099470	GCR237	人間・環境開発論	2	春	丸 山 英 樹	[100名]	
	099470	GCR237	人間・環境開発論	2	秋	丸 山 英 樹	[100名]	
	099444	GCR220	開発教育: 開発をめぐる課題を 世界はどのように学ぶのか	2	秋	山 崎 瑛 莉	[100名]	
	099474	GCR224	自主研究 (グローバル課題研究) : 人間の安全保障と平和構築	2	春	東 大 作	[100名]	
	099485	GCR241	国際開発コンサルティング	2	春	丸 山 英 樹	[100名]	
	099503	GCR217	国際開発金融機関入門 1	2	春	*村 井 暁 子	[30名], 注1参照	
	099504	GCR228	国際開発金融機関入門 2	2	秋	コーディネータ 廣 里 恭 史	輪講, [30名], 注1参照	
	099505	GCR110	立場の心理学1: マジョリティの特権を考える	2	春	出 口 真 紀 子	[200名], 注1参照	
	099505	GCR110	立場の心理学1: マジョリティの特権を考える	2	秋	出 口 真 紀 子	[200名], 注1参照	
	099506	GCR201	立場の心理学2: 特権の自覚と行動をつなぐ	2	春	出 口 真 紀 子	[50名], 夏期集中講義, 注20・21 参照	
	<b>●実践型プログラム(注11参照)</b>							
	N99302	GCR205	GLP グローバルリーダーシップ・プログラム	2	春	POLITO Michael	夏期集中講義	
	N99314	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	2	休講			
	N99309	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	4	春	POLITO Michael	夏期集中講義	
	N99333	GCR206	カンボジア・サービスマーケティング・プログラム	2	春	原 敬 子 丸 井 雅 子	夏期集中講義, 注1参照	
	N99334	GCR116	ミクロネシア・エクスポートジャーツアー	2	春	*佐 藤 昭 治	夏期集中講義	
	N99336	GCR248	インドの社会経済・人間開発に学ぶ: 南インドのケララ州を事例に	2	春	ブテンカム ジョンジョセフ	夏期集中講義	
	N99337	GCR249	国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	2	春	植 木 安 弘	夏期集中講義	
	N99305	GCR207	国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	2	秋	植 木 安 弘	春期集中講義	
	N99331	GCR245	ワシントンD.C.・国際政治の現場を学ぶ	2	秋	未 定	春期集中講義	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 〔選択科目〕	N99307	GCR210	インド・サービスラーニング・プログラム	4	秋	伊藤 高章	春期集中講義	
	N99320	GCR243	ペルースタディツアー 「往還する南米日系人」	2	秋	*宮崎 幸江	春期集中講義, LAP科目	
	N99319	GCR240	国連ユースボランティア実習	6	秋	水谷 裕佳	注16参照	
	N99332	GCR246	メコン経済回廊スタディツアー: 肌で感じるASEAN共同体	2	秋	廣里 恭史	春期集中講義	
	N99335	GCR247	エストニア・スタディツアー: 持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	2	秋	丸山 英樹	春期集中講義	
	<b>●インターンシップ科目 (注13参照)</b>							
	N99317	GCR244	グローバルインターンシップ (短期)	2	春	コーディネータ 浦元 義照	夏期集中講義, 2年生以上対象	
	N99317	GCR244	グローバルインターンシップ (短期)	2	秋	コーディネータ 浦元 義照	春期集中講義, 2年生以上対象	
	<b>&lt;情報社会系&gt;</b>							
	099149	GCI101	メディア・対話・レトリック I	2	春	コーディネータ 浅見 昇吾	輪講, [300名]	
	099150	GCI102	メディア・対話・レトリック II	2	秋	コーディネータ 浅見 昇吾	輪講, [300名]	
	099151	GCI201	メディア・対話・レトリック III	2	春	コーディネータ 浅見 昇吾	輪講, [50名], 演習	
	099487	GCI242	JAPANESE POP CULTURE	2	秋	NEVES Mauro	★, [40名], LAP科目	
	099435	GCI124	異文化の視点とジャーナリズム	2	春	コーディネータ 浅見 昇吾	夏期集中講義, 輪講, [15名], 東急エージェンシー連携講座	
	030601	GCI109	経済学	2	春	青木 研	[250名], 経済学部生履修不可, [G]	
	030601	GCI109	経済学	2	秋	蓬田 守弘	[250名], 経済学部生履修不可, [G]	
	099494	GCI125	教養としての経済知識	2	秋	南橋 尚明	[100名], 経済学部生履修不可	
	099495	GCI126	経済と環境	2	秋	堀江 哲也	[100名], 経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	春	*芦田 尚道	[300名], 経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	春	*芦田 尚道	[300名], 経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	秋	*芦田 尚道	[300名], 経済学部生履修不可	
	099409	GCI122	経営学入門	2	秋	*芦田 尚道	[300名], 経済学部生履修不可	
	099121	GCI105	簿記入門	2	春	上妻 義直	[200名], 経済学部生履修不可	
	099122	GCI106	会計学入門	2	休講		[200名], 経済学部生履修不可	
	032702	GCI103	企業と社会	2	秋	竹之内 秀行	[150名], 経済学部生履修不可, [G]	
	099120	GCI104	経営社会と人間の行動	2	春	細萱 伸子	[150名], 経済学部生履修不可, [G]	
099380	GCI225	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	秋	コーディネータ 小阪 玄次郎 *長谷川 知子	輪講, 選抜あり, 経団連連 携講座, 注9参照		
099189	GCI112	社会学	2	春	*金崎 一郎	[350名], 神・文・総合人間科 学部対象		
099189	GCI112	社会学	2	春	*石田 健太郎	[200名]		
099189	GCI112	社会学	2	秋	*金崎 一郎	[350名], 法・経・外・理工学部 対象		
099107	GCI110	社会学A	2	春	藤村 正之	[200名], [G]		
099194	GCI111	社会学B	2	秋	藤村 正之	[250名], [G]		
099489	GCI237	メディアと情報の社会学	2	春	*松田 美佐	[100名]		

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

全学共通科目  
について  
全学共通科目構成  
および履修上の規定  
の元文書は別途  
履修上の注意  
情報システム  
必修履修上の注意  
コースと教員  
科目群履修上の注意  
両学向け教員  
選択履修上の注意  
一開講科目  
表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目〔選択科目〕	099512	GCI127	質問力を磨く	2	春	*松本美奈	[50名],読売新聞連携講座
	099513	GCI128	質問力で社会と向き合う	2	秋	*松本美奈	[50名],読売新聞連携講座
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	林 等	[80名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	山中高夫	[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	澁谷智治	[44名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	萬代雅希	[66名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	一柳満久	[60名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	久森紀之	[80名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	山下 遥	[66名] 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	小川将克	[80名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	藤井麻美子	[80名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科履修不可, 注8参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科履修不可, 注8参照
	003350	GCI115	情報リテラシー (一般・英語)	2	秋	ゴンサルベス タッド	★, [80名], 情報理工学科履修不可, 注8参照
	003350	GCI115	情報リテラシー (一般・英語)	2	秋	荒井隆行	★, [36名], 情報理工学科履修不可, 注8参照,
	003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	春	田村恭久	[110名], 注1参照
	003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	秋	田村恭久	[80名], 注1参照
	003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	春	加藤 剛	[48名], 情報理工学科履修不可
	003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	秋	野村 一郎	[80名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	川端 亮	[110名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	宮本 裕一郎	[80名]
	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	休講		
	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	秋	川端 亮	[110名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	春	川端 亮	[80名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	秋	川端 亮	[80名]
	003360	GCI204	情報フルエンシー (システム情報処理)	2	休講		
	003364	GCI211	情報フルエンシー (システムコンサルティング)	2	秋	田村恭久	[110名]
	003369	GCI207	情報フルエンシー (情報科学と人間)	2	春	高岡 詠子	[80名]
	003371	GCI208	情報フルエンシー (マルチメディア表現方法)	2	春	荒井隆行	[36名]
	003373	GCI215	情報フルエンシー (情報とネットワーク社会)	2	秋	萬代雅希	[66名]
	003374	GCI209	情報フルエンシー (ITパスポート講座1)	2	休講		
	003375	GCI216	情報フルエンシー (ITパスポート講座2)	2	休講		
	099507	GCI247	情報フルエンシー (システム開発ハッカソン)	2	春	田村恭久	[110名]
099508	GCI248	情報フルエンシー (教育工学)	2	秋	田村恭久	[110名]	
099396	GCI213	情報フルエンシー (Cプログラミング)	2	秋	伊呂原 隆	[66名], 理工学部履修不可	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。



履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考
全学共通科目 〔選択科目〕	<b>●インターンシップ科目（注13参照）</b>						
	N99330	GCI244	経済同友会連携インターンシップ	2	春	日比谷 武	夏期集中講義
	N99330	GCI244	経済同友会連携インターンシップ	2	秋	日比谷 武	春期集中講義
	N99313	GCI234	ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	春	コーディネータ 鈴木 隆	夏期集中講義, ボルボグループ 連携講座
	N99313	GCI234	ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	秋	コーディネータ 鈴木 隆	春期集中講義, ボルボグループ 連携講座

※総合グローバル学部の学生は原則として  G マークの付いている科目の中から履修すること。

(注1) 下記の科目は同一科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
099349	諸宗教における自然と人間	2011	099109	環境と人間
099395	情報フルエンシー (HTMLとCSSを用いたWebページ作成技法)	2013	003368	情報フルエンシー (WWWにおける情報の検索・処理・公開技術)
010828	南アジア研究入門	2014	010819	インド研究入門 I
099416	技術の歴史		063002	技術史・技術論
099420	情報フルエンシー (JAVA GRAPHICS & PROGRAMMING)	2015	003367	情報フルエンシー (オブジェクト指向プログラミング&JAVA)
099449	中東イスラーム研究入門 I	2016	010824	中東研究入門
099451	東南アジア研究入門		010821	東南アジア研究入門 I
099483	グローバル金融証券市場分析		467964	証券投資論 I
099461	グローバル社会への招待		099429	グローバルゼーション入門 1
			099430	グローバルゼーション入門 2
099503	国際開発金融機関入門1	2017	099441	国際開発金融機関の基礎
099504	国際開発金融機関入門2		099468	国際開発金融機関の応用
099505	立場の心理学1:マジョリティの特権を考える		099438	立場の心理学:マジョリティの特権を考える
N99333	カンボジア・サービスラーニング・プログラム		N99303	カンボジア・エクスポージャーツアー
099514	ビジネスデータ分析理論 (データサイエンス基礎)		099424	ビジネスデータ分析入門 (データサイエンス基礎)

(注2) 「文章構成法 I～V」「国語表現 I～V」については、それぞれ2単位までしか卒業に必要な単位として認められない。

ただし、国文学科の学生は、「文章構成法 I～V」「国語表現 I～V」については合計2単位までしか卒業に必要な単位として認められない。

(注3) 国文学科の学生は履修不可。ただし、交換留学生の履修については認める。

(注4) ☆印の科目は初回授業(第1回目)で受講者を決定するための抽選を行う。したがって、初回授業で抽選結果を確認してから履修登録を行うこと。

授業内抽選で当選した場合には、初回授業の翌日から修正登録期間内に各自 Loyola で科目の登録を行うこと。落選した場合には登録ができない。当選した場合でも自動的に科目の登録は行われない。

(注5) 初回授業はガイダンスを実施するので第3体育場(体育館2F)に平服で集合すること。

(注6) 同一種目(科目コードが同じ科目)の授業は、2科目以上履修しても1科目しか卒業に必要な単位として認められない。

(注7) 「地球環境と科学技術Ⅰ」、「地球環境と科学技術Ⅱ」、「地球環境学Ⅰ」、「地球環境学Ⅱ」のうち少なくとも1科目を修得済みであることが望ましい。

(注8) 「情報リテラシー演習」「情報リテラシー(一般)※含む英語」は同一科目であるため、重複履修不可。

(注9) 受講にあたっては語学力と事前レポートで受講者選抜を行う。対象学年、説明会開催・選抜時期、語学力の要件、レポート課題等は Loyola「学事センター(教務)掲示板」に掲載するので確認すること。

(注10) 「音楽の歴史Ⅰ」を修得済みであることが望ましい。

(注11) 選抜あり。実践型プログラムの評価、単位の取り扱いについては p.49 参照。

(注12) SAIMS プログラムを通じて ASEAN に留学を予定している学生は、留学前後の春学期か秋学期のいずれかに履修することが必要。

(注13) 選抜あり。インターンシップ科目の詳細については p.120～参照。

(注14) 「心理学概論」、「心理学 IA(科目コード:065005, 065015, 065025)」、「心理学 IB(科目コード:065006, 065016, 065026)」, 「INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY」, 「心理学(2014年度まで開講)」については名称の異なる2科目(合計4単位)までしか卒業に必要な単位として認められない。

(注15) 履修登録期間前に履修者の選抜を行う。詳細はシラバスを読むこと。

(注16) 学期通じての派遣になるため、派遣される学期内の科目の履修は不可。

(注17) この科目は、「データ活用と経営戦略」または「ビジネスデータ分析入門(2016年度まで開講)」および「ビジネスデータ分析理論」を履修済みの学生が優先的に履修可能。

(注18) この科目の履修にあたっては、「ビジネスデータ分析入門」を履修済みで、成績が B 以上であることが条件となる。

(注19) 「情報フルエンシー(Cプログラミング)」と同一科目であるため、重複履修不可。

(注20) この科目の履修にあたっては、「立場の心理学:マジョリティの特権を考える(2016年度まで開講)」および「立場の心理学1:マジョリティの特権を考える」を履修済みであること。

(注21) 履修登録は春学期科目の履修登録期間に行う。詳しい日程・教室は Loyola「学事センター(教務)掲示板」を参照すること。

に  
全  
共  
通  
科  
目  
の  
履  
修  
規  
定

全  
共  
通  
科  
目  
の  
履  
修  
規  
定

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

履  
修  
上  
の  
注  
意

## 全学共通科目〔選択科目〕高学年向け教養科目（14年次生以降）

※3・4年次で履修すること。（3年次で履修した方が望ましい。）

※総合人間科学部看護学科（2016年次生以前）、総合グローバル学部の学生は原則として履修できない。（履修できる科目については備考を参照すること。）

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	<b>A ブロック（春学期・月曜3時限）</b>						
		099731	GCR303	法律実務への招待	2	春	コーディネータ 森下哲朗	輪講，[90名]
		099732	GCR304	現代日本の国際関係	2	春	樋渡由美	[90名]
		099745	GTE305	応用倫理の世界	2	春	浅見昇吾	[90名]
		099743	GCE301	科学技術の倫理	2	春	*小出泰士	[90名]
		099753	GHS304	ものづくり原論： ものをつくるヒト，ホモ・ ファーベルの視線から	2	春	坂本治久	[90名]
		099754	GCL301	動機づけと感情の心理学	2	春	奈須正裕	[90名]
		099758	GCR313	グローバル化と人権	2	春	上野俊彦	[90名]
		<b>B ブロック（秋学期・月曜3時限）</b>						
		099703	GHS301	つくるⅡ（キャリア形成Ⅱ）	2	秋	坂本治久 竹原昭一郎 星野正光	同時担当，[90名]，理工学部 同窓会連携講座
		099721	GCL302	脳と心理学	2	秋	岡田隆	[90名]，隔年開講
		099745	GTE305	応用倫理の世界	2	秋	浅見昇吾	[90名]
		099743	GCE301	科学技術の倫理	2	秋	*小出泰士	[90名]
		099750	GCI304	社会学のフロンティア	2	秋	田淵六郎 吉野耕作 *竹ノ下弘久	輪講，[90名]
		099707	GCR301	マイノリティとグローバル社会	2	秋	水谷裕佳	[90名]
		099740	GCR307	国際比較教育学	2	秋	丸山英樹	[90名]
		<b>C ブロック（春学期・水曜4時限）</b>						
		099486	GCR310	国際関係と日本の政治外交	2	春	*佐藤昭治	[90名]
		099704	GCI301	開発経済学	2	春	高橋和志	[90名]
		099734	GCR305	現代日本の安全保障	2	春	樋渡由美	[90名]
		099746	GTR304	宗教思想の構造	2	春	鎌田東二	[90名]
		099752	GCI307	現代社会における情報	2	春	コーディネータ 川端亮	[90名]
		099756	GCI305	新たな価値創出のために： 日本企業のイノベーションへの取り組み	2	春	コーディネータ 青木研	輪講，[150名]，（一財）経済 広報センター連携講座
		<b>D ブロック（秋学期・水曜4時限）</b>						
		099723	GFC301	全人的和解への招きとしての キリスト教ヒューマニズム	2	秋	コーディネータ 瀬本正之	輪講，[90名]
		099486	GCR310	国際関係と日本の政治外交	2	秋	*佐藤昭治	[90名]
		099745	GTE305	応用倫理の世界	2	秋	浅見昇吾	[90名]
		099749	GTR305	聖地の比較宗教学	2	秋	鎌田東二	[90名]
		099751	GFI303	グローバル化時代の多文化共生	2	秋	水谷裕佳	[90名]
		099740	GCR307	国際比較教育学	2	秋	丸山英樹	[90名]
		099760	GHS305	ものづくり企業論 ーグローバル企業の実例に学ぶー	2	秋	*村上洋	[90名]
		099761	GHH301	4大陸に広がるボルトガル語圏社会で生きる・働く	2	秋	コーディネータ 子安昭子	輪講，[90名]

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目〔選択科目〕 高学年向け教養科目	<b>Eブロック（春学期・金曜3時限）</b>						
	099724	GFI302	カトリック社会教説とキリスト教ヒューマニズム	2	春	コーディネータ 瀬本正之	輪講, [90名]
	099735	GCR308	平和構築とメディア	2	春	東大作	[90名]
	099727	GTR302	東西宗教芸術の伝統と今日的な宗教的霊性	2	春	コーディネータ 長町裕司	輪講, [90名]
	077902	GTE302	グローバリゼーションの倫理学	2	春	寺田俊郎	[90名]
	099722	GCR302	ジェンダーと法	2	春	コーディネータ 松本尚子	輪講, [90名]
	099748	GHS303	キャリア形成論	2	春	コーディネータ 高尾智明	輪講, [90名]
	099762	GHH302	環境史ケーススタディ:北米地域	2	春	小塩和人	[90名]
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	春	*宇野・岡野・松村・田村	輪講, [30名], Aグループ, 大和総研連携講座
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	春	*宇野・岡野・松村・田村	輪講, [30名], Bグループ, 大和総研連携講座
	<b>Fブロック（秋学期・金曜3時限）</b>						
	099726	GTR301	宗教思想の伝統と現代	2	秋	コーディネータ 長町裕司	輪講, [90名]
	099701	GTE301	ケアの臨床哲学	2	秋	コーディネータ 寺田俊郎	輪講, [90名]
	099730	GHS302	先端工業化学と地球環境科学	2	秋	コーディネータ 白杵豊展	輪講, [90名]
	099748	GHS303	キャリア形成論	2	秋	コーディネータ 高尾智明	輪講, [90名]
	099735	GCR308	平和構築とメディア	2	秋	東大作	[90名]
	099765	GCI308	総合的戦略論の展開	2	秋	コーディネータ 音好宏 阿部るり	輪講, [90名], 教育イノベー ション対象科目
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	秋	*宇野・岡野・松村・田村	輪講, [30名], Aグループ, 大和総研連携講座
	099763	GHS306	キャリアワークショップ 「問題解決のための思考法」	2	秋	*宇野・岡野・松村・田村	輪講, [30名], Bグループ, 大和総研連携講座
	<b>For FLA/FST Students Only（国際教養学部・理工英語コース生用）★</b>						
	099737	GSE301	JAPAN IN TRANSLATION	2	春	河野至恩	[100名]
	099739	GSE303	SOCIAL JUSTICE IN JAPAN	2	春	コーディネータ SLATER David	輪講, [100名]
	099738	GSE302	BUSINESS & MANAGEMENT	2	秋	HAGHIRAN Parissa	[100名]
	<b>Gブロック（学科無指定）／休講</b>						
	099736	GCI302	グローバル・ビジネスのフロンティア	2	春	コーディネータ 竹之内秀行 *長谷川知子	集中講義, 輪講, 選抜あり, 経団連連携講座, 注1・2参照
	099729	GTE304	生命倫理の諸問題と現代社会	2	春	コーディネータ 浅見昇吾	夏期集中講義, 輪講, [90名], 注4参照
	099755	GHL301	音楽劇とミドルブライウ文化	2	春	新井潤美	夏期集中講義, ★, [90名], 注4参照
	099766	GCI309	CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2	春	コーディネータ 綱倉久永 *長谷川知子	夏期集中講義, ★, 選抜あり, 経団連連携講座, 注1・2・3参照

全学共通科目  
 履修上の注意  
 高学年向け教養科目  
 選択科目  
 一開講科目表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	099741	GCR311	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 1: TRADE AND INEQUALITY	2	春	浦元義照 伊藤毅	[100名], LAP科目, ★, 注2参照
		099759	GFC302	CATHOLIC SOCIAL THOUGHT AND THE CATHOLIC CHURCH TODAY	2	秋	POLITO Michael	[100名], ★, FLA/理工英語コースの学生優先
		099742	GCR312	MIGRATION AND CO-EXISTENCE 2: MIGRATION AND DEVELOPMENT	2	秋	浦元義照 伊藤毅	[100名], LAP科目, ★, 注2参照
		099757	GCI306	大学マネジメント	2	秋	コーディネータ 杉本徹雄	輪講, [90名], 注2参照
		099720	GCL303	アートと心理学	2	休講		輪講, 隔年開講
		099728	GTR303	宗教的人間論	2	休講		
		099764	GCR314	教養としての社会保障	2	休講		

- (注1) 履修方法・条件・授業日程等は, シラバスおよび Loyola「グローバル教育センター掲示板」に掲載するので, 履修希望者は必ず確認のこと。募集時期・選抜方法等は, Loyola「グローバル教育センター掲示板」に掲載するので確認のこと。
- (注2) 総合グローバル学部生・看護学科生(16年次生以前)および13年次以前の学生も履修できるが, 卒業要件とはならない。
- (注3) 8月下旬に行われるため, 9月卒業希望者, 国際教養学部生および理工英語コースの学生は参加はできるが卒業要件とはならない。
- (注4) 履修登録は春学期科目の履修登録期間に行う。詳しい日程・教室は Loyola「学事センター(教務)掲示板」を参照すること。

●インターンシップ科目 ※選抜あり。インターンシップ科目の詳細は, p.120~を参照すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目〔選択科目〕	高学年向け教養科目	N99318	GCR309	グローバルインターンシップ(短期・高学年)	2	春	コーディネータ 浦元義照	夏期集中講義
		N99318	GCR309	グローバルインターンシップ(短期・高学年)	2	秋	コーディネータ 浦元義照	春期集中講義
		N99315	GCR306	グローバルインターンシップ(長期)	6	春	コーディネータ 小松太郎	注1・2参照, 春学期派遣
		N99315	GCR306	グローバルインターンシップ(長期)	6	秋	コーディネータ 小松太郎	注1・2参照, 秋学期派遣
		N99316	GCI303	ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-(高学年)	2	春	コーディネータ 鈴木隆	夏期集中講義, ボルボグループ連携講座
		N99316	GCI303	ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-(高学年)	2	秋	コーディネータ 鈴木隆	春期集中講義, ボルボグループ連携講座

(注1) 学期通じての派遣になるため, 他の科目の履修に関しては派遣先により異なる。詳細は必ずインターンシップの説明会に参加すること。なお, インターンシップの参加のために授業を欠席することは認められないので, 履修計画とインターンシップの日程が重ならないよう注意すること。

(注2) 総合グローバル学部生・看護学科生(16年次生以前)および13年次以前の学生は参加できるが, 卒業要件とはならない。

## 全学共通科目〔選択科目〕学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）

- ※ 全学共通科目〔選択科目〕のうち、4単位まで充当できる。
- ※ 「開講学部・学科」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- ※ 時間割・教室については、Loyolaの「時間割表」の各開講学部・学科のページを参照すること。
- ※ 履修年次は原則守ること。特に新聞学科・ポルトガル語学科開講の科目に関しては「年次」欄に記載されている年次より下の学年の学生は履修不可。

### ◎建学の理念

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目 ＜キリスト教精神＞								
	121400	PHL233	キリスト教思想史	2	休講		2～4	哲学科	隔年開講

### ◎思索の基盤

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目 ＜哲学＞								
	127404	PHL372	社会哲学Ⅰ	2	春	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	127405	PHL373	社会哲学Ⅱ	2	秋	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	125302	PHL374	政治哲学Ⅰ	2	休講		3・4	哲学科	隔年開講
	125303	PHL375	政治哲学Ⅱ	2	休講		3・4	哲学科	隔年開講
	＜倫理＞								
	128702	PHL223	西洋倫理思想史Ⅰ	2	春	長町裕司	2～4	哲学科	
	128703	PHL224	西洋倫理思想史Ⅱ	2	秋	コーディネータ 長町裕司	2～4	哲学科	輪講

### ◎人間と文化

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目 ＜言語文学系＞※「開講学部・学科」の（ ）内は外国語学部13年次生以前対象								
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	休講		1・2	外国語学部 (英語学科)	注1・2・3参照
	501269	FEA196	INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	秋	吉田研作	1・2	英語学科	[200名], 注1・3参照
	503804	FLM304	英語音声学	2	春	北原真冬	2～4	外国語学部 (英語学科)	[62名], 注2・3参照
	＜歴史文化系＞※「開講学部・学科」の（ ）内は外国語学部13年次生以前対象								
	501267	FEA176	シェイクスピア入門	4	春	東郷公德	1～4	英語学科	[200名],注1・3参照
	547870	FUC341	フランス近代芸術の歴史と理論	2	春	*松浦寿夫	3・4	外国語学部 (フランス語学科)	[60名],外国語学部 生優先,注1・2・3参照
	690139	FYJ201	ロシア・ユーラシア文化入門1	2	春	原求作	1～4	外国語学部 (ロシア語学科)	注1・2・3参照
	571004	FYJ202	ロシア・ユーラシア文化入門2	2	秋	原求作	1～4	外国語学部 (ロシア語学科)	注1・2・3参照

に全学共通科目について  
おの履修上の規定  
「全学共通科目構成  
および履修上の注意」  
「コア文庫体系  
履修上の注意」  
「情報リテラシー  
必修」履修上の注意  
「モリスト教人  
履修上の注意」  
「西学向け  
履修上の注意」  
一開講科目表

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考	
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	690146	FUH350	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	市之瀬 敦	2～4	外国語学部 (ポルトガル語学科)	注1・2・3参照
		690143	FUH371	ポルトガル史	2	春	*荻野 恵	2～4	外国語学部 (ポルトガル語学科)	注1・2・3参照
		690140	FYJ211	ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2	春	上野 俊彦	1～4	外国語学部 (ロシア語学科)	注1・2・3参照
		572004	FYJ212	ロシア・ユーラシア地域研究入門2	2	秋	安達 祐子	1～4	外国語学部 (ロシア語学科)	注1・2・3参照

◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考	
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	<b>&lt;地球環境系&gt;</b>								
		172001	HST234	地理学Ⅰ	2	春	*山本 充	1～4	史学科	
		172002	HST235	地理学Ⅱ	2	秋	*山本 充	1～4	史学科	
		<b>&lt;生命社会系&gt;</b>								
		290105	SPE401	社会福祉原論	2	秋	栃本 一三郎	2～4	社会福祉学科	
		298901	SPA302	地域福祉論	2	秋	栃本 一三郎	3	社会福祉学科	
		294412	SOF305	司法福祉論	2	休講		3・4	社会福祉学科	
		290210	SPA201	社会保障論Ⅰ	2	春	大塚 晃	1～3	社会福祉学科	
		293813	SOE206	医学一般	2	秋	*加藤 眞三	2	社会福祉学科	
		290131	SOE204	権利擁護と成年後見制度論	2	秋	*佐藤 彰一	2	社会福祉学科	
		<b>&lt;人権平和系&gt;</b>								
		144314	EDU247	教育学特殊講義Ⅳ -大学教育と大学生文化-	2	秋	*谷田川 ルミ	2～4	教育学科	
		144413	EDU248	教育学特殊講義Ⅴ -CURRENT ISSUES IN EDUCATION IN AFRICA-	2	春	*利根川 佳子	2～4	教育学科	★
		<b>&lt;情報社会系&gt;</b>								
		268755	JRN271	ジャーナリズムの現在Ⅰ	2	春	コーディネータ 音好 宏	2～4	新聞学科	輪講, [105名], 新聞学科生優先
		268756	JRN272	ジャーナリズムの現在Ⅱ	2	秋	コーディネータ 音好 宏 渡邊 久哲	2～4	新聞学科	輪講, [105名], 新聞学科生優先
		260309	JRN231	時事問題研究Ⅰ	2	春	小此木 潔	2～4	新聞学科	[150名], 新聞学科生優先
		260310	JRN232	時事問題研究Ⅱ	2	秋	小此木 潔	2～4	新聞学科	[150名], 新聞学科生優先
		267107	JRN311	人間行動とマス・メディアⅠ	2	春	音好 宏	3～4	新聞学科	
		267108	JRN312	人間行動とマス・メディアⅡ	2	秋	渡邊 久哲	3～4	新聞学科	[120名], 新聞学科生優先
		264304	JRN323	外国ジャーナリズムⅠa	2	秋	鈴木 雄雅	2～4	新聞学科	[60名], 新聞学科生優先
		264305	JRN324	外国ジャーナリズムⅠb	2	秋	阿部 るり	2～4	新聞学科	[105名], 新聞学科生優先
		264306	JRN325	外国ジャーナリズムⅡa	2	春	鈴木 雄雅	2～4	新聞学科	[60名], 新聞学科生優先
		264307	JRN326	外国ジャーナリズムⅡb	2	休講		2～4	新聞学科	[60名], 新聞学科生優先
		264402	JRN327	外国ジャーナリズムⅢa	2	秋	未定	2～4	新聞学科	[100名], 新聞学科生優先



科目コード	ナンバリング	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
690139	FYJ201	ロシア・ユーラシア文化入門1	2014	571001	ロシア文化入門1
571004	FYJ202	ロシア・ユーラシア文化入門2		571002	ロシア文化入門2
690140	FYJ211	ロシア・ユーラシア地域研究入門1		572001	ロシア地域研究入門1
572004	FYJ212	ロシア・ユーラシア地域研究入門2		572002	ロシア地域研究入門2

(注2) Loyola の時間割に関しては、外国語学部各研究コースの時間割を参照すること。

(注3) (※14年次生以降) 外国語学部の学生は、学科科目としてしか履修できない。



履修度	科目 コード	授業科目名	単 位	開講期	担当者	履修 年次	備考
全学共通科目 (選択科目) 学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目) 国際教養学部開講科目	<b>&lt;Politics and Economy&gt;</b>						
	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS 経済原論 I	4	春	*岡 部 智 人	1~3	
	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS 経済原論 I	4	秋	小 西 祥 文	1~3	
	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS 経済原論 II	4	春	小 阪 み ち る	1~3	
	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS 経済原論 II	4	秋	井 坂 直 人	1~3	
	POL201	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS 政治学入門	4	秋	中 野 晃 一	1~3	
	POL205	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS 国際関係論入門	4	春	安 野 正 士	1~3	
	POL210	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS 比較政治学入門	4	秋	伊 藤 毅	1~3	
	POL215	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION グローバル政治入門	4	春	BURRETT Tina	1~3	
	MTH111	MATHEMATICS AND STATISTICS FOR BUSINESS AND ECONOMICS 経済・経営数学概論	4	春	*村 上 純 子	1~4	[48名], (注)
	MTH111	MATHEMATICS AND STATISTICS FOR BUSINESS AND ECONOMICS 経済・経営数学概論	4	秋	長谷部 拓也	1~4	[60名], (注)
	<b>&lt;FLA General Courses&gt;</b>						
	COM221	COMPUTER STUDIES 1 コンピュータ概論 I	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], (注)
	COM221	COMPUTER STUDIES 1 コンピュータ概論 I	2	春	*杉 本 豊 彦	1~4	[32名], (注)
	COM221	COMPUTER STUDIES 1 コンピュータ概論 I	2	春	*杉 本 豊 彦	1~4	[32名], (注)
	COM222	COMPUTER STUDIES 2 コンピュータ概論 II	2	春	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], (注)
	COM222	COMPUTER STUDIES 2 コンピュータ概論 II	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], (注)
	COM223	COMPUTER STUDIES 3 コンピュータ概論 III	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], (注)
	ENV131	ENVIRONMENTAL ISSUES 1 環境科学 I	4	秋	*CAVASIN Nathalie	1~4	
	GEO201	HUMAN GEOGRAPHY 人文地理学	4	秋	*CAVASIN Nathalie	1~4	
GEO202	GEOGRAPHY 地理学	4	春	*CAVASIN Nathalie	1~4		
MTH101	COLLEGE MATHEMATICS 数学	4	春	*村 上 純 子	1~4		

(注) 国際教養学部生優先科目。登録方法は p.32 を参照すること。